取組指標

1. 2Rを推進するためのしくみづくり

施策項目	取組指標	単位	R1	R2	R3	R4	R5	R6
	マイバッグ等持参率	%	85	98	87	98	85	85
1 - 1 - (2)	レジ袋削減量(枚数)	万枚	11, 264	11,389	11,531	11,312	11,219	9,839
1 - 1 - (3)	スリムネットフォーラム参加者数	~	200	※ 士 士	37:%	25%	44	48
(-	リーフレット配布数 (食ロス)	枚	58, 768	94,740	159,723	19,438	15,520	8,300
1 - 2 - (1)	リーフレット配布数(消費期限等)	枚	45,632	94,740	159,723	16,972	14,860	8,300
1 - 2 - (2)	リーフレット配布数(生ごみ水切り)	枚	6,568	60,565	44,914	16,972	14,860	8,300
	来館者数 (リサイクルプラザ)	\prec	61,440	68,517	35, 145%	14,347%	75,968	86,828
	来館者数(リユースプラザ)	\prec	37,049	37,320	36,031%	29,599%	38,921	51,685
1 - 3 - (1)	家具・自転車の提供個数 (リサイクルプラザ)	4 0€	827	838	737%	437%	848	822
	家具・自転車の提供個数 (リユースプラザ)	框	2,493	2,495	3, 230%	2,080%	2,915	1,950
1 - 3 - (2)	古着回収量	Δ,	¹ > 153.58 168.68	168.68	31.45%	18.08%	80.26	72.88
The party of	17 なでは最近の仕ま作りです。このは1446年			0.40		11100	1	3.

※新型コロナウイルス感染症の影響による (フォーラム開催回数の減、リサイクルプラザ等の長期閉館など)

2. 分別・リサイクルの取組促進

施策項目	取組指標	単位	R1	R2	R3		R5	R6
(F)	集団資源回収地域コー ディネート声かけ数	丰	77	182	235	257	267	301
(1)-7-7	集団資源回収地域コー ディネート実施団体数	団体	27	6	17		П	5
2 - 2 - (3)	小型家電回収量 (民間回収分含む)	Ϋ́	1,112.8	1,112.8 1304.7 1,456.6	1,456.6	1371.6	1371.6 1,414.0	1319.0
	電動生ごみ処理機購入 助成数	40	208	311	305	208 311 305 361 357 432	357	432
2 - 3 - (1)	生ごみ堆肥化器材購入 助成数	囲	291		482		523	465
	生ごみ堆肥化セミナー 受講数	\prec	1,477	1,581	782**	491%	724	907

※新型コロナウイルス感染症の影響による(セミナー開催回数の減、参加者の人数抑制など)

3. 事業ごみの減量・リサイクルの推進

施策項目	取組指標	単位	R1	R2	R1 R2 R3 R4 R5 R6	R4	R5	R6
	減量計画書·処理実績報告 書 提出率	%	98.6	98.4	96. 1	98.5	98.6	97.9
3 - 1 - (2)	回収ポックス1基あたりの kg 2.241 1,119 1,591 1,900 1,666 1,565 古紙リサイクル量	kg	2,241	1,119	1,591	1,900	1,666	1,565
3 – 1 –(3)	啓発件数(動画放映件数)	中	9	3	-	3	4	4

4. 市民に対する支援と普及啓発

施策項目	取組指標	単位	R1	R2	R3	R4	R5	R6
	ステーションパトロール数	十年	2,890	3, 268	3, 144	2,907	2,814	2,724
4 - 1 - (1)	個別指導件数	牛	3, 431	2,492	2,002	2,468	2,373	2,072
	早朝啓発件数	牟	279	35%	22%	44%	%£9	47
	ごみステーション管理器材等助 成件数	牛	4,217	5, 191	3,882	3,613	2,305	2,109
4 - 1 - (4)	専用ステーション設置数	牟	29,072	30,071	30,807	31,528	32,110	32,787
4 - 1 - (5)	ごみステーション設置数	牟	54,356	55, 737	56,767	57,674	58,370	59, 146
4 - 2 - (1)	クリーンミーティング開催回数	牟	251	% 08	85%	134%	200	196
4 – 3 –(2)	転入者向け家庭ごみ相談窓口で の相談件数 (例年3月末実施)	牟	# 삼 4	# #	# 실 ※	# 실 *	※ 日 ※	R6から廃止
)	上記のうち、転入者の相談件数	牟	##	※ 士 士	米 出 ※ 出	# # #	# # #	R6から廃止
	来館者数(リサイクルプラザ)	\prec	61,440	68,517	35, 145**	14,347**	5,368	86,828
	来館者数 (リユースプラザ)	~	37,049	37,320	36,031%	29,599	38,921	51,685
4 - 3 -(3)	教室・講座等の参加者数(リサイクルプラザ)	~	15, 458	17, 361	7,131%	4, 392%	16,532	20,764
	教室・講座等の参加者数 (リ ユースプラザ)	~	564	573	25%	31%	1,638	520
	クリーンミーティング開催回数	牟	251	×08	%28 82%	134%	200	196
	クリーンミーティング参加人数	<	20,584	4,279	5,556※	7,765※	11,738	11,795
4 - 3 - (4)	ごみ減量・リサイクルブースの 入場者数	<	17,764	6,301	246%	499%	◆の出展 ブース米場 者数と同価	5, 503
	上記のうち、環境広場さっぽろ 出展ブース来場者数	<	1,640	1,770	246※	499 <i>*</i> *	1,707	1,997
(外国語版ごみ分けガイド作成部 数	枚	2,600	1,200	6,300	0	3,000	2,700
4 — 3 —(5)	外国語版ごみ分別アプリダウン ロード数(年度末時点)	年	8, 141	15, 556	16,100	30,699	37,707	46,199
	小学生向け出前講座(出前教 室)開催回数	回	115	26%	***	92%	125	136
4 - 4 - (1)	工場見学者のクリーンミーティ ング開催回数	▣	34	<u></u> %0	<u> </u>	<u>%</u> 0	16	10
	大学や専門学校の新入生向け啓 発チランの配布枚数	枚	15,805	16,600	17, 175	17, 265	15,920	12,380
the second second	年7 8 7 1 2 200 2 1 () 十 1 2 4 1 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	1	1	1	1			

※新型コロナウイルス感染症の影響による(教室・講座・イベント等開催回数の減)

5. 持続可能な収集・処理体制の確立

施策項目	取組指標	単位	R1	R2	単位 R1 R2 R3 R4 R5 R6	R4	R5	R6
5 - 1 - (2)	5-1-(2) 焼却灰リサイクル量 トン 14,502 14,510 18,505 17,512 17,937 19,411	Δ,	14,502	14,510	18,505	17,512	17,937	19,411
7 (1)	次世代自動車の導入台数 (ごみ収集車)	40	9	9	9	9	8 0	8
4 –(1)	次世代自動車の導入台数 (その他車両)	40	2	1		5	1	9

事業評価シート

事業評価シートの読み方

事業評価シートの読み方は次のとおり。

<事業評価シートとは>

新スリムシティさっぽろ計画の目標達成に向けた具体的な施策(計画本書P61~82に記載)に基づく各事業につ いて、計画前半期の取組内容やその結果、事業の評価や課題などを整理し、計画後半期の方針を記載したも の

各事業について、懇話会の中で委員から意見・提案があったものについては、【懇話会の意見等】に記載してい

<事業名>

新スリム計画の施策に基づく各種事業は、市役所の予算を管理している「小事業」の中で実施されているため、事業名はその小事業名を記載しています。ただし、以下の例外があります。 例外1:小事業内で複数の事業があり、スペースの関係から記載しきれない場合は、事業名のあとにかっこ書きを追

記し、分割して記載しています。 例外2:計画に基づく一つの事業が複数の小事業に分かれていて、小事業ごとに分けて書くと分かりにくい場合は、複 数の小事業をまとめて記載します。その場合は「〇〇費、〇〇費」などと記載しています。

<事業内容> 事業の内容を記載。 複数の事業がある場合は、①、②など番号で分けて記載

します なお、小事業の中 には、新スリム計 画に関係のない事

の事業は記載して

いません。

<事業の指標> 事業の進捗状況や 成果を測るために 有効な指標があれ ば記載しています なお、目標を定められない、定めてい

ない指標は、目標 欄は「一」が記載されます。

<対応するスリム 事業が新スリム計 画のスリム目標に 図のペッカる場合に は、そのスリム目標を記載します。 対応するスリム目標を記載します。目標がない場合は、 「一」が記載されま す。

【事業の概要】 事業名 ごみ減量推進費 (ごみ減量普及啓発事業) ※旧2R推進費 ごみの減量を進める上で特に重要なリデュースとリユースの推進を行う。 事業内容 (取組内容) ごみ減量実践事業の実施 2 Rに重点を置き、事業者や若者と行政が一体となってごみ減量に取り組むことができる 事業の目的・目標 実践的な事業を行い、市民のごみ減量行動促進を図る。 生ごみの減量・リサイクルに取り組んでいる世帯の割合 目標 95% 事業の指 指標1 標 家庭から出る生ごみの減量(平成28年度比) 目標 1万 t 以上 指標2 所管課 循環型社会推進課 関係課

<対応施策> 【新スリム計画との関わり】 事業について、新スリム計画のどの施策に対応 ごみ排出量の減量目標 しているかを記載しています。 なお、事業によっては、複数の施策に対応した 対応するスリム目標 家庭から出る生ごみ量の減量目標 (最大2つまで) ものがあり、ここは一番関連の深い施策を記載 家庭から出る食品ロス量 対応するモニター指標 対応施策:大 施策1 2Rを推進するためのしくみづくり <他の施策 (番号のみ) 対応する施策が複数ある場合は、その他の施策を施策にふら 施策:中 ごみ発生・排出抑制のための行動の実践 発生・排出抑制行動の習慣化の促進 れた番号で記載しています。 施策: 小 (1) 他の施策(番号のみ)

【各年度における具体的な取組内容とその実績】 数値で示せるものは数値も記載すること

1-2-(1), (2) 1-3-(1), (2) 2-1-(1), (2) 4-3-(1)

R 3	・啓発冊子配布:リユース促進2,600部、食品ロス削減啓発19,438部、期限表示情報提
事業費	供・水切り啓発16,972部、使い捨てプラスチック削減2,466部。 ・イベント(企画): SNSハッシュタグキャンペーンの実施。48人の参加。
全 27, 194 千円	・使用媒体:テレビ、ラジオ、インターネット広告、交通広告、地下歩行空間壁面広告、 Facebook等(20~30代世帯をメインターゲットに選定)
内 (22,741) 千円	Facebook寺(20~301、世帝をメイプダーグットに選走)
R 4	・啓発冊子配布: リユース促進85部、食品ロス削減啓発15,520部、期限表示情報提供・水切り啓発14,860部、使い捨てプラスチック削減680部。
事業費	・イベント:商業施設にてフードロスミュージアムの開催。来場者数不明、アンケート回
全 28,316千円	答数192件。 ・使用媒体:テレビ、インターネット広告、交通広告、地下歩行空間壁面広告、
内 (22,956) 千円	Facebook等 (20~30代世帯をメインターゲットに選定)
R 5	・啓発冊子配布: リユース促進100部、食品ロス削減啓発12,106部、期限表示情報提供・
事業費	水切り啓発11,903部、使い捨てプラスチック削減203部。 ・イベント:チカホにて、衣類等のリユース・小型家電回収イベントの開催。来場者数
全 15,886千円	│ 721名 │ ・使用媒体:テレビ、インターネット広告、交通広告、雑誌・広報誌、市公式X、
內 (11,656) 千円	Facebook等 (20~30代世帯をメインターゲットに選定)
R 6	 ・啓発冊子配布:リユース促進270部、食品ロス削減啓発8,300部、期限表示情報提供・水
事業費	│ 切り啓発8,300部。 │ ・イベント:チカホにて、衣類等のリユース・小型家電回収や、食ロス削減レシピコンテ┃
全 16,406千円	スト、ごみ分別ゲーム等を開催。来場者数3,506名
内 (12,806) 千円	・使用媒体:テレビ、インターネット広告、交通広告、雑誌・広報誌、市公式X、 Facebook等(幅広い世帯に周知)

※事業費 上段:小事業全体 下段:実際の事業費 小事業内に関係のない予算がある場合、違う数値となる

<スリム目標への貢献度> スリム目標について、数値でその効果を示せる場合は、<定量的評価>に記載、数値で示せない場合は、<定性的評価>に記載しています。 数値で示せるとは、例えば廃棄ごみ量6万トンの減量という目標に対し、ある事業で0.5万トンの減量の効果が出たなど具体的に示せる場合は、定量的評価に記載となります。

【自己評価】 ※R3~	-R6を通して		
	定量的評価(数値あり)	定性的評価(数値なし)	
スリム目標への貢献 度		家庭から出る食品ロス量が、計画期間中で過去最少となり(R6:11,607 t)、生ごみの減量・リサイクルに取り組んでいる世帯の割合も高い水準を維持していることから、本事業がごみの排出量や生ごみの減量に一定程度寄与していると考える。	
	達成状況 - (◎:達成 O:	75%以上 ▲:50%以上 ×:50%未満 -:他	
事業の実施結果 (目的・目標の達成 状況など)	した。	ではないが、計画の基準年度であるH28の こあり、本事業の効果は出ていると考える。	<当的れたが表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表
事業の評価・課題	測定の方法も確立されていないという課題が動変容を促すことでごみ減量に繋げる事業に・チカホのイベントにて、衣類のリユースしたほか、その場で参加できるごみ分別ゲールがあった。各種メディアでも多数紹介されを行うことができた。	(民間事業者の協力) や小型家電の回収を実施-ム等を実施したことから、3,500名以上の参れ、多くの市民にごみ減量の取組への意識付け呼であり、適切なごみの分別について、多くの	<今後の事業 方針> 事業の評価・
今後の事業方針 (課題への対応や事 業目標の設置)	提案型の業務により、実践的でごみ減量効果 策の検討につなげていく。 ・令和6年度の結果より、来場者が期待でき	まえ、仕様等をブラッシュアップのうえ、企画 関の高い取組の把握を行い、今後のごみ減量施 きる会場で、その場で参加できる企画を実施す 見しみやすい形で提供し、気付きの場を提供す の内容に反映していく。	課題を受けて、今後、どのように事業を進めていくかを記載しています。

【懇話会の意見等】 懇話会で意見があった場合のみ記載する

意見・提案等

札幌市はびん・缶・ベットが多く、更なるマイボトルの普及啓発が必要。 京都市の祇園祭と同様、札幌市の大規模イベントでもリユース品を使えないか。 評価指標にリユースの指標も設定すべき。 若者に訴えるパンフレットなどは、若者にデザインや企画の段階から関わらせるべき。 キャンペーンの効果の定量的検証(ランダム化比較試験・ABテスト等)が必要。 行動経済学の観点から、ナッジを活用すべき。 年代・世帯構成によって生活様式が違うので、ターゲットを絞りアプローチを変えるべき。 区域別のごみ排出量の平均値を周知するなど、同調性を喚起するような手法も考えられる。 啓発には、学校教育を活用すべき。

<意見・提案

2 ごみ減量に向けて計画後半に重点的に取り組む事業

		K	る 型		,,	
			いことができ	%26	1万t以上	
		崖を行う。	量に取り組む	日標	目標	
	※旧2R推進費	スとリユースの推送	業者や若者と行政が一体となってごみ減量に取り組むことができ 市民のごみ減量行動促進を図る。	世帯の割合		ı
	(業	リデュース	行政が一位 量行動促進	んでいる世	(年度比)	盟係彈
	ごみ減量推進費(ごみ減量普及啓発事:	ごみの減量を進める上で特に重要なリデュースとリユースの推進を行う。 ・ごみ減量実践事業の実施	2 Rに重点を置き、事業者や若者と:実践的な事業を行い、市民のごみ減	生ごみの減量・リサイクルに取り組んでいる世帯の割合	常庭から出る生ごみの減量(平成28年度比)	循語型外会推准理
		(1	・日標	指標 1	指標 2	
	事業名	事業内容 (取組内容)	事業の目的・目標	事業の指		正管理

【新スリム計画との関わり】				
対応するスリム目標	ごみ排出量の減量目標		12 PARKE	14 *******
(最大2つまで)	家庭から出る生ごみ量の減量目標	標	8	111
対応するモニター指標	家庭から出る食品ロス量		3	2
対応施策:大	施策1 2Rを推進するためのしくみづくり	しくみづくり		
施策:中	1-1 ごみ発生・排出抑制のための行動の実践	りための行動の実践		
施策:小	(1) 発生・排出抑制行動の習慣化の促進	り習慣化の促進		
他の施策(番号のみ)	1-2-(1), (2) $1-3-(1)$, (2) $2-1-(1)$, (2) $4-3-(1)$	(1), (2) 4-3-(1)		

[各	年度における具体的な	【各年度における具体的な取組内容とその実績】 数値で示せるものは数値も記載すること
я 8		• 啓発冊子配布:リユース促進2,600部、食品ロス削減啓発19,438部、期限表示情報提
	事業費	供・水切り啓発16,912部、使い捨てプラスチック削減2,466部。 ・メベント(今画)・SNS・ハジュタグセン・パー・の事物 1の参加
₩	27, 194 千円	- ハント(正回)、 SISO、ハコイハイ・ノ 、 ハンチins、 +2人のシアins・使用媒体: テレビ、ラジオ、インターネット広告、交通広告、地下歩行空間壁面広告、
Æ	(22, 741) 千円	Facebook等(20~30代世帯をメインターゲットに選定)
4		・啓発冊子配布:リユース促進85部、食品ロス削減啓発15,520部、期限表示情報提供・水
	事業費	りりの発14, 800部、使い話てフラスチック削減080部。 ・イベント:商業施設にてフードロスミュージアムの開催。来場者数不明、アンケート回
₩	28,316 千円	答数1924年。 ・毎田堪休・テレデ ノンターネット広告
€	(22, 956) 千円	マニギド・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
ا ا		・啓発冊子配布:リュース促進100部、食品ロス削減啓発12,106部、期限表示情報提供・
	事業費	- 水切り啓発 II, 905部、使い活てフラスナック削減205部。 ・イベント:チカホにて、衣類等のリュース・小型家電回収イベントの開催。来場者数
₩	15,886 千円	721名・使用域体・テレデ インターネット広告 交通広告 雑誌・広報誌 市公式2
Æ	(11,656) 千円	
R 6		・啓発冊子配布:リユース促進270部、食品ロス削減啓発8,300部、期限表示情報提供・水
	事業費	切り啓発8,300部。 ・イベント:チカホにて、衣類等のリュース・小型家電回収や、食ロス削減レンピコンテ
₩	16, 406 千円	スト、ごみ分別ゲーム等を開催。来場者数3,506名・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
Æ	田士 (908 /1)	+K pc

※事業費 上段:小事業全体 下段:実際の事業費 小事業内に関係のない予算がある場合、違う数値となる

	【自己評価】 ※R3~	※R3~R6を通して	No.1
		定量的評価(数値あり)	定性的評価(数値なし)
N9	スリム目標への貢献度		家庭から出る食品ロス量が、計画期間中で過去最少となり(R6:11,607t)、生ごみの減量・リサイクルに取り組んでいる世帯の割合も高い水準を維持していることか、、本事業がごみの排出量や生ごみの減量に一定程度寄与していると考える。
	事業の実施結果 (目的・日標の達成 状況など)	達成状況 — (⑥:達成・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	○:75%以上 ▲:50%以上 ×:50%未満 -:他的な取組を提供し、行動変容を促す事業へと転的な取組を提供し、行動変容を促す事業へと転応は194.8%と高い割合を維持して目標ではないが、計画の基準年度であるH28の向にあり、本事業の効果は出ていると考える。の効果に関する市民意識調査)報告書」より
	事業の評価・課題	・従前の啓発中心の事業では、事業の効果が必ずしもごみ減 果測定の方法も確立されていないという課題があったため、 し、行動変容を促すことでごみ減量に繋げる事業に転換した。 ・チカホのイベントにて、衣類のリュース (民間事業者の協施したはか、その場で参加できるごみ分別ゲーム等を実施し 参加があった。各種メディアでも多数紹介され、多くの市民付けを行うことができた。 付けを行うことができた。 イベントで実施したごみ分別ゲームが好評であり、適切ない の市民に気付きを与えるコンテンツとして有効であった。	が必ずしもごみ減量には繋がっておらず、効 題があったため、実践的な取組を市民に示 「る事業に転換した。 、(民間事業者の協力)や小型家電の回収を実 「ゲーム等を実施したことから、3,500名以上の でれ、多くの市民にごみ減量の取組への意識 行れ、適切なごみの分別について、多く 有効であった。
长 回 .	今後の事業方針 (課題への対応や事業目 標の設置)	・引き続き、過年度の実施結果や課題を踏まえ、・ 画提案型の業務により、実践的でごみ減量効果の; 量施策の検討につなけていく。 ・令和6年度の結果より、来場者が期待できる会: することや、市の既存の制度やコンテンツを親し、 供することが効果的であったため、次年度以降の:	まえ、仕様等をブラッシュアップのうえ、企 効果の高い取組の把握を行い、今後のごみ減 きる会場で、その場で参加できる企画を実施 を親しみやすい形で提供し、気付きの場を提 以降の内容に反映していく。

(懇話会の意見等) 懇話会で意見があった場合のみ記載する ・ 札幌市はびん・缶・ベットが多く、更なるマイボトルの普及啓発が必要。 ・ 戸瀬市の新観後と同様、札幌市の大規様イベントでもリュース品を使えないか。 ・ 戸瀬市が開設を目標、札幌市の大規様イベントでもリュース品を使えないか。 ・ 岩布に解えるパンフレットなどは、岩布にデザインや企画の段階から関わらせるべき。 ・ オースペーンの外裏の定量的接流 うっなんに比較試験・ABラスト等)が必要。 ・ ・ 中代・世帯機成によって生活棒式が違うので、ターゲットを絞りアプローチを変えるべき。 ・ ・ 医域別のこみ排出量の平均値を周知するなど、同調性を喚起するような手法も考えられる。 ・ 啓発には、学校教育を活用すべき。

【事業の概要】					【自己評価】		※R3~R6を通して
事業名	家庭の生ごみ減量・リサイクル推進費	##					定量的
事業内容 (取組内容)	各家庭から排出される生ごみ減量の7 ①生こみ堆肥化セミナーの開催 (③電動生ごみ処理機購入助成 (⑤生ごみ減量・資源化に関する関心	こめの取組を行う。 ②生ごみ堆肥化相談窓口の開 ③生ごみ堆肥化器材購入助成 度・実践度等調査の実施(隔	設 年)		スリム目標への	画 類	
事業の目的・目標	生ごみの減量に効果的である堆肥化が 化に取り組む世帯を増やすことによ!	ある堆肥化が各家庭で定着を図ることに加え、} ウすことにより、家庭から排出される生ごみ減量	加え、新た み減量につ	新たに生ごみ堆肥 畳につなげる。	赿		
事業の指 指標1	生ごみの減量・リサイクルに取り組んでいる世帯の割	んでいる世帯の割合	目標	95%			
標 指標2	家庭から出る生ごみの減量(平成28年度比)	丰度比)	目標	1万 t 以上			達成状況
所管課	循環型社会推進課	関係課 一					

	12 JOHN	8	3				
	ごみ排出量の減量目標	家庭から出る生ごみ量の減量目標		施策2 分別・リサイクルの取組促進	生ごみ資源化の促進に向けた支援	家庭における自主的な生ごみ資源化の支援	
[[出非化ご	家庭から	ı	施策2	2 – 3	(1)	
【新スリム計画との関わり】	対応するスリム目標	(最大2つまで)	対応するモニター指標	対応施策:大	施策:中	施策:小	他の施策(番号のみ)

~	年度における具体的な	【各年度における具体的な取組内容とその実績】 数値で示せるものは数値も記載すること	_
<u>ო</u>			
	事業費	(1)「生ごみ堆肥化セミナー」を29回実施し、計415人の参加。また、10名以上の団体に講師を示谎する「生ごみ堆肥化講師派遣」は5団体、計76名から申込。	
₩	14, 429 千円	②生ごみ堆肥化相談窓口では計237件の相談。 ③雷動生ごみ処理機は361個、④生ごみ堆肥化器材は461台の助成。	
玉	(14, 429) 千円		
Ω 4		## TITLE OF THE STATE OF THE STATE OF THE BOOK OF THE STATE OF THE STA	
	事業費	(1)「生こみ雉肥代セミナー」を36回美施し、計584人の参加。また、10名以上の凶体に講師を派遣する「生ごみ堆肥化講師派遣」は12団体、計140名から申込。	
₩	15, 873 千円	②生ごみ堆肥化枯談窓口では計302件の相談。 ③雷動キごみ処理機は357個(4)キごみ堆肥化器材は523台の助成。	
图	(15, 873) 千円		
Ω Ω		(1) 「年ごな推開化カミナー」を33回実施し、計729人の参加(ひたオンレイン開催6	
	事業費	回)。また、10名以上の団体に講師を派遣する「生ごみ堆肥化講師派遣」は12団体、計220名からも3	
₩	14, 098 千円	2014が19年が。②生ごみ堆肥化相談窓口では計158件の相談。	
玉	(14,098) 千円	③電動生ごみ処埋機は326個、④生こみ堆肥化器材は502台の助成。	
2		(1) 「年ごみ排肥化セミナー」を30回実施し、計907人の参加(これアンコイン開催6	
	事業費	回)。また、10名以上の団体に講師を派遣する「生ごみ堆肥化講師派遣」は15団体、計271をから申3	
₩	14, 619 干円	27.コムンカーム。 ②生ごみも指形化布談窓口では計461件(セミナーでの質疑応答の件数も計上)の柏談。 ②主言はような指述によるで、ジュールでは、これには、これを表します。	
Æ	(14, 619) 丰田	③電動生こみ処埋機は432個、④生こみ堆肥化器材は465台の助成。	

小事業内に関係のない予算がある場合、違う数値となる 下段:実際の事業費 ※事業費 上段:小事業全体

	定量的評価(数値あり)	定性的評価(数値なし)
スリム目標への貢献度		生ごみの減量・リサイクルに取り組んでいる世帯の割合は高い水準を維持している。また、生ごみ堆肥化器材購入助成利用者の3%が生ごみ堆肥化を継続しており、市民の生ごみ減量の取組につながっている。
事業の実施結果 (目的・日標の達成 状況など)	- 指標 1は、R3は93 0%、おり、指標 1は、R3は93 0%、おり、指標 2についても、95 756 トンから R6 28 64 4年 二 み 推肥 化 市 ボー・モニ み 推肥 化 相談 窓口 ニ 大 援口 貢献 している。 文 援口 貢献 している。 コ 動生 ごかめ 理様・生 いき さたり、 年 1は 「指標達成度調※指標 1は「指標達成度調※	(③: 達成 〇: 75%以上 ★: 50%以上 ×: 50%未満 -: 他 R4は93.1%、R5は94.8%、R6は94.8%と高い割合を維持して 本事業だけの目標ではないが、計画の基準年度であるH28の トンと減少傾向にあり、本事業の効果に出ていると考える。 生ごみ催肥化の作り入と作った堆肥の活用方法を教える講座 近年は200件前後の相談が寄せられている。 近年は200件前後の相談が寄せられており、堆肥化の取組継続 3み堆肥化器材購入助成: 予算額の8~9割程度の助成金を交 這に貢献している。
事業の評価・課題	・生ごみ堆肥化セミナー:参加者のうち、約7割が60代以上で 肥化を進めていくためには、幅広い世代の参加者を増加させ た、現在は取り組んでいないものの「過去に取り組んだこと いと割っている」市民が全体の3割以上いる(R6年度生ごみ ケート調査より)ため、堆肥化に取り組む世帯の増加に向け ある。 ・電動生ごみ処理機:生ごみ堆肥化器材に比べ助成者の継続 る。 ・集合住宅の居住者など、堆肥化が難しい世帯が実践できる 介できていない。 ・のな気はない。 ・のな気はない。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	こみ堆肥化セミナー:参加者のうち、約7割が60代以上であるが、さらに家庭での堆を進めていくためには、幅広い世代の参加者を増加させる必要があると考える。ま現在は取り組んでいないの「過去に取り組んだことがある」「今後取り組みた思っている」市民が全体の3割以上いる(R6年度生ごみ減量・資源化に関するアント調査より)ため、堆肥化に取り組む世帯の増加に向け、更なる浸透を図る必要が。 動生ごみ処理機:生ごみ堆肥化器材に比べ助成者の継続率が低いことが課題と考え合任宅の居住者など、堆肥化が難しい世帯が実践できるごみ減量の取組が十分に紹言していた。 ウモモの居住者など、堆肥化が難しい世帯が実践できるごみ減量の取組が十分に紹合性である。 対している。 対している。 対している。 対している。 対している。 対したのを表し、 対したのを表し、 対したのを表し、 が表したが、 はいるを表し、 が表している。 が表したが、 が表したが、 が表したが、 が表したが が表したる。 が表したる。 が表したが が表したる。 が表したる。 が表したる。 が表したる。
今後の事業方針 (課題への対応や事業目 標の設置)	・生ごみ権肥化セミナー:講座のアーカイブ配信や若い世代に 媒体の活用により、50代以下を中心に対視参加者増加を図る。 ・電動生ごみ型機・助成が出るため購入したものの、イン まつままでは、サイン・メリットやディットをしつかり周、 ・ダンボール箱による堆肥化や堆肥の回収事業など、集合住宅 内していく。	イブ配信や若い世代にもアプローチできる広報 規参加者増加を図る。 入したものの、イメージと違い使用をやめてし メリットをしっかり周知していく。 収事業など、集合住宅でも取り組める事業を案 助成の予算執行率向上を図る。

・トートバッグ型のコンポストは見た目もよく、素材も再生素材・バイオマス原料でできているので、 採用してはどうか。 そい配に海材は、事務所や大学のせご室など人が集まる場所に置くことで、コミュニティとしての ・理ができ、一人暮らしでも取り組みやすい。 ・たい配を有効活用するために、企業や団体単位で農家とつながるようにできると良い。 ・エーストン、配たの回収点に今有効は用れを整備し、利便性を同上せもなった。 ・たい配を暴家が使いやすくなるような礼機所の品質は正・PRがあると取組が進むのでは。 ・たい配を農家が使いやすくなるような礼機所の品質は正・PRがあると取組が進むのでは。 ・たい肥化には場所が必要であり、集合住宅では難しいので、集合住宅向けの何かがあってもいい。 懇話会で意見があった場合のみ記載する 【懇話会の意見等】 意見·提案等

【事業の概要】			【自己評価】 ※R3~	※R3~R6を通して	No.3
事業名	集団資源回収奨励費(回収関係)			定量的評価(数値あり)	定性的評価(数値なし)
事業内容 (取組内容)	市民の自発的なリサイクル活動である集団資源回収の実施団体及び回 を交付する。	回収業者に対し奨励金	目標への貢献	集団資源回収に出すことで、ごみステーションへの排出が減少するため、市のごみ 排出量減につながる。 #78年54,1021,102年51,9901,	
事業の目的・目標	市民の自発的なリサイクル活動へ奨励金を交付することで、古紙を中量・資源化を促進する	中心としたごみの減		H30年48, 587t, R01年45, 390t, R02年41, 255t, R03年39, 760t, R04年37, 726t, R05年34, 401t,	
事業の指 指標1	曹が回	目標 42, 109t		R06年31, 510t	
	支給団体数	目標 4,338団体		達成状況 ▲ (◎:達成 O:7	:75%以上 ▲:50%以上 ×:50%未満 一: 他
所管課	循環型社会推進課 関係課 一				
【新スリム計画との関わり】	ر بر ۱۳				
対応するスリム目標	「ごみ排出量の減量目標	12 つんる素質	事業の実施結果 (目的・目標の達成	集団資源回収の回収量は年々減少傾向にあるが、新聞の発行部数減等を要因と、 か合体景速小が影響!アいろと用われる	が、新聞の発行部数減等を要因とする古紙
(最大2つまで)	家庭から出る廃棄ごみ量の減量目標	8	状況など)	ります 子譲っています。 が譲っていません。 が譲っていません。 がいまればの。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	方で、団体構成員の高齢化等の理由による
対応するモニター指標	燃やせるごみに含まれる容器包装プラスチックと紙の量	3		活動甲止もみられるため、支給団体数は横は	いてめる。
对応施策:大	施策2 分別・リサイクルの取組促進				
施策:中	2-2 資源回収の促進に向けた取組				
施策:小	(1) 集団資源回収の更なる促進			年田舎 语回記 が 排出 さかた 参詣 物 十一 行 的 み	
他の施策(番号のみ)	2-2-(4)			米国気候団ないが出しながらは続きる、こなら、しなられたれており、極めて「み減量に効果的な関サイナ	パップにてない、公司に多のキャッ・リング 組と言え、行政収集と比較し経費も低廉で
【各年度における具体的な取組内容とその実績】	な取組内容とその実績】 数値で示せるものは数値も記載すること		事業の評価・課題	める。 一方、燃やせるごみに新聞・雑誌・ダンボー た、"令和5年度「ごみ減量・資源化に対す	ルが約3千トン排出されており、ま 7.8行動・意識等 に関する市民意識調
R 3 事業費 172,892 千円	燃やせるごみに含まれる新聞・雑誌・ダンボールの推計値・・・4,788t(R03組成調査より)同収量・・・・39,760t主参開体数・・・3,30円GH	788t		査"によると、チラシ・パンフレット及び紙パックは「雑がみ」の日に出す人が最くなっているなど、更なる掘り起こしの余地がある。 また、回収量の減少に伴い、回収業者の回収効率の悪化や、経営状況の悪化が課題 なっている。	パッグは「雑がみ」の日に出す人が最も多 がある。 :効率の悪化や、経営状況の悪化が課題と
内 (172,892) 千円	* 1 000 t				
事業費 全 158,589 千円	燃やせるごみに含まれる新聞・雑誌・ダンボールの推計値・・・4、 (R04組成調査より) 回収量・・・・37,726t 支給団体数・・・4,301団体	· 4, 852t	今後の事業方針 (課題への対応や事業目標の設置)	集団資源回収の認知度向上や利用促進のため、市民への周知を行うとともに、町「の実施団体への情報発信を引き続き行っていく。 の実施団体への情報発信を引き続き行っていく。 町内会等への実施団体に対しては、回収量が多い団体の要因分析を行った上で、1 体にも可能な取組を発信していくなど、回収増につながる効果的な施策を検討し く。 また、古紙の市況や回収業者の経営状況について引き続き情報収集に努め、その]	、市民への周知を行うとともに、町内会等 、、。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

※事業費 上段:小事業全体 下段:実際の事業費 小事業内に関係のない予算がある場合、違う数値となる

燃やせるごみに含まれる新聞・雑誌・ダンボールの推計値・・・3,753t (R06組成調査より) 回収量・・・・31,510t 支給団体数・・・4,326団体

干田 出

169, 258

₩ 图

(169, 258)

事業費

・集団資源回収量を増やすためには、紙パックや製品プラスチックなど対象品目を増や すことも一つの方法と思う。 ・集団資源回収は回収頻度が低く利用しにくいため、回収拠点に持ち込む人がいる。回 収拠点が増えればいいという声も聞こえる。回収拠点の広報にもっと力を入れていいと 思う。 ・奨励金制度について、以前とは新聞・段ボールの排出量が異なっており、回収業者が 経営的に厳しいので、今後制度について考えていく必要があると思う。

懇話会で意見があった場合のみ記載する

【懇話会の意見等】

燃やせるごみに含まれる新聞・雑誌・ダンボールの推計値・・・2, 897t(R05組成調査より) 回収量・・・・34, 419t 支給団体数・・・4, 366団体

出出 十田

173, 674 (173, 674)

₩

事業費

十田

(689)

(158, 8

图 ₩

見·提案等

く。 また、古紙の市況や回収業者の経営状況について引き続き情報収集に努め、その動向を 注視していく。

7 = H			【一日記報子 ※K3~	自然部件	* 社社 *
雑かみリサイクル事業費				定量的評価(数値あり)	定性的評価(数値なし)
ごみステーションで収集した雑がみを、民間古紙選別施設と中沼雑が別し、製紙原料や固形燃料に再資源化する。再資源化した製紙原料は分は古紙問屋組合を通じて製紙工場へ売却、中沼雑がみ選別センターより輸出業者へ売却している。	がみ選別4 は、民間 ー分は一 ^船	バみ選別センターで選 よ、民間古紙選別施設 ナンは一般競争入札に	スリム目標への貢献	燃やせるごみに含まれる雑がみの量の減少が、廃棄ごみ量の減量となる。 H28 9 136t・3.7% H29 10.047t・4.1% H20 4.6cc+ 6.7% Pol 14.6c4t・6.0%	
資源物のリサイクルを促進し、廃棄ごみの減量を図る。			極	730 10,030 1 0, 17	
燃やせるごみに含まれる雑がみの量	目標	1		24:0	
雑がみ・主要古紙の搬出量	日標	17, 962t		達成状況 ▶ (◎:達成 ○:	〇:75%以上 ▲:50%以上 ×:50%未猶 -: 伯
循環型社会推進課 関係課 施設管理課					
			:	市民が沓酒物として推出した雑がみの全書:	を下間古紙業別体診及び中沼雑がみ業別セン
廃棄ごみ量の減量目標		19 SCHREE	事業の実施結果(日的・日標の達成)	ターにおいて選別処分・売却し、再資源化日間十名第四件部の開発がの問題にある。	
家庭から出る廃棄ごみ量の減量目標		8	状況など)	氏自日 瓶送川施設の処理量 は一たになるよ 出量はほぼ横ばいである。	広间日和送が応設の処理車は一たによるよう調整でしているだめ推りが・主安日転の版 出量はほぼ横ばいである。
燃やせるごみに含まれる容器包装プラスチックと紙の量		3		分別協力率は約60%で他の資源物と比へは ないことが影響していると考えられる。	い状況であり、排出機会か2週間に1度と少
施策2 分別・リサイクルの取組促進					
2-1 分別・排出ルールの周知・徹底					
(2) 紙類と容器包装プラスチックの適正排出の促進					40 A 1 A 1 A 1 A 1 A 1 A 1 A 1 A 1 A 1 A
				雑がみの分別協力率は20%台と低調な状況。 華ブユーの割割がに可能とたることがに 一番	が続いており、適正排出に誘導することで廃 たく国知政発が心車である
な取組内容とその実績】 数値で示せるものは数値も記載すること			事業の評価・課題	*こが書の出版がよれてあることがら、文学 一方、2020年末の中国の古紙輸入禁止措置 在は需給が均衡し、安定的にリサイクルさえ	まる問名で元が安くのる。 に伴い、雑がみのごみ化が懸念されたが、現れている。
燃やせるごみに含まれる雑がみの量・・・14,691t(R03組成調査より 分別協力率・・・・・・・・・・56% 雑がみの機出量・・・・・・・・・・・ 136,418t 民間8,110t + 恵本弁の機出量・・・・・・・・・・ロジ27nt 早間1,087t	ر ا			また、"令和5年度「ごみ減量・資源化ご」を、「こよると、チラシ・パンフレット及びらくなっているが、これらは集団資源回収ででなっているが、これらは集団資源回収で	また、"令和5年度「ごみ減量・資源化に対する行動・意識等」に関する市民意識調査"によると、チラシ・パンフレット及び紙パックは「雑がみ」の日に出す人が最も多くなっているが、これらは集団資源回収での排出を促す必要がある。
30.73H. L.					
燃やせるごみに含まれる雑がみの量・・・14,691t (RO4組成調査より分別協力率・・・・・・・・・・58%雑がみの搬出量・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 786,526t 民間8,034t主要古紙の搬出量・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 73268t 民間1,091t	(h		今後の事業方針 (課題への対応や事業目 練の設置)	雑がみリサイクル事業は今後も継続して行るがみとして排出できる紙類を分かりやす分けガイド、ごみ分別アブリ等の媒体を活く。く。	雑がみリサイクル事業は今後も継続して行っていく。 雑がみとして排出できる紙類を分かりやすく周知するため、市公式ホームページやごみ 分けカイド、ごみ分別アブリ等の媒体を活用し、市民への周知を図ってい く。

【新スリム計画との関わり】

対応するスリム目標

(最大2つまで)

指標2 指標 1

> 所管課 丰

事業の指

回補

事業の目的・

事業内容 (取組内容)

[事業の概要]

事業名

対応するモニター指標

対応施策:大

	懇話会で意見があった場合のみ記載する	ラスチックと雑がみの分別は特に難しいが、繰り返し市民に訴えていく必要がある	スチックと雑がみの分別協力率について、毎年晋及啓発を行ってい、認知度としてこれくらいが限界なのでは。100%を目指すのはコン	預といっても、機密保持などの理由で燃やせるごみに入れたいもの [。] oかっていても面倒だという人もいると思う。	容器包装プラスチックや雑がみ、あとコロナやせるごみの中にはまだまだリサイクルでき	こ認識してもらう必要があると思う。
	【懇話会の意見等】			意見·提案等		
田田	477.677000円里		11 - + 12 - 17 / V V V V V V V V V V V V V V V V V V	黙やせるこみに留まれる雑か <i>みの</i> 重・・・14, 61.21(KNº組成調査より) 分別協力率・・・・・・・・・・・・58%	雑がみの搬出量・・・・・・・・・・・・・・・中沼4、8951 民間8、0521 土車士新の撤出書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1977 1977 - 1977 -
	208, 344 十円	(208, 344) 千円		事業費	212, 557 千円	(212, 557) 丰円

燃やせるごみに含まれる雑がみの量・・・14,332t (RO5組成調査より)

出田

196, 876 876)

₩ 图

事業費

出田

(196, 8

R S

€

₩

图

₩

※事業費 上段:小事業全体 下段:実際の事業費 小事業内に関係のない予算がある場合、違う数値となる

他の施策(番号のみ)

施策:小

施策:中

【各年度における具体的な取

<u>ო</u>

出田 出

195, 273

₩

(195, 273)

图

事業費

【事業の概要】					【自己評価】	※R3~R6を通して	通して		
事業名	資源物リサイクル事業費						定量的	量的評価(数値あ	y)
事業内容 (取組内容)	分別収集したびん・缶・ペットボトチック選別センターで選別したプラギンの選別センターで選別したプラ者に、缶をリサイクル事業者に引き	ペットボトルを適切に選別し、びん・ペッパレたプラスチック製容器包装を指定法/ 第者に引き渡し再資源化する。	びん・ペットボトル及! !を指定法人を通じて再!	及びプラス 再商品化事業	スリム目標への貢献	<u> </u>	であいし 1960	おかり	包装プラス み量の減量と
事業の目的・目標	資源物のリサイクルを促進し、廃棄	廃棄ごみの減量を図る。			囡		3 19, 502 t 4 18, 709 t 5 20, 180 t	(7. 7%) (7. 5%) (8. 4%)	
事業の指 指標1	燃やせるごみに含まれる容器包装プ	容器包装プラスチックの量	目標	1		• K	22,		
標 指標2	│ びん・ペットボトル・プラ製容器包シ	装再商品化量	目標	47, 480 t		in in	達成状況	0	(◎:達成 ○:
所管課	循環型社会推進課	関係課 施設管理課							

₽.

(数値なし)

定性的評価

【新スリム計画との関わり	10	
対応するスリム目標	廃棄ごみ量の減量	最の減量目標 おおお おおお おおお おおお おお おお おお お お お お お お
(最大2つまで)	家庭から	家庭から出る廃棄ごみ量の減量目標
対応するモニター指標	燃やせる	燃やせるごみに含まれる容器包装プラスチックと紙の量
対応施策:大	施策2	分別・リサイクルの取組促進
施策:中	2 – 1	分別・排出ルールの周知・徹底
施策:小	(2)	紙類と容器包装プラスチックの適正排出の促進
他の施策(番号のみ)		

数値で示せるものは数値も記載すること
【各年度における具体的な取組内容とその実績】

、分別協力 さまり適正排

びん・缶・ペットボトルについては、95%程度の分別協力率で推移しており、廃棄ごみ の減量とリサイクルの促進に大きく寄与していると言える。 また、容づうは資源物として排出されたものは適切にリサイクルされており、分別協力 事も本計画基準年(H28)の55%より上昇傾向にあるものの、86は53%にとどまり適正排 出が大きく進んでいないことから、より効果的な啓発を検討する必要がある。 なお、容づうに、モバイルバッテリーや加熱式たばこなど選別施設やリサイクル工場で の火災事故の原因となるリテウムイオン電池等の小型流電転電池を内蔵する数品の混入 が増加していることから、これらの適正な排出を促すための取組みも必要である。 も増加していることから、これらの適正な排出を促すための取組みも必要である。 使用済みペットボトルを原料にペットボトルを製造する水平リサイクルに取り組む事業 者や自治体が全国的に増えており、本市としても検討する必要がある。

課題

事業の評価・

市民が資源物として排出したびん・缶・ペットボトルと容器包装プラスチックは選別処理し、再資源化可能な事業者に引渡しリサイクルしている。指標1について、燃やせるごみに含まれる容器包装ブラスチックの量は、年によって増減があるものの、大きく減少はしておらず、分別協力率についても横ばいとなっている。

事業の実施結果 (目的・目標の達成 犬況など)

鈤 i

×:50%未潮

50%以上 -:-

75%以上

	今後の事業方針 (課題への対応や事業目標の設置)	【懇話会の意見等】 意見・提案等
・燃やせるごみに含まれる容器包装プラスチックの量 19,502 t (推計) ・びん・缶・ベットボトル分別協力率 96% ・容器包装プラスチック分別協力率 57% ・びん・ペットボトル・プラスチック製容器包装再商品化量 47,171 t	・燃やせるごみに含まれる容器包装プラスチックの量 18,709 t (推計) ・ひん・缶・ペットボトル分別協力率 94% ・容器包装プラスチック分別協力率 59% ・びん・ペットボトル・プラスチック製容器包装再商品化量 47,333 t	 ・燃やせるごみに含まれる容器包装ブラスチックの量 20,180 t (推計) ・びん・缶・ペットボトル分別協力率 50% ・び格・ベットボトル・ブラスチック製容器包装再商品化量 46,018 t ・燃やせるごみに含まれる容器包装ブラスチックの量 22,858 t (推計) ・びん・ベットボトル・分別協力率 53% ・びん・ボ・ペットボトル・分別協力率 53% ・びん・ベットボトル・ブラスチック製容器包装再商品化量 45,045 t
事業費 893,479 千円 (893,479) 千円		事業費 891,935 千円 (891,935) 千円 事業費 917,798 千円
R 全 任	ス 4 全内 で	会 会 会 会 会 会 会 会 会 会 る 会 る の 会 る の 会 る の る の

違う数値となる 小事業内に関係のない予算がある場合、 下段:実際の事業費 上段:小事業全体 ※事業費

引き続き、市民が資源物として排出したびん・缶・ペットボトル、容プラのリサイクルを実施するとともに、容プラの分別協力率の向上を図るため、市民への啓発を進めていく。 く。 また、これまでにも市公式ホームページやポスターなどでリチウムイオン電池混入防止の路発を実施してきたが、引き続き効果的な啓発方法を検討していく。 水平リサイクルが全国的に拡大していることを受け、回収したペットボトルの一部を対象に、令和6年10月から令和7年9月の間、水平リサイクルの試行事業を実施し、環境自体やリサイクル効率などの観点から検証を行う。

懇話会で意見があった場合のみ記載する

札幌市のペットボトルの排出量が多い理由について、さらに深堀すべき 汚れた容易色装っちゃっクを分割する際に、汚れをすすぐ理由を訴えていく必要がある ブラスチックと雑がみの分別は特に離しいが、繰り返し市民に訴えていく必要がある 容器包装プラスチックと対がみの分別協力率について、毎年普及啓発を行っているが横ば いとなっており、認知度としてこれくらいが限界なのでは。100%を目指すのはコスパが帯し、 札幌市はペットボトルがペットボトル以外の用途にリサイクルをれているが、ペットボト ルとして再利用する方法が確立されていますので、その方法も検討してみては。 提案等

玩要】				【自己評価】 ※R3~	※R3~R6を通して	No. 6
	事業廃棄物対策費(古紙を中心とした事業ごみの減量・リサイ)	・リサイクルの推進)			定量的評価(数値あり)	定性的評価(数値なし)
() (Va	延床面積1,000㎡以上の大規模事業所に対し、ごみ排出量の年間実績と予定量の報告を義務付けし、古紙リサイクルの余地と経済的効果を解析・見える化して事業者に示すこと、古紙排出量の少ない中小規模事業者に対し、古紙分別回収ができる体制を構築することなどにより、こみ減量・リサイクルを促している。	実績と予定量 として事業者 きる体制を構	置の報告を義に示すこと、 築することな	ログログログログ		数値では一概には示せないが、本事業により、事業者が古紙を一般ごみではなく古紙
り・目標	事業ごみの減量・リサイクルを推進するため、その3割を占める紙収しリサイクルされる量を増やす。	もり	を中心に、分別回	人 ウムロ徐への貝勝度		回収に排出することで、ごみ排出量・廃棄 ごみ量の減量に一定の効果があったと考え しいる。
指標1	大規模事業所における一般廃棄物に占める焼却ごみ量の割合	日糧	ı			
指標2		日標	ı		達成状況 — (◎:達成	〇:75%以上 ▲:50%以上 ×:50%未満 -: 他
	事業廃棄物課 関係課 -					
、計画との関わり】	[A				報告書の提出率は30%以上と高く、に、したと思われる。事業系古紙のリサイ・したと思われる。事業系古紙のリサイ・しいても、平成28年度には39%であった	報告書の提出率に50%以上と高く、ごみの分別・リサイクルへの意識が概ねが改っ、定者したと関われる。事業系百紙のリサイクル率(ごみの排出量に占める古紙量の割合)「こしても、平成8年度には30%があったが、こうした取組みによってや別が発み向上し
くりム目標	ごみ排出量の減量目標		TO STATE OF	事業の実施結果(目的・日槽の達成)	た。無却にみの排出割合にしいては、「なれ、「自っえん・井崎については、」	氏は横ばいとなっている。
0帯で)	廃棄ごみ量の減量目標		(状況など)	なお、「兄人の16」又称にしていては、。なる。	*************************************
ニーター指標	リサイクル率		3		【リサイクル等(H28:39%)】 R3:43%、R4:45%、R5:40%、R6:59%	
ĸ	施策3 事業ごみの減量・リサイクルの取組促進				【焼却 <i>ごみの</i> 割合(H28:34%)】 B3・35% B4・35% B5・30% B6・41%	
- HIV	3-1 事業者による自主的な取組の促進					
1策:小	(1) 民間のリサイクルルートの把握・活用					
(番号のみ)	3-1-(2) 3-2-(1)				・大規模事業者における紙ごみを中心、が見られる。	:するごみの分別、リサイクルの取組は概ね定着
こおける具体的	具体的な取組内容とその実績】 数値で示せるものは数値も記載すること			事業の評価・課題	・中小規模事業所の古紙分別回収では、の、近年では古紙買取価格の低迷や分のにする。	・中小規模事業所の古紙分別回収では、商店街等での回収体制が概ね構築されたもの の、近年では古紙買取価格の低法や分別の手間などの理由により、参加店舗数は減少値 もにより、参加店舗数は減少値
					同にある。(中柏の牛魚は、り地内の・東なる取組を推進するには、古統領国	8点句で米あら1277日編が参加。) X価格の低迷や従業員のリサイクルへの意識の低
事業費	・事業系廃棄物減量計画書・処理実績報告書 提出件数:4,294件・大規模事業所への見える化支援 対象・件数:事務所他 0件	件(提出割合)	5:92.3%)		さ、分別の手間などの課題があり、啓送 法を再検討する必要がある。	E対象の拡大や手法の見直しなど、現在の事業手
24, 945 千円	・古紙分別回収ルートの整備 参加事業者・団体:136店舗					
日十0						
					・より多くの事業所に対してごみ減量:ョニュ・4.6年光十二十十二十十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二	F働きかけられる、より効率的で効果的なごみ減
事業費	・事業系廃棄物減量計画書・処理実績報告書 提出件数:4,295件・大相緧事業所への目ラスルお遅 対象・仏教・重黎所州 O化	盟	出割合:93.1%)	今後の事業方針(理覧への対応も事業目)	■ ソクイノルの推進力法を候終する。 ・大規模事業所には、全事業所を対象(こ分別・リサイクルを更に進めてもらえるよう、
29, 137 丰円	: 131店舗			で発送し、などのです米日標の設置)	書面での啓発等を行う。 ・中小事業所には、大規模事業所での経験をベースに、具体的なごみ減、	Fう。 大規模事業所での経験をベースに、具体的なごみ減量方法とその効
日十0					果をホームページ等で周知する。	

事業の指標

事業の目的・

事業内容 (取組内容)

[事業の概要]

事業名

所管課

応するスリム目

【新スリム計画と

対応するモニター

对応施策:大

(最大2つまで)

違う数値となる 小事業内に関係のない予算がある場合、 下段:実際の事業費 上段:小事業全体 ※事業費

見·提案等

懇話会で意見があった場合のみ記載する

【懇話会の意見等】

4%)

: 92.

242件(提出割合 0件

・事業系廃棄物減量計画書・処理実績報告書 提出件数:4.・ ・大規模事業所への見える化支援 対象・件数:事務所他 ・古紙分別回収ルートの整備 参加事業者・団体:123店舗

989 千円 0千田

27,

₩

事業費

(提出割合:97.9%)

・事業系廃棄物減量計画書・処理実績報告書 提出件数:3.964件・大規模事業所への見える化支援 対象・件数:事務所他 0件・古紙分別回収ルートの整備 参加事業者・団体:127店舗

₩ K ・ テナントに入っている事業者に対しては、より啓発・指導を強化すべき。テナントが代わりにごみ ・ 施理をしている場合があり、分別が雑になっている場合があるため。 ・ 紙こみについて自動派を禁止するなども終討してはどうか。 ・ シュレッダーこみの取扱いについての周知路報を強化することで、特に都心部の事務所の入ってい ・ シェルッダーにかの取扱いについての周知路報を強化することで、特に都心部の事務所の入ってい を日かりも出る紙のこれの、、少、日にリナイクルをれる事が増えるのではないか。 を対しかのよれにより非常所での紙の使用量を減られるに存ないか。 ・ 資料の電子化・ペーパーレス化により非常所での紙の使用量を減られることを示す必要がある。 ・ 紙の使用量削減を事業所にあたり、市役所目らが事先して取り組む必要がある。

725 千円

29,

₩

(番号のみ

他の施策

【各年度における

ი გ

施策:小

施策:中

24,

生

【事業の概要							【自己評価】 ※R3~	※R3~R6を通して				No. 7
事業名		事業廃棄物対	策費 (事業系生	ごみの減量・リサイクルの推進)				定量的評価	評価(数値あり)	y)	定性的評価(数値なし)	
事業内容 (取組内容)		事業所から出理へ誘導する う。	H るっ と	ごみについて、各事業所・団体との連携により分別もに、事業者を通じた食品ロス削減の具体的な行動	沙別収集と ¹ 5動につな <i>t</i>	収集とリサイクル処 につながる啓発を行	スリム目標への貢献				本事業により、事業者から排出さ みが減るとともに、排出された生 かが過るとともに、排出された生	よい るな; 計し ブー・
事業の目的・	日標	事業ごみ(クル処理/ 図る。	事業ごみの減量・リサイクルを推進するため、・ クル処理への誘導によるごみ減量化と、食品ロン 図る。	-るため、その3割を占める生:、食品ロス削減の取組の推進	עַנַרַרָן	みについて、リサイ よるごみ発生抑制を	極				部が割料・肥料にリケイクルされている、 とから、『み排出量・廃棄ごみ量の減量! 一定の効果があったと考えている。	1000000000000000000000000000000000000
事業の指	指標 1	事業系生	事業系生ごみの処理量		目標	I		\				
仁	指標2	ı			目標	ı		達成状況	1	(◎:達成 ○:7	〇:75%以上 ▲:50%以上 ×:50%未満	一: 他
所管課		事業廃棄物課		関係課 一								
【新スリム計	【新スリム計画との関わり】	۱۷)					E 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	・計画の基準年でており、令和6年月 「おり、令和6年月	ある平成28年度 隻は約3.9万トン 1 R3・39 611+	Eから令和5年度ま ハとなった。 R4・34 123+ F	・計画の基準年である平成28年度から令和5年度までの事業系生ごみ量は、約3~5万トンで推移しており、令和6年度は約3.9万トンとなった。 「事業条年ごみ書】R3・39 611 F B4・34 124 F5・36 481 FR・39 148 F	/で推移し
対応するスリム目標	ム目標	曹剛の曹田排化ご	量の減量目標			12 SCHARE	事業の美施結果 (目的・目標の達成	・令和元年度に実 ロス対策を実施し	施した食品ロストント・また。	、削減の取組状況 取組方法の倒示	調査では、回答事業者の7割以上が何を求める声が多くあったため、令和3	らかの食品 年度には食
(最大2つま)	(よ)	廃棄ごみ	ごみ量の減量目標			8	状況など)	品口 ス型減策の事・バルージ ボルージ・グラ	例集を公表したお上げ出する	「一」というでは、「一」には、「一、「一」には、「一、「」には、「一」には、「一」には、「一」には、「一」には、「一」には、「一」には、「・」に、「・」に、「・」に、「・」に、「・、「・」に、、「・」に、、「・」に、、「・」に、、「・」に、、「・」に、、「・、」に	ロュジョン・7、グードにつ、「「」」 画業 米色 単端石 エアしたがく アンタ	{ } {
対応するモニタ	- 夕一指標	1				3		・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	あとたます 十 2 サイク ア 中半 ウェー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	には、回なった。	半米血のの暖に上にかららいった。の生にみたできた補肥の活用核も増えて「作されている」(ませのケジロ)	おり、草米
対応施策:大	, .	施策3	事業ごみの減量・リサイクルの取組促進	しの取組促進				がおっ十のもにの 校)	画派を一生のく	■の 啓光も 巡米型	-イエイクオにしいる。(牛放28年 18校学	5和5平5U3
												-

【新スリム計画との関わり】	[[) \$ H	# + + + + + + + + + + + + + + + + + + +
対応するスリム目標	田井をご	事業の ごみ排出量の減量目標 (1目的) (事来の表施結果 (目的・目標の達成
(最大2つまで)	廃棄ごみ	廃棄ごみ量の減量目標状況な	になど)
対応するモニター指標	ı		
対応施策:大	施策3	事業ごみの減量・リサイクルの取組促進	
施策:中	3 – 1	事業者による自主的な取組の促進	
施策:小	(3)	飲食店等と連携した食品ロス削減の推進	
他の施策(番号のみ)	3-1-(1), 4-4-(2)	4-4-(2)	

世	おける具体的な	各年度における具体的な取組内容とその実績】数値で示せるものは数値も記載すること	
	事業費	①市内飲食店におけるドギーバッグの試行導入(46店舗、2.110個)②外食時に直接食べきりを啓発するマスクケースを配布(55店舗、102.150個)	
~ 1	24, 945 千円	③学校給食フードリサイクル:297枚、2,200トンの生ごみをリサイクルし、啓発(3条業種別の食品ロス削減等を事例隼としてまとめ、ホームページにて公表	
	(703) 千円		
		①市内飲食店におけるドギーバッグの試行導入(30店舗、1.235個)	
	事業費	②外食時に直接食べきりを啓発するマスクケースを配布(28店舗、20,800個) ③賞味期限の近い商品の積極的購入を街頭放映により啓発	小
7	29, 137 丰円	(4) 学校給食フードリサイクル:296枚、2.240トンの生ごみをリサイクルし、啓発 ⑤食品衛生協会を通じて、市内飲食店に生ごみリサイクルや本市の食品ロス削減取組に関するパンフレットを	
2	(2,044) 千円	配布(9,000枚)	
		A TATE O TATE	
	事業費	①市内敦度店におけるトキーハックの訳行導人(3/占舗、2,705個) ②会食等での食べきりを促す「2510スマイル宴」の実施や、賞味期限の近い商品の積極的	l
7	27, 989 千円	購入を街頭放映により啓発 ②学校総会コードコキイカル・205技 2 104トンの年ごみをコキイクルし 政策	
\overline{z}	(1,981) 千円		
		①市内飲食店におけるドギーバッグの試行導入 (22店舗、730個)	
業費	40-4	②食べきりを呼びかける文言の入ったポケットウェットティッシュを市内飲食店で200個、飲食出店のあるイベント会場(ミュンヘン・クリスマス市)で1,000個配布	幯
7	29, 725 千円	③会食等での食べきりを促す「2510スマイル宴」の実施や、賞味期限の近い商品の積極的購入を街 頭放映により啓発	
	(1,684) 千円	④学校給食フードリサイクル:294校、2,168トンの生ごみをリサイクルし、啓発	

小事業内に関係のない予算がある場合、違う数値となる 下段:実際の事業費 ※事業費 上段:小事業全体

・生ごみリサイクルについてはほぼ横ばいで推移しており、分別に手間がかかり、処理費用の軽減度が低いこと等から、処理拡大が進んでいない状況にある。 ・食品 ロス削減の啓発とともに、処理拡大が進んでいない状況にあり、生ごみ量の発生抑制につながっていると考えられるが、食品ロス削減取組に対する市民の認知度が低いことや、食中毒の懸念等から持ち帰りに抵抗感を持つ飲食店もあるなどの課題がある。	・事業所から排出される生ごみは、引き続き民間のリサイクル施設へ誘導し、銅・肥料への再生処理を促進する。また、令和フ本度のリサイクル施設の増強更新(684/日⇒100t/日)に合わせ、関係する事業者と連携して地塩拡大を図る。・事業者の協力を得ながら、消費者をある市民と事業者双方の食品ロス削減について、さらなる意識の磨成を図る。引き続き、食品衛生協会を通じて、生ごみリサイクルや本布の食品ロス削減取組に関するパンフレントを飲食店に配布し、周知拡大を図る。・1き続き、飲むドキーバッグの試行導入を図る。・15続き、飲むドキーバッグの試行導入を図る。・25続き、協力店舗をホームページで公表すらなど、ドギーバッグ利用拡大を図る。
事業の評価・課題	今後の事業方針 (課題への対応や事業目 標の設置)

・ 食品廉薬物の再生利用の優先順位は、飼料化、たい肥化あるいはメタン発酵、焼却と続く。栄養素の循環や窒素・リンの循環が農業安保上求められており、注力すべき。・ 企業向けのディスポーザーの補助など、市がごみとして処理する量を減らす方法もあると思う。 懇話会で意見があった場合のみ記載する 穆話会の意見等】 見·提案等

その他の事業

【事業の概要】	[要]							
事業名		ごみ減量推進費(市民・事業者・団体との取組)	体との取組	I)※旧2F	※旧2 R推進費			_
事業内容 (取組内容)	Ω.	ごみの減量を進める上で特に重要なリデュースとリュースの推進を行う。 ①ごみ減量実践活動ネットワークへの負担金 ②資源回収ポックス設置助成 金 ③古着拠点回収の周知 ④スーパーマーケット事業者・市民団体と連携したレジ袋削減	リデュース の負担金 マーケット	、とリュースの ②資源回収 事業者・市	O推進を行う Qボックス設 民団体と連携	で置助成で置けた したし	が 一 が が が に が に が に が に に に に に に に に に に に に に	
事業の目的・	0・目標	2RIC係る普及啓発事業を行い、市民のごみ減量行動促進を図る。	らのごみ減	量行動促進を	× × × × × × × × × × × × × × × × × × ×			
事業の指	指標 1	生ごみの減量・リサイクルに取り組んでいる世帯の割合	んでいる世	帯の割合		型標	95%	_
準	指標2	家庭から出る生ごみの減量(平成28年度比)	年度比)			目標	1万t以上	_
所管課		循環型社会推進課	関係課	ı				_

対応するスリム目標	川み帯田	ごみ排出量の減量目標	tull.
(最大2つまで)	家庭から	家庭から出る生ごみ量の減量目標	
対応するモニター指標	家庭から	家庭から出る食品ロス量	
対応施策:大	施策1	2Rを推進するためのしくみづくり	
施策:中		1-1 ごみ発生・排出抑制のための行動の実践	
施策:小	(3)	市民・事業者・関係団体との協働によるごみ発生・排出抑制の推進	
他の施策(番号のみ)	1-1-(1),	1-1-(1), $1-2-(1)$, (2) $1-3-(1)$, (2) $2-1-(1)$, (2) $4-3-(1)$	

【新スリム計画との関わり】

事業の						今後の調	業田福				【懇話			意 記		
【各年度における具体的な取組内容とその実績】 数値で示せるものは数値も記載すること	子ども向け環境教育出張講座を4回実施し、106人の参加。スリムネットフォーラムを実施し、	人の参加。簡易包装の取り組みを実施している商品を市役所ロビー展示で紹介。動」をホームページで周知。	②資源回収ポックスは助成実績なし。 ③古着回収量18.1t。子ども服等の寄付を受ける「福服ギフト」をホームページで周知。	④マイバッグ等持参率:86%、レジ袋削減量(枚数):113,126,118枚	①子ども向け環境教育出張講座を5回実施し、183人の参加。スリムネットフォーラムを実施し、	4人の参加。簡易包装の取り組みを実施している商品を市役所ロビー展示で紹介。「制服リユース 活動」をホームページで周知。	②資源回収ポックスは助成実績なし。 ③古着回収量80.3 t 。子ども服等の寄付を受ける「福服ギフト」をホームページで周知。	④マイバッグ等特参率:85%、レジ袋削減量(枚数):112,196,739枚	①子ども向け環境教育出張講座を10回実施し、300人の参加。スリムネットフォーラムを実施し、	4/人の参加。簡易包装の取り組みを実施している商品を市役所ロビー展示で紹介。「制服リユース」活動」をホームページで周知。衣類のリペアイベントを実施。	②資源回収ポックスは助成実績なし。 ③古着回収量83.4 t 。子ども服等の寄付を受ける「福服ギフト」をホームページで周知。	④マイバッグ等持参率:84%、レジ袋削減量(枚数):106,120,390枚	子ども向け環境教育出張講座を7回実施し、179人の参加。スリムネットフォーラムを実施し、	人の参加。簡易包装の取り組みを実施している商品を市役所ロビー展示で紹介。動」をホームページで周知。	②資源回収ポックスは助成実績なし。 ③古着回収量86.6 t 。子ども服等の寄付を受ける「福服ギフト」をホームページで周知。	マイパック等持参率:85%、レジ铵削減量
度における具体的な		事業費	27, 194 千円	(3,600) 千円		事業費	28,316 千円	(3,600) 千円		事業費	15,886 千円	(3,600) 千円		事業費	16,406 千円	(3, 600) 千円
[各年	<u>გ</u>		₩	玉	Д 4		₩	长	R D		₩	Æ	9		4+1	区

※事業費 上段:小事業全体 下段:実際の事業費 小事業内に関係のない予算がある場合、違う数値となる

・ごみ減量実践活動ネットワーク:市民、事業者と協力し、スリムネットフォーラムや口 ビー展の実施などを行い、多くの市民の参加があった。 ・古着回収:地区リサイクルセンター・清掃事務所等のほか、札幌クリーニング協同組合 の協力により、市内に多くの拠点を設置していたが、コロナの影響で令和2年5月からクリーニング指での回収は停止。 ・レンジ組減、協定を締結しているスーパーマーケットのマイバッグ等持参率にいて、Rd 計調査報告書」P93)と比べても高い水準を維持している。 ・指標1は、R01533、90%、Rd1635、Rd1545、Rd15436、Rd1545、Rd15436、Rd1545。 ・指標1は、Rd15436、Ad1545、Rd1544、80、Rd1544、80、Rd1544、Rd1545(Rd1545)の、Rd1543(Rd1545)の、Rd1543(Rd1545)の、Rd1543(Rd1545)の、Rd1543(Rd1545)の、Rd1543(Rd1545)の、Rd1543(Rd1545)の、Rd1543(Rd1545)の、Rd1543(Rd1545)の、Rd1543(Rd1545)の、Rd1543(Rd1545)の、Rd1543(Rd1545)の、Rd1543(Rd1545)の、Rd1543(Rd1545)の、Rd1544(Rd1545)、本事業だけの目標ではたいが、計画の基準在度であるH28の 95,756トンからRGで85。641トンと減少傾向にあり、本事業の効果は出ていると考える。 ※指標1は「指標達成度調査業務(事業の効果に関する市民意識調査)報告書」より ・ごみ減量実践活動ネットワーク:団体設立当初(HI7設立)のごみ減量施策はリサイクル(再生利用)中心であったが、現在はより環境負荷の少ないリデュース(発生抑制)、リュース(再使用)へシフトし、さら15206 sの視点も求められていることから、現状にもった新たな取り組みを進める必要がある。 ・古着回収:コロナ前までは市内多くの拠点で回収していたが、コロナの影響で令和2年5月からカラリー・コーン方信での回収が停止し、回収可能な拠点が減少。コーナの影響で令和2年5月からカリーニン方信での回収が停止し、回収可能な拠点が減少。 ・レジ袋削減については、協定を締結しているスーパーマーケットの持参率は高い水準を維持しており、協定の効果が出ている。 報持しており、協定の効果が出ている。更なるごみの減量を進めるため、今後はその他の取組についても、事業者・団体と連携していくことが必要と考える。 ・リサイクルに取り組んでいば高い水準を維持しているこ業がごみの排出量や生ごみの 度寄与しているとあると い団体・ も連携し とも に う い い ュースやリユースにつ(ごみ減量実践活動ネットワーク:令和4年に新設した、ごみ減量活動に取り組む信事業者を対象としている「さっぽろスリムネット3Rパートナー」の登録団体ともながら、積極的に新た式動に取り組みでいる。
 古着回収。カリーニング店での回収再開の可容について適宜状況を確認するといる。
 正本所域体で周知することを検討する。
 て、未用媒体で周知することを検討する。
 しン袋以外の使い緒てブラスチック製品や食品ロスなどのリデュースやリュースでも、事業者・団体と連携をしながら取り組んでいく。 50%未満 (数値な 定性的評価 50%以上 に「みの減量・5世帯の割合はたから、本事業就量に一定程度 75%以上 生ると減 0 達成 0 (数値あり 1 定量的評価 達成状況 ※R3~R6を通し 事業の実施結果 (目的・目標の達成 状況など))事業方針 国への対応や事 買の設置) スリム目標への貢献 度 評価・課題 い評価】

ごみ減量推進費(子どものおもちゃのリュース) ※旧2R推	R推進費		※K3~K6を通して 定量的評価(数値あり)	NG.9 定性的評価(数値なし)
ごみの減量を進める上で特に重要なリデュースとリュースの推 ・子どものおもちゃのリュース促進	スの推進を行う。	スリム目標への貢献	H30年度は255_34 kgおもちゃを回収し、リュースプラザにおけるイベント提供や中島	リュースの啓発について、数値では示せないが、審棄ごみ書の削減に一定の効果が
2Rに係る普及啓発事業を行い、市民のごみ減量行動促進を図る。	v _o	(本) (大) (大)	公園でのフリーマーケットなどで提供することで、ごみの減量に貢献した。	あったと考えている。
家庭から出る廃棄ごみ量の減量	目標 1人一日あたり 340g以下			
	目標		達成状況	75%以上 ▲:50%以上 ×:50%未満 一:他
循環型社会推進課 関係課 一				
		:		
ごみ排出量の減量目標	12 Spring	事業の実施結果 (目的・目標の達成 状況など)	H30年度にモデル事業として、市立幼稚園9園、市立保育園3園、保健センター1カ所、児童会館8館、リュースプラザの合計22カ所で、1か月間おもちゃ(ぬいぐるみ、知育玩具、楽器、ミニカー、「Vゲームなど)の無料回収を実施。計252.34 kg回収し、リ	園、市立保育園3園、保健センター1カ所、 5所で、1か月間おもちゃ(ぬいぐるみ、知 9無料回収を実施。計555.34 kg回収し、リ
1	3		ユース ブラザにおけるイベント提供や中島公	3園でのフリーマーケットなどで提供した。
施策1 2Rを推進するためのしくみづくり				
1-3 リユース機会の提供				
(1) リュースの促進に向けた取組				
1-1(1), (3) 4-3-(1)			おもちゃの無料回収は、リユース促進の点かが、恒常的な事業としていくには次のような	いら、啓発効果は一定程度あったと思われる 3課題がある。
な取組内容とその実績】 数値で示せるものは数値も記載するこ	7.	事業の評価・課題	・H30年度実施時事故の発生は無かったが、7 め、電池からの発火の危険等の安全面の問題 同になせなった。ボッカーシ部等を到過の	ポックス投函による回収方法を採用したた 夏があり、品質管理の点から検品可能な対面 B軒をよなった復ま - ヒロギー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
(令和2年で事業終了)			国ながみのうなのである。 ホンノく政員で政団の文体もの間ともでもに16発しい。 ちた、 自当での検品は困難。 ・啓発を推し進めリュース品の量を確保・維持していくには、回収・提供ともに全市的に事業展開する必要があるが、現状の直営方式ではマンパワー的に困難。	/女/ずら) 別ンなでなっていませい。 そこ、 自様していくには、 回火・提供ともに全市的5式ではマンパワー的に困難。
(令和2年で事業終了)		今後の事業方針 (課題への対応や事業目 標の設置)	令和2 年で事業終了。	
(令和2年で事業終了)		【懇話会の意見等】	懇話会で意見があった場合のみ記載する	
(令和2年で事業終了)		息兄· 佐条寺		
	イン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			

※事業費 上段:小事業全体 下段:実際の事業費 小事業内に関係のない予算がある場合、違う数値となる

- 出

₩

事業費

9 2

-∓ -

【各年度における具体的な取組内容とその実績】

十田

₩

事業費

图

-H H

₩

事業費

- 中田

- 円田 H

ı

巳

事業費

対応するモニター指標

対応施策・大

【新スリム計画との関わり】

対応するスリム目標

(最大2つまで)

施策:小

施策:中

他の施策(番号のみ)

[事業の概要]

事業名

指標 1 指標2

事業の指 標 所管課

事業の目的・目標

事業内容 (取組内容)

【事業の概要】					【自己評価】
事業名	清掃計画費 (要望活動)				
事業内容 (取組内容)	全国都市清掃会議、大都市清掃事業 装プラスチック、排出禁止物に関する	協議会を通じて、 る事業等に関して	循環型社会形成推進交付金、 、国への要望を行っている。	金や容器包る。	
事業の目的・目標	拡大生産者責任の原則に基づき、市B することや、事業者責任の強化を図る	町村と事業者の費用負担及び役割分担について明確に ることを目的としている。	设割分担につ	いて明確に	スリム目標への度
事業の指 指標1	1		目標	1	
標 指標2			目標	ı	
所管課	循環型社会推進課	関係課一			

ム目標への貢献

No.10

定性的評価(数値なし)

定量的評価(数値あり)

※R3~R6を通して

- 1

〇:75%以上 ▲:50%以上 ×:50%未満

(◎:達成

I

達成状況

・要望は実現していない。

事業の実施結果 (目的・目標の達成 状況など)

【新スリム計画との関わり】	7.1	
対応するスリム目標	ı	12 Sept.
(最大2つまで)		
対応するモニター指標	1	3
対応施策:大	施策1	2Rを推進するためのしくみづくり
施策:中	1 – 4	国や製造・販売業界への働きかけ
施策:小	(1)	拡大生産者責任(EPR)の徹底
他の施策(番号のみ)	1-4-(2)	

・成果が出ていない状況だが、国や事業者等が一体となり制度設計するものであるため、簡単に成果がでないのはやむを得ないと考える。・引き続き継続して要望を行っていくことが必要である。

下段:実際の事業費 小事業内に関係のない予算がある場合、違う数値となる ※事業費 上段:小事業全体

は話会の意見等】 懇話会で意見があった場合のみ記載する

他都市と協力しながら、継続して要望を行っていく。

51

【事業の概要】					【自己評価】 ※R3~	※R3~R6を通して			No.11
事業名	普及啓発費(環境広場出展)					定量的評価	i (数値あり)	定性的評価(数値なし)	
事業内容 (取組内容)	環境広場さっぽろなどのイベントに出展し、 る普及啓発を行う。	:出展し、家庭系ごみの減量・リサイ		クルの推進に関す	スリム目標への貢献			本事業の普及啓発を通して、イベント分者の行動変容により、ごみ排出量や家庭	米田齢で
事業の目的・目標	ごみ減量・リサイクルに対する市民意識の高揚を図り、 庭から出るごみ量を減量する。	:意識の高揚を図り、市民の	市民のごみ減量行動	行動を促進し、家	極		\	ら出る廃棄ごみ量の減量に一定の効果が あったと考えている。	*S
事業の指 指標1	ごみ減量啓発イベント来場者数		日標	2,000人		\			
標 指標2	ごみ減量啓発イベント実施回数		日標	<u></u>		達成状況	(◎:達成 (〇:75%以上 ▲:50%以上 ×:50%未満 一:他	
所管課	循環型社会推進課	関係課 環境政策課							
						年1回開催される環境広場に を通して普及啓発を行った。	覧広場においてブース 行った。	開催される環境広場においてブースを出展し、パネル展示やクイズ、啓発品の配布 して普及啓発を行った。	4
【新スリム計画との関わり】	ر <u>۱</u> ۷)				· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	来場者数に	数については、R2・R3年度においては	ては、新型コロナウイルス感染症の影響によ	2
対応するスリム目標	ごみ排出量の減量目標			12 SASAB	事業の美施結果(目的・目標の達成)	イベントが サしヤ RA	ル開催となったことだ E ※ U の 全 場 閏 年 ア だ	パーチャル開催となったことが主な要因となり、著しく目標を下回ってし年度は3年35リの会場間催とかり、 퍰倍広場会体の来場者数が導かすろなか	·Æ
(最大2つまで)	家庭から出る廃棄ごみ量の減量目標	Sugar Sugar		8	状況など)		参加者数は新型コロー	ナウイルス感染症拡大前と同水準となった。ナウイルへの発症が大前と同水準となった。	. 32.
対応するモニター指標	-					平度は 1g/札幌 気候 規模を拡大しての開	モ・コイルキー・塩児催となったことにいた。	4 JET 10/礼職 対候・エイルキー・境境入民芸台」の記念イベントとして、通常よりも規模を拡大しての開催となったことから、大きく目標を上回ることができた。R6年度に	₽ L
对 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5	施策4 市民に対する支援と普及啓発	李 発				ついても、規模を拡 輝値を圧圧達むした	大して開催したR5年月	隻と比較すると参加者数は減少したものの、	
4 4 4	は 日) 多名 当年 7 ディン 二張 リナ 4 子 三 「	14 日 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1				1.) X.1-X.5.6. J.1 K.	0		_

所管課	循環型社	循環型社会推進課	関係課	環境政策課	
【新スリム計画との関わり	1 1			+ .	H + + + + + + + + + + + + + + + + + + +
対応するスリム目標	田緋をご	ごみ排出量の減量目標		T2 of the state of	事業の実施結果(目的・目標の達成)
(最大2つまで)	家庭から	家庭から出る廃棄ごみ量の減量目標		2	況など)
対応するモニター指標	-				
対応施策:大	施策4	市民に対する支援と普及啓発	発		
施策:中	4 – 3	具体的な行動につなげる普及啓発の実施	及啓発の	実施	
施策:小	(4)	イベントにおけるごみ減量・リサイクルの推進	· 1) #1	クルの推進	
他の施策(番号のみ)	1-1-(3)				

日本度における具体的な取組内容とその実績 数値で示せるものは数値も記載すること				
事業費 環境広場さっぽろ (パーチャルツアー) にてパネル・動画の展示やごみ減量にかかるクイスを実施 (0) 千円 イベント実施回数1回、参加者数499人(重複を含む2ブース分のアクセス数) (67) 千円 イベント実施回数1回、参加者数1,707人 (67) 千円 環境広場はつかいどうにてパネル等の展示やごみ減量にかかるクイズを実施 (47) 千円 オベント実施回数1回、参加者数1,997人 (47) 千円 オペント実施回数1回、参加者数1,997人		;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;		
事業費 残境広場さっぽろ (バーチャルツアー) にてパネル・助画の展示やごみ減量にかかるクイ スを実施 イベント実施回数1回、参加者数499人 (重複を含む2ブース分のアクセス数) 4, 221 千円 (67) 千円 (47) 千円 (47) 千円 環境広場さっぽろにてパネル等の展示やごみ減量にかかるクイズを実施 イベント実施回数1回、参加者数1,707人 (47) 千円 6, 641 千円 (47) 千円 (47) 千円 環境広場さっぽろにてパネル等の展示やごみ減量にかかるクイズ・ゲームを実施 イベント実施回数1回、参加者数2,487人 イベント実施回数1回、参加者数1,997人	一	r年度における具体的な		事業の
事業費 環境広場さっぽろ (バーチャルツアー) にてパネル・動画の展示やごみ減量にかかるクイ スを実施 イベント実施回数1回、参加者数499人 (重複を含む2ブース分のアクセス数) 4,221 千円 (67) 千円 (67) 千円 (47) 千円 (47) 千円 (47) 千円 (47) 千円 環境広場さっぽろにてパネル等の展示やごみ減量にかかるクイズを実施 イベント実施回数1回、参加者数2.487人 (47) 千円 (47) 千円 事業費 (47) 千円 (47) 千円 (47) 千円 環境広場さっぽろにてパネル等の展示やごみ減量にかかるクイズを実施 イベント実施回数1回、参加者数2.487人 イベント実施回数1回、参加者数1.997人	<u>к</u>			
3. 292 千円 イペント実施回数1回、参加者数499人(重複を含む2ブース分のアクセス数) (0) 千円 環境広場さっぽろにてパネル等の展示やごみ減量にかかるクイズを実施 イベント実施回数1回、参加者数1,707人 (47) 千円 (47) 千円 環境広場をっぽろにてパネル等の展示やごみ減量にかかるクイズを実施 イベント実施回数1回、参加者数2,487人 (47) 千円 (47) 千円 環境広場をっぽろにてパネル等の展示やごみ減量にかかるクイズを実施 イベント実施回数1回、参加者数1,997人 (47) 千円 イベント実施回数1回、参加者数1,997人		事業費	環境広場さっぽろ(バーチャルツアー)にてパネル・動画の展示やごみ減量にかかるクイ ディコな	
(67) 千円 環境広場さっぽろにてパネル等の展示やごみ減量にかかるクイズを実施 イベント実施回数1回、参加者数1.707人 (67) 千円 環境広場ほっかいどうにてパネル等の展示やごみ減量にかかるクイズ・ゲームを実施 (47) 千円 (47) 千円 環境広場さっぽろにてパネル等の展示やごみ減量にかかるクイズを実施 イベント実施回数1回、参加者数1.997人 (47) 千円 イベント実施回数1回、参加者数1.997人 (47) 千円 イベント実施回数1回、参加者数1.997人	₹Ħ	3, 292	ヘ℃失応 イベント実施回数1回、参加者数499人(重複を含む2ブース分のアクセス数)	
事業費 環境広場さっぽろにてパネル等の展示やごみ減量にかかるクイズを実施 (67) 千円 (67) 千円 (67) 千円 環境広場ほっかいどうにてパネル等の展示やごみ減量にかかるクイズ・ゲームを実施 6,641 千円 イベント実施回数1回、参加者数2,487人 (47) 千円 環境広場さっぽろにてパネル等の展示やごみ減量にかかるクイズを実施 6,410 千円 イベント実施回数1回、参加者数1,997人 (47) 千円 イベント実施回数1回、参加者数1,997人	±.	(0)		
事業費 環境広場さっぽろにてパネル等の展示やごみ減量にかかるクイズを実施 (67) 千円 (47) 千円 (47) 千円 (47) 千円 (47) 千円 環境広場さっぽろにてパネル等の展示やごみ減量にかかるクイズ・ゲームを実施 事業費 環境広場さっぽろにてパネル等の展示やごみ減量にかかるクイズを実施 (47) 千円 イベント実施回数1回、参加者数1,997人 (47) 千円 イベント実施回数1回、参加者数1,997人				
4, 221 千円 イベント実施回数1回、参加者数1,707人 (67) 千円 環境広場ほっかいどうにてパネル等の展示やごみ減量にかかるクイズ・ゲームを実施 6, 641 千円 イベント実施回数1回、参加者数2,487人 事業費 環境広場さっぽろにてパネル等の展示やごみ減量にかかるクイズを実施 6,410 千円 イベント実施回数1回、参加者数1,997人 (47) 千円 イベント実施回数1回、参加者数1,997人		事業費	環境広場さっぽろにてパネル等の展示やごみ減量にかかるクイズを実施	今後の
事業費 環境広場ほっかいどうにてパネル等の展示やごみ減量にかかるクイズ・ゲームを実施 6.641 千円 イベント実施回数1回、参加者数2.487人 (47) 千円 環境広場さっぽろにてパネル等の展示やごみ減量にかかるクイズを実施 6,410 千円 イベント実施回数1回、参加者数1,997人 (47) 千円 イベント実施回数1回、参加者数1,997人	र्भ	4, 221	イベント実施回数1回、参加者数1,707人	無いいまでは、無いのは、
事業費 環境広場ほっかいどうにてパネル等の展示やごみ減量にかかるクイズ・ゲームを実施 6,641 千円 イベント実施回数1回、参加者数2,487人 (47) 千円 環境広場さっぽろにてパネル等の展示やごみ減量にかかるクイズを実施 6,410 千円 イベント実施回数1回、参加者数1,997人 (47) 千円 イベント実施回数1回、参加者数1,997人	±.	(67)		
事業費 環境広場ほっかいどうにてパネル等の展示やごみ減量にかかるクイズ・ゲームを実施 6,641 千円 イベント実施回数1回、参加者数2.487人 (47) 千円 環境広場さっぽろにてパネル等の展示やごみ減量にかかるクイズを実施 6,410 千円 イベント実施回数1回、参加者数1.997人 (47) 千円 イベント実施回数1回、参加者数1.997人				
6,641 千円 イベント実施回数1回、参加者数2,487人 (47) 千円 環境広場さっぽろにてパネル等の展示やごみ減量にかかるクイズを実施 6,410 千円 イベント実施回数1回、参加者数1,997人 (47) 千円		事業費	環境広場ほっかいどうにてパネル等の展示やごみ減量にかかるクイズ・ゲームを実施	
(47) 千円 事業費 環境広場さっぽろにてパネル等の展示やごみ減量にかかるクイズを実施 6,410 千円 (47) 千円	₹म	6, 641	イベント実施回数1回、参加者数2,487人	【懇話
事業費 環境広場さっぽろにてパネル等の展示やごみ減量にかかるクイズを実施 6,410 千円 イベント実施回数1回、参加者数1,997人 (47) 千円	±.	(47)		
事業費環境広場さっぽろにてパネル等の展示やごみ減量にかかるクイズを実施6,410 千円イベント実施回数1回、参加者数1,997人(47) 千円	R 6			
6,410 丰円 (47) 丰円		事業費	環境広場さっぽろにてパネル等の展示やごみ減量にかかるクイズを実施	意 見
(47)	₹₩	6, 410	イベント実施回数1回、参加者数1,997人	
	也	(47)		

※事業費 上段:小事業全体 下段:実際の事業費 小事業内に関係のない予算がある場合、違う数値となる

子ども向けクイズなど、来場者の年齢層を意識したブース内容とすることにより、多くの参加者を集め、効果的な普及啓発活動を行うことができたものと考えられる。 市民のごみ減量への意識が高まり、こみ減量の取組も多岐に渡ることから、それぞれに 応じた適切な情報提供について検討が必要である。	ごみの減量・資源化を推進し、市民が主体的に取り組めるよう、適宜、市民のニーズに 応じて内容・広報手法を見直しながら、継続して普及・啓発を行っていく。	
事業の評価・課題	今後の事業方針 (課題への対応や事業目 標の設置)	

[事業の概要]	要】					【自己評価】 ※R3~	※R3~R6を通して	No.12
事業名		普及啓発費(家庭系廃食油資源化促進事業)	進事業)				定量的評価(数値あり)	定性的評価(数値なし)
事業内容 (取組内容)	æ	市有施設への回収ボックスの設置や市民への広報により廃食油資源化事 を支援する。	市民への広報により廃食油資源		業者の廃食油回収	スリム目標への貢献	廃食油回収量の増加により、ごみ排出量及 び廃棄ごみ量が減少している。 ・ H28 209 (83.5 L (188.7 t)	
事業の目的]•目標	ごみの減量とバイオディーゼル燃料の普及による資源の有効活用の促進	の普及による資源の有効活用の	の促進		· M	. K3 241, 162. 5 L (217, 0 t) . R4 192, 181. 5 L (172. 9 t) . R5 192, 879, 0 L (173. 6 t) . R6 208, 840, 0 I (188. 0 t)	
事業の指	指標 1	廃食油回収量		日標	ı		, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	
下	指標2	廃食油回収拠点数		目標	ı		達成状況	以上 ▲:50%以上 ×:50%未逝 —: 街
所管課		循環型社会推進課	関係課一				回収割占数は増加しており 主要なる一パーや市省1	名別に回ば がら かいかい といる といる はん
【新スリム	[新スリム計画との関わり]	[r				1	保されていると言える。 まされていると言える。 また、市民の異なる協力を促すため、各種広報媒体(こみ分けガイド、コタ分別アリリ、市公式 ホートページ)で作業する信か、古名本語におけるパイチディーは、過ぎののアカリリ、市公式	JAYOLYAMIL やっともののでは、これのでは、これのカントガイド、こみ分別アプリ、市公式、スイナディーボー繋並の年田井沿を市のギャー
対応するスリム目標	リム目標	廃棄ごみ量の減量目標			12 overe	事業の実施結果(目的・目標の達成	ようし、カラダンの1957、15.14が21.85にあって、カスーンにお供した。 マン・アイ・アン アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・ア	、1.2.7.4 E.M. Wind Hart M. B. E. B.
(最大2つまで)	#(c)	家庭から出る廃棄ごみ量の減量目標			8	状況など)	イン・ショー アンボインのおい しょうしゅ しんさん 本本学 ギイン しての有 田柱 を押値です たっぱん かい はい サーギョン・エッター アン・ファン・ファン・ファン・ファン・ファン・ファン・ファン・ファン・ファン・ファ	表記の発売のでは、 できます アローン・ でき
対応するモニタ	ニター指標	リサイクルト			3		より、R.D.らは現場のでは、M.D.らは現場の所官施設(山本が使用と検証を進めている(K4、K5についてはボイラ・サルデルを	で共物)のポイフ一巡科としてPIO単油の勘験 故障のため未実施、RGはポイラーが復旧した
対応施策:大	К	施策2 分別・リサイクルの取組促進	5進				たの共開)。 なお、民間事業者の回収量は、事業者から定期的な摯	報告を受けている。 (2-2-(5))
施策		2-2 資源回収の促進に向けた取組	7. 经租				一部回収拠点にて、より大きなボトルを回収できるア	ドックスに交換した。
居	施策:小	(2) 回収拠点等の利便性の向上						
他の施策((番号のみ)	2-2-(5)						較し、83までは増加値向にあったが、84以
【各年度に	おける具体的な	【各年度における具体的な取組内容とその実績】 数値で示せる	数値で示せるものは数値も記載すること			事業の評価・課題	降、食用がる高騰による買い控え等により、基準年程度の水準となっている。こみ排出量及び廃棄 ごみ事の減量に一定の効果を上げているものの、制御市の家庭から出る再生利用可能な食用油は、 もなっないにのこ: 卵体し状まされて、これで、一声なる同い事構造した出土が紹立の企場がます。	まるで、できている。この様は、この様は、このでは、このでは、この様は、このでは、この様は、このでは、この様は、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、こので
RЗ							手やでむ 30カト年後と 年間でれることがら、 女 4のまた、 バイイディーゼル燃料の活用については、 一種だった。 ご言語に	回収重当加に同じた収配のジャルンのの。 役にバイオディーゼル燃料の使用による機器故
	#Pm*	·廃食油回収量 241,162.5L(217.0 t) 医金油回帕加卡粉 2604系	0 t)				頃に対しては機器メーカーの採証対象外となるしとが	いら、活用拡入の阻害要因となっている。
₩ €	3, 292 丰円 (0) 丰田	. 解及油田状拠点数 3007.57						
R 4							更なる回収促進に向けた市民への周知・啓発を実施す	することで、「燃やせるごみに出す」人の割合
	#1000	· 廃食油回収量 192,181.5L(172.9t) - 医各油回加加卡粉 2074 記	9 t)			今後の事業方針(課題への対応や事業目	を減らし、廃棄こみの減量を図っていく。また、イオディーゼル燃料の沿用については、バン戦争にないない。また、エモのは、エモのは、エモーンは、数値をより、ことに、ままでは、対象により、ことに、	、バイナディーゼル燃料の試験使用による機器へのした。 オロのは中華が大に、 事業をご出口に合け
₩ E	(200) 丰円	. 法及和国状院点数 201.2万				練の設置)	ゲアシスを指していまった。 コース・アング・コース・コング・エルシア 上部 シアング・ファング・ファング・ファング・ファング・ファング・ファング・ファング アン・ファン・ファン・ファン・ファン・ファン・ファン・ファン・ファン・ファン・ファ	II AOO が出るいるにつ、手不由に行がに合い を換については、今後も適宜実施予定。
R S								
	#Am/	・廃食油回収量 192,879.0L(173.6 t) ・ 核令油回IP調占数 AM6.4 時	6 t)					
₩	3, 972 丰円					【懇話会の意見等】	懇話会で意見があった場合のみ記載する	

※事業費 上段:小事業全体 下段:実際の事業費 小事業内に関係のない予算がある場合、違う数値となる

・廃食油回収量 208,840.0L(188.0t) ・廃食油回収拠点数 403カ所

6,765 千円 (200) 千円

₩

事業費

H 3,972 丰円

(500)

图 м 8 意見・提案等

【事業の概要】					【自己評価】 ※R3~R6を通して	-R6を通して		
事業名	普及啓発費(古紙回収拠点関連)					定量的評価	定量的評価(数値あり)	
事業内容 (取組内容)	古紙回収ボックスやエコボックス、「 (新聞・雑誌・ダンボール)を回収	:コボックス、古紙回収協力店等の古紙回収拠点において、 (ール)を回収し再資源化する。	点において	1、主要古紙	スリム目標への貢献	古紙回収拠点に排出された古紙の総量が、 ごみ排出量の減量となっている。 古紙回収拠点における回収実績 H28 1,182,163kg、H29 1,065,337kg、	された古紙の総 なっている。 る回収実績 129 1,065,337kg、	直が、
事業の目的・目標	集団資源回収が行われていない地域 ために、無料で古紙を持ち込むこと	ていない地域の住民の古紙排出機会の創出や、市民の利便性向上の 持ち込むことが出来る"古紙回収拠点"の整備を進めている。	、市民の利 備を進めて	J便性向上の こいる。	椡	H30 1, 038, 064kg、R01 979, 748k R02 967, 245kg、R03 921, 954kg、 R04 973, 707kg、R05 885, 889kg	(01 979, 748kg. 1 921, 954kg. 1 885, 889kg	
事業の指 指標1	古紙回収拠点数		日標	I		KU6 842, 805Kg		
標 指標2	古紙回収量		目標	ı		達成状況	○ 達成	成 0:7
所管課	循環型社会推進課	関係課						

定性的評価(数値なし)

【新スリム計画との関わり】	7	
対応するスリム目標	出帯をご	プみ排出量の減量目標 12 344411
(最大2つまで)	家庭からは	家庭から出る廃棄ごみ量の減量目標
対応するモニター指標	燃やせる。	燃やせるごみに含まれる容器包装プラスチックと紙の量
対応施策:大	施策2	分別・リサイクルの取組促進
施策:中	2 – 1	2-1 分別・排出ルールの周知・徹底
施策:小	(2)	紙類と容器包装プラスチックの適正排出の促進
他の施策(番号のみ)	2-2-(2), 2-2-(5)	2-2-(5)

古紙回収拠点は横ばいであるが、相当数設置されており、市民の利便性は十分確保されていると言える。 ていると言える。 古紙回収量は減少傾向だが、新聞の購読数減等を要因とした古紙の全体量が減少していることが影響していると考えられる。 なお、民間の回収協力店における回収量の把握には至っていない。

事業の実施結果 (目的・目標の達成 状況など)

-奇

×:50%未消

T的%05:▼ T的%的下

	## 						4	<u>、</u> 解の				新兴			ӛ		
	各年度における具体的な取組内容とその実績】 数値で示せるものは数値も記載すること	回収量・拠点数	• 488, 930kg 19箇	ユコトンノイ・・・・・・27、12.Ng 30画所 地区リサイクルセンター・・175,897kg 4箇所	••••495箇	回収量・拠点数	古紙 回収 ボックス・・・・・495,530kg 19箇 エコニュニケス	ユコドシン人・・・・・・293、810Kg 38国所地区リナイクルセンター・・187、367kg 4箇所	•••••497箇	回収量· 柳点数	古紙 回板ボックス・・・・448,390kg 19箇ドコ ボックス・・・・448,390kg 19箇	ユコトンノイ・・・・・・23,300kg 33回21 地区リナイクルセンター・・199,590kg 4箇形	••••494箇	回収量· 柳点数	• 426, 920kg 19箇	ユコトンノイ・・・・・・243,410kg 33回門 地区リサイクルセンター・・172,475kg 4箇所	••••494圈
	F度における具体的:		事業費	3, 292 丰円	(138) 丰田		事業費	4, 221 丰円	田士 (0)		事業費	6,641 丰円	(548) 丰円		事業費	6, 765 千円	(234) 丰円
	[各4	83		₩	区	4 A		₩	E	R 5		₩	K	R 6		₩	K
5,	1																

※事業費 上段:小事業全体 下段:実際の事業費 小事業内に関係のない予算がある場合、違う数値となる

[事業の概要]					_【自己評価】 ※R3~R6を通して	-R6を通して	
事業名	集団資源回収奨励費(周知関係)					定量的評価(数値あり)	5 y)
事業内容 (取組内容)	集団資源回収がより利用しやすいよ	用しやすいように情報提供環境を整備する。			スリム目標への貢献	集団資源回収に出すことで、ごみステーションへの排出が減少するため、市のごみ お出量減につながる。 H28年54, H22t、H29年51,990t、	ごみステー :め、市のごみ t、
事業の目的・目標	「みステーションに排出されている。 みの減量・資源化を図る。	排出されている資源物を集団資源回収に排出するよう促し、更なるこ 図る。	ナるよう促	し、更なるご	囡	H30年48, 587七、R01年45, 390 R02年41, 255七、R03年39, 760 R04年37, 726七、R05年34, 419	
事業の指 指標1	回収量		目標	42, 109t		KU6年31, 510t	
標 指標2	支給団体数		目標	4,338団体		達成状況 ▲	(◎:達成 O:7
所管課	循環型社会推進課	関係課 業務課					

定性的評価(数値なし)

【新スリム計画との関わり】	7		H + + +
対応するスリム目標	田緋をご	ごみ排出量の減量目標	事業の美施結果 (目的・目標の達成
(最大2つまで)	家庭から	家庭から出る廃棄ごみ量の減量目標	状況など)
対応するモニター指標	우규슈率		
対応施策:大	施策2	分別・リサイクルの取組促進	
施策:中	2-2	資源回収の促進に向けた取組	
施策:小	(1)	集団資源回収の更なる促進	
他の施策(番号のみ)			

町内会への未加入者が多く、集団資源回収の情報が行き届きづらい共同住宅入居者や、市のごみ出しルールに不案内な市外転入者を主なターゲットとした啓発の実施や、ホームページやアブリの改修により、集団資源回収を利用する市民が情報を取得しやすい環境を整備した。

- 二

×:50%未潮

日 : 75%以上 ▲: 50%以上

	-年度における具体的な	各年度における具体的な取組内容とその実績 数値で示せるものは数値も記載すること	<u>₩</u>
Ω Ω			
	事業費	・清掃事務所による町内会と共同住宅入居者のコーディネートを実施	
₩	172,892 千円	(実施町内会数:12団体)	
Æ	田士 (0)		
A A			
	事業費	・清掃事務所による町内会と共同住宅入居者のコーディネートを実施	今後の調
₩	158, 589 千円	(実施町内会数:1団体)	、
七	10) 千円		
R R			
	事業費	・清掃事務所による町内会と共同住宅入居者のコーディネートを実施	
₩	173,674 千円	(実施町内会数:4団体)	【懇話
K	田士 (0)		
R 6			
	事業費	・清掃事務所による町内会と共同住宅入居者のコーディネートを実施	意.
₩	169, 258 千円	(実施町内会数:5団体)	
K	10) 千円		

※事業費 上段:小事業全体 下段:実際の事業費 小事業内に関係のない予算がある場合、違う数値となる

集団資源回収はごみ排出量の減少に直結するため、ごみ減量目標を達成するため重要な取れてある。 りまである。 グーゲットを絞った周知啓発や、情報を取得しやすい環境の整備は、集団資源回収の促進に向けては不可欠な取組である。 "令和5年度「ごみ減量・資源化に対する行動・意識等」に関する市民意識調査"によると、地域で回収が行われているが利用していない人(18.2%)や、そもそも回収が行われているが把握していない人(26.3%)がいるため、そういった人たちの利用を促していく必要がある。	利用していない市民、回収が行われているか把握していない市民が一定数いることから、引き続きターゲットを絞った周知啓発や、清掃事務所によるコーディネート事業を行い、集団資源回収の浸透を図っていく。
事業の評価・課題	今後の事業方針 (課題への対応や事 業目標の設置)

提案等

【事業の概要】		
事業名	リサイクルプラザ・リュースプラザ運営管理費	
事業内容 (取組内容)	リサイクルプラザ宮の沢、発寒工房・リユースプラザで、(備・保管・展示提供②教室・講座・イベント等による普及)地区リサイクルセンターで、新聞・雑誌や古着など、22品 拠点の運営を行う。	①リュース家具等の清掃・整 ・啓発を行う。 ・目の資源物等を持ち込める回収
事業の目的・目標	市民が廃棄物の減量及び資源の有効活用に関する知識と理解を深め、 とにより、家庭から出る廃棄ごみ量を減量する。	解を深め、自主的に活動するこ
事業の指 指標1	来館者数 (リサイクルプラザ・リュースプラザ)	目標 100,000人
標 指標2	リュース家具等の販売数、教室イベント等の参加者数	目標 3,700個、16,800人
所管課	循環型社会推進課 一 関係課 一	

所管課 循環型社会推進課 関係課 - (新スリム計画との関わり) 対応するスリム目標 ごみ排出量の減量目標 (最大2つまで) 家庭から出る廃棄ごみ量の減量目標 17.34 14.34	(構選型社会推進課 関係課 - りム計画との関わり】 こみ排出量の減量目標 るスリム目標 家庭から出る廃棄ごみ量の減量目標 るモニター指標 リサイクル率 策:大 施策4 市民に対する支援と普及啓発 施策:中 4-3 具体的な行動につなげる普及啓発の実施 施策:小 (3) 普及啓発施設等を活用した情報発信 策(番号のみ) 1-3-(1)、2-2-(2)、4-3-(4)		指標2	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	フェーム多共寺の殿元数、教主1 ペノド寺の参加有数	ノトキの参加有数	ドロ	Y000 '01 'Elloo' '0
12 3## 14 15 15 15 16 17 17 18 19 19 19 19 19 19 19	12 3## 14	所會		循環型社	会推進課	関係課一		
でみ排出量の減量目標 家庭から出る廃棄ごみ量の減量目標 リサイクル率 施策4 市民に対する支援と普及啓発 4 − 3 具体的な行動につなげる普及啓発の実施 (3) 普及啓発施設等を活用した情報発信 1−3−(1)、2−2−(2)、4−3−(4)	(3) 普及啓発施設等を活用した情報発信 (1)、2-2-(2)、4-3-(4) (2) (2) (3) (2) (4-3-(4)) (2) (4-3-(4)) (2) (4-3-(4)) (2) (4-3-(4)) (12-2-(2)、4-3-(4)) (13-(1)、2-2-(2)、4-3-(4) (13-(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(17				
家庭から出る廃棄ごみ量の減量目標 リサイクル率 施策4 市民に対する支援と普及啓発 4-3 具体的な行動につなげる普及啓発の実施 (3) 普及啓発施設等を活用した情報発信 1-3-(1)、2-2-(2)、4-3-(4)	家庭から出る廃棄ごみ量の減量目標 リサイクル率 施策4 市民に対する支援と普及啓発 4-3 具体的な行動につなげる普及啓発の実施 (3) 普及啓発施設等を活用した情報発信 1-3-(1)、2-2-(2)、4-3-(4)	衣	5するスリム目標	川み排田	量の減量目標		12 2(3)	14 NOBPER
1 サイクル率 施策4 市民に対する支援と普及啓発 4 - 3 具体的な行動につなげる普及啓発の実施 (3) 普及啓発施設等を活用した情報発信 1-3-(1)、2-2-(2)、4-3-(4)	リサイクル率 施策4 市民に対する支援と普及啓発 4-3 具体的な行動につなげる普及啓発の実施 (3) 普及啓発施設等を活用した情報発信 1-3-(1)、2-2-(2)、4-3-(4)	重)	夏大2つまで)	家庭から	出る廃棄ごみ量の減量目標		5	
施策4 中 4-3 : 小 (3) 号のみ) 1-3-(1)、	施策4 中 4-3 : 小 (3) 号のみ) 1-3-(1)、	衣	5するモニター指標	リサイク	ル率		5	
(3) (1),	(3)	衣	な施策:大	施策4	市民に対する支援と普及啓	%		
(3)	(3)		施策:中	4 – 3	具体的な行動につなげる普	R及啓発の実施 (■ 1		
			施策:小	(3)	普及啓発施設等を活用した	:情報発信		
		色の	の施策(番号のみ)	1-3-(1),	2-2-(2), 4-3-(4)			

品	年度における具体的な	各年度における具体的な取組内容とその実績】 数値で示せるものは数値も記載すること	無
<u>ო</u>		- リサイクルプラザ:来館者数14,347人、家具等の販売数437点、教室・講座等の参加者数4,392	
	事業費	人、情報紙発行部数36,100部 ・リュースプラザ:来館者数29,599人、家具等の販売数2,080点、数室・講座等の参加者数31人、イ	
₩	93,828 千円	パント参加者数917人 ・ お区 □ サイク ルナンター・回 μσ 書 79.9 +	
K	(93,828) 千円	・リューズ食器の貸し出し(リサイケルプラザ事業):1件	
В		・リサイクルプラザ:来館者数75,968人、家具等の販売数948点、教室・講座等の参加者数16,532	
	事業費	人、情報紙発行部数37,900部 ・リュースプラザ:来館者数38,921人、家具等の販売数2,915点、数室・講座等の参加者数268人、	∜ Γ.
₩	96,694 千円	イベント参加者数1,370人 ・ お欠 ニ ナイク ルナ ソ ター・ 回 10 番 1 0 95 +	が続いる。
Æ	(96,694) 千円	・リューズ食器の貸し出し(リサイクルプラザ事業):0件	
R 5		・リサイクルプラザ:来館者数74,716人、家具等の販売数853点、教室・講座等の参加者数18,405	
	事業費	人、情報紙発行部数39,700部 ・リュースプラザ:来館者数49,254人、家具等の販売数2,567点、教室・講座等の参加者数779人、	
₩	101,692 千円	人 ベント参占 本数 - 145人 ・ お欠 ニ ナイク ルケンケー・回17 mm 1 082 t	影
E	(101,692) 千円	・リューズ食器の貸し出し(リサイクルプラザ事業):4件	
R 6		・リサイクルプラザ:来館者数86, 828人、家具等の販売数822点、教室・講座等の参加者数20, 764	
	事業費	人、情報紙発行部数34,600部 ・リュースプラザ:来館者数51,685人、家具等の販売数1,950点、教室・講座等の参加者数520人、	ә
₩	100,705 千円	イベント参加者数2,325人 ・ 地区リナイクルセンター:回収量1,032 t	
Æ	(100,705) 午円	・リュース食器の貸し出し(リサイクルプラザ事業):5件	

	定量的評価(数値あり)	定性的評価(数値なし)
 スリム目標への貢献		本事業の普及啓発を通して、来館者やイベント等の参加者の行動変容により、ごみ排出量や家庭から出る廃棄ごみ量の減量に一定の効果があったと考えている。
 事業の実施結果 (目的・目標の達成 状況など)	建成状況 ○ (⑥:達成 ○)	79%以上 ★:50%以上 x:50%未満 -:他 新型コロナウイルス感染症拡大前は概ね目標を達 設の休館やイベントの中止などにより目標を下 ()の展示数が例年よりも少なかったこともあり、目 (の展示数が例年よりも少なかったこともあり、目 (が7円品の持ち込み・無償提供を行うリュース を提供した・ (増加傾向にある。R2・R3年度は感染症対策による、 、現在は通常通りの運営となっている。
 事業の評価・課題	リサイクルブラザ・リュースブラザにおいては、利用者アンケート? において7割以上の高評価を得ているが、ニーズに応じた普及啓発活 冒見直しているところ。 RG権ほは来館を提供を作るとう。 最近成量に効果があったものを考えられる。リカース、不再使用」、「 一方、深(リテュース・1発生・精性が削、リュース「再使用」、「 でも特に2R(リデュース・リコース)を推進するために、施設におじ 効な事業の検討が必要であり、また、若体層の来館促進に向けて、 し、広報手法や数塞イベント等の内容を検討する必要がある。 また、地区リサイクルセンターについて、市民意議調者、RB)では、 いて知らない市民が4割程度であり、認知度向上が課題である。	利用者アンケートを実施し、施設や接遇の満足度 こ応じた普及啓発活動となるよう、事業内容を適 信値を大きく上回っており、ごみ排出量や廃棄ごみ ・一ス「再使用」、リサイクル「再生利用」)の中 ために、施設における展示手法の見直しなど、句 ・館促進に向けて、子供向けの事業を積極的に実施 ・説の者がある。 に認力を、のは、地区リサイクルセンターにつ が課題である。
 今後の事業方針 (課題への対応や事業目 標の設置)	リサイクルプラザ・リュースプラザにおいて者のニーズに合わせた教室等を実施するほか 動画を活用するなど教室イベント等の実施すまた、地区リサイクルセンターにおいても、物の受け入れを行うとともに、正しい分別方	ラザにおいては、特に苦年層の来館促進に向けて、来館 実施するほか、SNSを活用するなど広報手法の見直しや、 ト等の実施方法の検討を行う。 においても、引き続き、認知度向上に努めながら、資源 正しい分別方法などの周知を図る。

懇話会で意見があった場合のみ記載する	・ ブラスチック製の収納ケースなどもリュース品に加えるなど、市が収集するリュース品に ついても市民ニーズに合わせる必要がある。	
【懇話会の意見等】	意見·提案等	

【事業の概要】						【自己評価】	
事業名	小型家電リサイクル事業						
事業内容 (取組内容)	市有施設6カ所にて対面回収を行う、 プにより回収した小型家電を、国の計 再資源化する。	を行う小型家電匠、国の認定を受い、	፤回収ポックス、及び破砕工站 セリナた再資源化事業者に引き逃	国的 存文	でのピックアッ し、有用金属を	スリム目標への	の貢献
事業の目的・目標	廃棄ごみの減量と有用金属の循環利	出				赵	
事業の指 指標1	小型家電回収量			日標	1. 0kg/人·年		
標 指標2				目標	1		
所管課	循環型社会推進課	関係課	施設管理課				

2

(数値なし)

定性的評価

(数値あり)

定量的評価

ク田と

て排出された廃棄ごみか を除く回収量が、ごみ排 廃棄ごみ量の減量となっ

然やせないごみとしてのピックアップ回収をのピックアップ回収を量及び家庭から出る廃いる。

「和イリム計画との関わり	7.7		田
対応するスリム目標	田井をご	ごみ排出量の減量目標	事業の実施結果 (目的・目標の達成
(最大2つまで)	家庭から	家庭から出る廃棄ごみ量の減量目標	状況など)
対応するモニター指標	リサイクル率		
対応施策:大	施策2	分別・リサイクルの取組促進	
施策:中	2-2	資源回収の促進に向けた取組	
施策:小	(3)	小型家電リサイクルの更なる推進	
他の施策(番号のみ)	2-2-(5)		

ム計画との関わり】

R6実績

Ø

回収量の

令和4年10月から対面で受渡しが可能な市有施設6カ所(地区リサイクルセンター、リイクルブラザ宮の沢、市役所本庁舎)に小型家電回収ポックスを集約したため、民間実者が実施する拠点回収や家電量版店での対面回収・商品配送時回収、宅配便による収を積極的に周知することで回収量の増加を図った。新たに令和7年3月からは北区役所及び墳加を図所に無人回収ボックスを設置し、回収量増加を図った。 増加を図った。 一方で、指標1(国の基本方針:R5までに一人一年当たりの約1kg)については、R6で70kgにとどまっており、目標達成のためには回収量増加が必要である。 で0.70kgにとどまっており、目標達成のためには回収量増加が必要である。 なお、民間事業者の回収量は、事業者から定期的な報告を受けている。(施策2 - (5))

シ間る サ 事回

割

ï

50%未避

50%以上 ∢

75%以上

0

達成

<u>@</u>

◀

達成状況

. R3

# 						4	が動				MILL			顺		
【各年度における具体的な取組内容とその実績】 数値で示せるものは数値も記載すること	※R3から小事業化	【 [・小全%毎回次ホックス 146.7 1 ・ピックアップ回収 8.1 t	・民間事業者による回収:1, 214.8t		【回収重】1,414.0 t (0.7kg/人・年) ・小型家電回収ボックス: 117.3 t ※10月から回収ボックス集約	・ピックアップ回収 : 14.0 t ・E問事業券/- トス同心 : 1.28.7 t	1 202 1 201 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		【回収量】1,246./t (0.63kg/人·年) ・小型家電回収ポックス: 61.8 t	•ピックアップ回収 : 12.1 t • 日間事業者 ニトス同じ:1 179.8 t	7. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1.		【回収量】1,319.0 t(0.70kg/人·年) ・小型家電回収ポックス: 52.0 t	・ピックアップ回収 : 10.1 t ・ 早間重業者に よる回収 : 1.256 0 t	
度における具体的		事業費	3,968 千円	(3,968) 千円		事業費	10,075 千円	(10,075) 千円		事業費	10,634 丰円	(10,634) 千円		事業費	12, 336 千円	(12,336) 丰円
[各年	ВЗ		₩	区	4		₩	ح	٦ 2		₩	区	8 B		₩	K
7																

小事業内に関係のない予算がある場合、違う数値となる 下段:実際の事業費 ※事業費 上段:小事業全体

懇話会で意見があった場合のみ記載す

等

懇話会の意見

提案等

民

あら

無様用=レノ井=充⊪井・抜に永			【	※R3~R6を通して も = か語 (** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** *	No.17
東電池のシャー 東用済みとなっ び筒型乾電池の リサイクルを実	規灣	1度計)の拠点 5正処理及び金		を重じむ () を	
家庭から出る廃棄ごみの減量と水銀含有製品の適正処理による環境負荷の	境負荷の低	鬞	(本文) (本文) (本文)	- K3 349 t(蛍1129 t、電:220 t) - K4 476 t(蛍:117 t、電:339 t) - K5 472 t(蛍:106 t、電:366 t) - D5 517 t、ປボ:110 t	
蛍光管回収量	日標	139 t		31/1(周:11/1/)	
乾電池回収量	日標	147 t		達成状況 〇 (◎:達成 〇:	75%以上 ▲:50%以上 ×:50%未満 一:他
循環型社会推進課 関係課 業務課					
				蛍光管は、LED照明の普及により回収量は減	(少傾向にあるものの100も超で推移してお
ごみ排出量の減量目標		12 SCRRE	事業の実施結果 (目的・目標の達成	り、また、乾電池については、適正処理促進回から週1回に排出機会を拡大したことで大!	り、また、乾電池については、適正処理促進のために令和3年10月から、これまでの4週1回から週1回に排出機会を拡大したことで大幅に回収量が増加している。
家庭から出る廃棄ごみ量の減量目標		8	状況など)	また、蛍光管回収協力店については、小規様少しているものの、新規開店したスーパーや	模電器店の閉店などにより本計画当初より減 やホームセンターは回収協力店となってお
リサイクル率		3		り、市民意識調査(R2)では、蛍光管を回収数タートから 一定の到価性は確保されている	拠点に出している人の割合は約6割に上っていると言う。
施策2 分別・リサイクルの取組促進				のこのどの、一年の不可とは年年のたらい。	るC百人 心。
2-2 資源回収の促進に向けた取組					
(2) 回収拠点等の利便性の向上				1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	1 1747 计数字间点图》:张井 数字系
				本計画基準年(H78)の回収量と比較して、 みの減量と水銀含有製品の適正処理・リサイ	蛍光管・乾電池の回収量は増加しており、ロイクルの促進が図られている。
な取組内容とその実績】 数値で示せるものは数値も記載すること			事業の評価・課題	特に乾電池については、令和3年10月に排出がとが、回収量の増加に対し大きな効果があっ、楽叫巻田や加亜巻田の増等が問語とたって「	機会を拡大し市民サービスの向上を図ったこ ったと言える。一方で、回収量の増加による パス
· 蛍光管回収量 129 t · 乾電池回収量 220 t				また、電池の種類によって排出方法が異ないます。 また、電池の種類によって排出方法が異ない 電式電池がごみや資源物に混入すると、収算 災事故の原因となることから、適切な排出者	たが、 おり、 でないでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、
· 蛍光管回収量 117 t · 乾電池回収量 359 t			今後の事業方針 (課題への対応や事業目 標の設置)	現在処理されている乾電池からは一定量の米銀が回収されているため、引き続き適 理の促進を図るが、水銀含有の砂電電化は今後減少すると見込まれることから、状況 化があれば乾電池の理のあり方について検討していく。 また、特に容器包装プラスチックへのリチウムイオン電池混入による発煙・発火事: 増加していることから、市公式ホームページ、ツイッター、INEでの啓殺を実施す ともに、不動産業者と連携した市内転入者へのチラシ配布や、より安全なリチウム シ電池の同収方法について検討していく。	水銀が回収されているため、引き続き適正処 減少すると見込まれることから、状況の変 対していく。 ウムイオン電池混入による発煙・発火事故が ジ、ツイッター、LINEでの啓発を実施すると へのチラシ配布や、より安全なリチウムイオ
· 蛍光管回収量 106 t · 乾電池同10 = 366 t					
# ! !			【懇話会の意見等】	懇話会で意見があった場合のみ記載する	
· 蛍光管回収量 117 t · 乾電池回収量 400 t			意見 ・提案等		
		!			

[事業の概要]

事業名

指標2 指標 1

所管課

事業の指

輔

事業の目的・目標

事業内容 (取組内容)

※事業費 上段:小事業全体 下段:実際の事業費 小事業内に関係のない予算がある場合、違う数値となる

十田

(69, 897)

K

69,897 千円

₩

事業費

他の施策(番号のみ)

施策:小

【各年度における具体的な取組内容とその実績】

48, 551 千円 出田

₩ 巳

(48, 551)

事業費

出 出田

69, 174

₩

(69, 174)

€

事業費

H

70, 663

₩

(70,663)

图

事業費

施策:中

対応するモニター指標

対応施策:大

【新スリム計画との関わり】

対応するスリム目標

(最大2つまで)

【事業の概要】	要】						【自己評価】	:: ::R3	※R3~R6を通し ⁻
事業名		産業廃棄物処理指導計画推進費							
事業内容 (取組内容)		「札幌市産業廃棄物処理指導計画」に3 ①排出事業者への立入指導、②処理業行 指導計画の策定と推進、⑤札幌市が受!	- 基づき、 (者への) (サ入れ)	こ基づき、主に次の施策事業を身業者を 業者への立入指導、③適正処理等 受け入れている産業廃棄物の見配	e施する 等に係る ョし	。 普及啓発、④	1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	# H •	基本的 1 1 1 1 1 1 1 1 1
事業の目的・	- 回標	市内で発生する産業廃棄物の排出抑制、リナ会の構築を目指す。産業廃棄物のリサイク) 沢等を考慮しながら、市の処理施設における	、コサンドイクルの おける	「サイクル等の推進を図る アルの更なる推進のため、 トる受入品目を縮小するこ	能進を図ることにより 単のため、民間処理施 宿小することを目標と	り、循環型社 施設の受入状 とする。	く 本 は は は は に は に に に に に に に に に に に に に	重	# 6.0五 という
事業の指	指標 1	市理立地における産業廃棄物処分量の削減)削減		目標	ı			
横	指標2	指導計画の策定及び推進			目標	1			達成状
所管課		事業廃棄物課	関係課	I					

対応するスリム目標	埋立処分	埋立処分量の減量目標	<u> </u>
(最大2つまで)	出群をご	に 多排出量の減量目標	<u> </u>
対応するモニター指標	ı	3	
讨応施策:大	施策3	事業ごみの減量・リサイクルの取組促進	
施策:中	3 – 1	事業者による自主的な取組の促進	
施策:小	(4)	市で受け入れている産業廃棄物のリサイクルの更なる推進	
也の施策(番号のみ)	3-1-1		

【新スリム計画との関わり】

	ヸ゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゚゚゚゙゙゙゙゙゙゙゙゙゚゚	理工処分重の減重目標
(最大2つまで)	「み排出量の減量	量の減量目標
対応するモニター指標	ı	
対応施策:大	施策3	事業ごみの減量・リサイクルの取組促進
施策:中	3 – 1	事業者による自主的な取組の促進
施策:小	(4)	市で受け入れている産業廃棄物のリサイクルの更なる推進
他の施策(番号のみ)	3-1-1	

- - -	<u> </u>		5 米
κ ε	事業	①建設系廃棄物排出事業場等への立入指導を実施した。(R3年度実績: 5件) ②産業廃棄物処理業許可施設への立入指導を実施した。(R3年度実績: 42件) ③ガイドブックの排出事業者への配布や本市IPへの掲載等を通じて、事業ごみの適正処理等につい	
44 氏	2, 977 千円 (2, 977) 千円	て仏く周初と図っている。 . ④第5次産業廃棄物処理指導計画を推進している。 ⑤山口処理場で廃石膏ボードの受入れを停止した。(年間約1.8万トンの埋立削減)	
я 4	華業量	①建設系廃棄物排出事業場等への立入指導を実施した。(R4年度実績: 5件) ②産業廃棄物処理業許可施設への立入指導を実施した。(R4年度実績: 74件) ③ガイドブッの排出書業ろへの西布や本市PPへの掲齢等を通じて、事業ごみの適下処理等につ! /	令 後
4H -E	423 千円 (423) 千円	て広く周知を図っている。 (4)第5次産業廃棄物処理指導計画を推進している。 (5)産業廃棄物ガイドの全国的な改訂を実施した。	(課題) 標の設置
<u>გ</u> ი			
4	事業費	②産業廃棄物の理業計つ所設へのエス指導を実施した。(1854度実績: 95件) (3ガイドブックの排出事業者への配布や本市IPへの掲載等を通じて、事業ごみの適正処理等について広く間知を図っている。	多是三年
1 15	(434) 千円	- ④第5次産業廃棄物処理指導計画を推進している。	- H
8 9 8			
 UIII	事業費	②産業廃棄物処理業許可施設への立入指導を実施した。 (R6年度実績: 90件) ③ガイドブックの排出事業者への配布や本市IPへの掲載等を通じて、事業ごみの適正処理等につい	əə 三 -
4 H	13, 888 千円	て広く周知を図っている。 ④第5次産業廃棄物処理指導計画中間評価のための実態調査を実施。	
ح	(13,888) 丰円	⑤産業廃棄物ガイドの一部改訂を実施した。	

※事業費 上段:小事業全体 下段:実際の事業費 小事業内に関係のない予算がある場合、違う数値となる

		定量的評価(数値あり)	定性的評価(数値なし)
4	スリム目標への貢献度	埋立処分量2.2万トン以上減量という目標に対し、この事業で約1.2万トン(約55%)の削減に貢献している。また、ごみ料出量6.8万トン以廃棄ごみ量6.0万トン以上減量という目標に対してこの事業で約1.4万トンの削減に貢献している。	
		達成状況 〇 (〇:達成 〇:	〇:75%以上 ▲:50%以上 ×:50%未猶 -: 他
	事業の実施結果 (目的・目標の達成 状況など)		産業廃棄物の廃石膏ボードについては、民間施設で処理することが困難なものとして、山口処理場で受け入れて埋立処分をしてきたところであるが、平成30年に市内で民間のリサイクル施設が稼働した。これを受けて、札幌市としては再生利用に資するために令和2年度末をもって山口処正私を受けて、札幌市としては再生利用に資するために令和2年度末をもって山口処報場での廃石膏ボードの受入を停止した。この結果、山口処理場での埋立処分量は年間約1.4万トン(総埋立量の26%)削減された。したがって、産業廃棄物のリサイクルの更なる推進のため、市の処理施設における受したがって、産業廃棄物のリサイクルの更なる推進のため、市の処理施設における受入品目を縮小するという事業の目標は達成していると考える。さらにごみ排出量と廃棄ごみ量についても年間約1.4万トンの減量となった。
	開議・単点の素量	埋立処分量2.2万トン以上減量というスリ 55%)の削減に繋がっており、十分な効果?	埋立処分量2.2万トン以上減量というスリム目標に対し、この事業で約1.2万トン(約55%)の削減に繋がっており、十分な効果を上げていると評価できる。
5		まだ、こか辞ロ重0.8カトン、廃業こめ画くこの事業で約1.4万トンの削減となったた	で.0カトン以上減量という日標に対し、回し、(め、十分な効果を上げていると評価できる。
5	今後の事業方針 (課題への対応や事業目 標の設置)	市内で発生する産業廃棄物の排出抑制、「 者への指導を継続するとともに、民間処理 続き、市の処理施設における受入品目の縮2	市内で発生する産業廃棄物の排出抑制、リサイクル、適正処理等の推進に向けた事業 者への指導を継続するとともに、民間処理施設の受入可能状況等を考慮しながら、引き 続き、市の処理施設における受入品目の縮小を検討していく。

5会の意見等】 懇話会で意見があった場合のみ記載する 提案等

不法投棄防止事業費			~ KR3~ 【画已智想】 ※KB~	※R3~R6を通して 定量的評価(数値あり		No.19 定性的評価(数値なし)
廃棄物の不法投棄を未然に防止し、良好な環境を維持するため、監視パメラの設置、市民や事業者等の協働による監視等を実施。また、不法投資れた際の現場対応や土地管理者等への連絡、行為者への指導等を実施。	監視パトロール、 7法投棄の通報。 腎施。	-ル、監視カ 種報が寄せら	スコム日種への貢献		*1.	ト事業により不法投棄が未然に防止され がみの分別や適下処理が推准されること
廃棄物による生活環境保全上の支障を生ずる事態を未然に防止し、	適正処理	を確保する。	() () () () () () () () () ()			より、廃棄ごみ量の減量に一定の効果があったと考えている。
不法投棄パトロール日数(延べ)	目標	370⊟				
不法投棄発見件数	目標	500件		達成状況	(◎:達成 ○:75%	75%以上 ▲:50%以上 ×:50%未満 一:他
事業廃棄物課 関係課 一						
				本市職員によるパトロール、委	託業者による休	日を含めた夜間パトロール、市民による
廃棄ごみ量の減量目標		12 ocane	事業の実施結果 (目的・目標の達成 状況など)	ホランティア監視、事業者との組んだことで、516件の不法投資倒年と比べて、およそ半減して・野洋投資・大学技事を開催を表	不法投業監視協 食を発見した。 いるが、まだ多	ホランティア監視、事業者との不法税業監視協定等により、不法投業の早期発見に取り組組んだことで、516件の不法投棄を発見した。 例年と比べて、およそ半減しているが、まだ多くの不法投棄が発見されている。 ・ ホ珠地華ဆ自仏物
1		3		1,73,73,73,71,73 H28: 793,4, H29: 908,4, H30: 869,4,	0:869/4 R1:	999/4、R2:1,157/4、R3:884/4、R4:
施策 5 持続可能な収集・処理体制の確立				05/∰ ,		
5-5 不法投棄対策の強化						
(1) 不法投棄の監視						
5-5-(2)				基準年度である平成28年度と比らればは、	較すると、不法 2一字の特里は	ナ え
な取組内容とその実績】 数値で示せるものは数値も記載すること			事業の評価・課題	n数が減少しており、事来によ 程度の不法投棄家電が発見され 実施する必要がある。	る一点の巡米は たいることから	C 計画 C P の V、 放然 C C 投棄を減少させる対策を引
①専任の指導員によるパトロールを実施:延べ384日 ②委託による夜間パトロールを実施: 272日 ③不法投棄の通報等対応件数: 276件 ④不法投棄防止啓発用ステッカー配布数: 240枚				・不法投棄された家電リサイクル法 H28:938台、H29:723台、H30:6台、R5:194台、R6:233台	クル法対象家電台数 H30:652台、R1:453台、	数 453台、R2:483台、R3:531台、R4:235
不法投棄防止						
①専任の指導員によるパトロールを実施:延べ351日 ②奏託による夜間パトロールを実施: 272日 ③不法投棄の通報等対応件数: 216件 ④不法投棄防止啓発用ステッカー配布数: 271枚 ⑤不法投棄防止啓発用のぼり旗配布数: 671枚			今後の事業方針 (課題への対応や事業目 標の設置)	現状のパトロール体制、市民に による監視等により不法投棄が 適正処理に関する啓発活動を実	』、市民によるボランティご 7法投棄がされにくい環境 8活動を実施していく。	ア監視員、事業者との不法投棄監視協定 iづくりを継続して実施することに加え、
専任の指導						
②委託による夜間パトロールを実施:272日 ③不法投棄の通報等対応件数:219件 ④不法投棄防止啓発用ステッカー配布数:236枚 ⑤不法投棄防止啓発用のぼり旗配布数:777枚			【懇話会の意見等】	懇話会で意見があった場合のみ記載す	記載する	
①専任の指導員によるパトロールを実施:延べ356日 ②委託による疫間パトロールを実施:272日 ③不法投棄の通報等対応件数:221件 ④不法投棄防止啓発用ステッカー配布数:308枚 ⑤不法投棄防止啓発用のぼり旗配布数:704枚			意見・提案等			
	**二世 東バ中	Y 4				

【各年度における具体的な取組内容とその実績】

対応するモニター指

対応 指無・ 大

(最大2つまで

【新スリム計画との関わり】

対応するスリム目標

施策:小

施策:中

(番号のみ)

他の施策

43,829 千円 出出

事業費

829)

(43,

十田

185)

185 千円

44 (44, 1

事業費

448 千円 **H**

3,

∕₩

事業費

2

448)

3

92

事業の概要】

事業名

指標 1

事業の指

輔

回補

事業の目的・

事業内容 (取組内容)

指標

所管課

小事業内に関係のない予算がある場合、違う数値となる 下段:実際の事業費 ※事業費 上段:小事業全体

36, 103 千円

∕₩

103)

(36,

【事業の概要】						【自己評価】 ※R3~	※R3~R6を通して	
事業名		ごみステーション管理器材等助成費					定量的	量的評価(
事業内容 (取組内容)		地域で取り組むごみステーションの管理支援、 テーション管理器材(ごみ飛散防止ネット、カ・ 材)の購入助成及び敷地内箱型ごみステーショ	警理支援、管理する市民の負担軽減のため、ごみス ネット、カラスよけサークル、折りたたみ式箱型器 ステーション設置費助成を行う。	担軽減のた。 、折りたた。 う。	め、ごみス み式箱型器	スリム目標への貢献		\
事業の目的・目	操	「タステーション管理器材及び箱型にタステーショ: 住宅の敷地内専用にタステーション設置を推進する の負担を軽減する。	ンの購入費用の一部を助成し、風や小動物によるごみの散乱防止及でったとにより、地域の環境集化を推進し、ごみステーションを管理することにより、地域の環境集化を推進し、ごみステーションを管理する。	があったる ごみの ごみステーショ)散乱防止及び共同 ンを管理する市民	囤		
事業の指	指標 1	管理器材の購入助成件数		日標	5,079			
	指標2	清掃事務所が清掃を行ったごみステーションの延べ箇所数	ーションの延べ箇所数	目標	138, 000		達成状況	0
所管課		業務課	関係課 -					

対応するスリム目標	I	12 octable	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
(最大2つまで)		8	(
対応するモニター指標	_	3)
対応施策:大	施策4	市民に対する支援と普及啓発	
施策:中	4 — 1	ごみステーション問題の改善	
施策:小	(1)	ごみステーションの管理支援	
他の施策(番号のみ)			

【新スリム計画との関わり】

Г															
×	3, 527件 355件	<u> 「みステーツョンの延く箇所数 106,652件</u> 数 -c6-767か所	SK 00, 101 (20 X8		'n	<u> </u>	SK 00, 1011211	推了集中代本学 0 00/4	305/#	<u>ごみステーションの延べ箇所数</u> 81,642件数 58.370か所		11 OOF 7 700 11 4 1 1 4 1 1 4 1 1 4 1 1 1 1 1 1 1	・ヨン官埋添材 購入質助成件数 1,787件 ・ーション敷地内設置費助成件数 327件	<u> パタステーツョンの斑く箇所数 88,509件数 80,146</u> か開	17. 77. 17. 17. 17. 17. 17. 17. 17. 17.
各年度における具体的な取組内容とその実績 数値 3	「みステーション管理器材購入費助成件数 () 箱型ごみステーション敷地内設置費助成件数	清掃事務所が清掃を行ったこ (糸孝) 「みっトーション#			こみスナーンョン官埋器材 購入貨助成件数 、 箱型ごみステーション敷地内設置費助成件数	清掃事務所が清掃を行ったこ (糸孝) 「みっトーション*		『井品田歩・・・・ 一 ト・・ 一	「なく・ーノョノ言 年命を別権型 「みストーソョン敷地」	清掃事務所が清掃を行った「みステーション。 (参考) 「みステーション数 58.370か所		1 TT 10 Electrical Control Con	こみストーション管理器材質 箱型ごみストーション敷地P	清掃事務所が清掃を行ったこ (条巻) 「みストーション#	プレン しょく ノロノダ
年度における具体的7	事業費	35,817 千円	(35,817) 千円		事業費	71,339 千円	(71,339) 千円		事業費	48, 974 千円	(48, 974) 千円		事業費	46,939 千円	E + (300
R 200		₩	Æ	R 4		₩	臣	R D		₩	€	R 6		₩	£

※事業費 上段:小事業全体 下段:実際の事業費 小事業内に関係のない予算がある場合、違う数値となる

定量的評価(数値あり) 定性的評価(数値なし)		達成状況 ③ (③:達成 ○:75%以上 本:50%以上 ×:50%未満 -:他 ・ごみステーションにおける風・小動物によるごみの散乱等の問題の改善に向け、「管理器材等購入費助成事業」を行った結果、こみステーション数は年々増加しているが、指標をにある、清掃事務所が清掃を行ったごみステーション数は年々増加しているが、もことから、十分な効果を上げていると言える。・指標1にある管理器材が開入助成件数については、目標値を下回っているが、目標値とは当該年度に購入される第入の形が、対しては、日標値を下回っているが、目標値とは当該年度に購入されるである。 購買予測を実購買数が下回った結果である。	管理器材はごみの散乱防止及び地域の環境美化に寄与しており、適切な時期に適切なものに更新(変更)されることが必要であり、地域で取り組むごみステーションの管理支援、管理する市民の負担軽減に寄与している。	ごみステーションは小規模化の推進に伴い、毎年一定数が新規に設置されていること や、管理器材に定期的に更新する必要があることから、こみステーションを管理する市 民の経済的・人的な負担を軽減するよう、今後も事業を行っていく。 令和 4 年度より、一般的な物において実勢価格の1/2の助成となるようごみステー ション管理器材等購入費助成の限度額をネット5千円→11千円、サークル7千円→16千 円、折りたたみ式箱型12千円→30千円へ見直し、箱型ごみステーション敷地内設置費助 成の限度額についても、箱型・物置型12千円→50千円、一部開放型7千円→16千円へ ら和5年度には、箱型ごみステーション敷地内設置費助成のうち、町内会が民有地等 に共用のごみステーション影材を設置する場合について、助成率を本体価格の1/2から 3/4へ、限度額を50千円から75千円に引き上げた。
	スリム目標への貢献度	事業の実施結果 (目的・目標の達成 状況など)	事業の評価・課題	今後の事業方針 (課題への対応や事業目標の設置)

【懇話会の意見等】 懇話会で意見があった場合のみ記載する ・ 町内会未加入の人は、ステーションの管理器材の費用を負担せずにステーションを利用するた意見・提案等 め、少し違和感がある。市がそのあたりのフォロー、調整をする負担も考慮して、より良い収集方法を検討してほしい。

[事業の概要]					【自己評価】 ※R3~	※R3~R6を通して		
事業名	ごみステーション管理支援費					定量的	量的評価(数値あり	(h)
事業内容 (取組内容)	「さっぽろごみパト隊」によるごみの適正射 みステーション問題については、地域との貼 用ごみステーションの分散化」などの対策を また、さわやか収集により、要介閣者等のこ 域清掃ごみの収集など、地域の美化活動の支	ごみパト隊」によるごみの適正排出指導により不適正排出の防止を図り、指導により改善しないご ヨン問題については、地域との結論を行い。 【共同住宅の敷地内専用ごみステーション化」や「共 ーションの分解化」などの対策を請して改善を図る。 やか収集により、要介護等等のこみ排出困難者の支援及び希望者への安否確認を行うとともに、地 の収集など、地域の美化活動の支援を行う。	り、指導により ごみステーショ 安否確認を行う)改善しないご3つ化」や「共3つ化」や「共5ともに、地	スリム目標への貢献			
事業の目的・目標	ニみステーションを管理する方々の 能な市民による管理の仕組みづくり	ーションを管理する方々の支援を行うとともに、高齢化社会に対応した、持続可 による管理の仕組みづくりを支援する。	社会に対応し	た、持続可	椡			
事業の指 指標1	清掃事務所が清掃を行ったごみステーションの延べ箇所数	ーションの延べ箇所数	目標	138, 000				
標 指標 2	不適正排出開封調査実施ステーション数	ン数	目標	19, 287		達成状況	0	€:⊚)
所管課	業務課	関係課 一						

定性的評価(数値なし)

【新スリム計画との関わり】	[[廿分 株田	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
対応するスリム目標	ı	28年 (18年) (18年) (事業の表稿語来(目的・目標の達成)はになって
(最大2つまで)			(V t)
対応するモニター指標	ı	3	
対応施策:大	施策4	市民に対する支援と普及啓発	
施策:中	4 – 1	ごみステーション問題の改善	
施策:小	(1)	ごみステーションの管理支援	
他の施策(番号のみ)	4-1-(2),	4-1-(2), $4-1-(3)$, $4-1-(4)$, $4-1-(5)$, $4-2-(2)$	

・ごみの適正排出指導により不適正排出の防止を図った結果、不適正排出件数や個別指導 実施件数が存々減少していることから、十分な効果を上げていると言える。 ・共同住宅の専用ごみテーション化や共用にみステーションの分階値により、ご タステーション総数に増加しており、これに用じかステーションに数ける推進により、ご 利用世帯数が減少したことで、ごみステーション1の所当たりの平均 利用世帯数が減少したことで、ごみステーション1の所当たりの平均 適用出帯数が減少したことで、ごみステーション利用者の排出者責任の意識が高まり、不 適に指出件数の減少につながったと考える。 ・さわやか収集については、年々収集件数が増加する傾向にあるが、要望に応じた対応が できている。

割

×:50%未避

▼:50%以上

〇:75%以上

(◎:達成

事業の証価・連盟						今後の事業方針	(課題への対応や事業目標の設置)				【懇話会の意見等】			音目・坦家等		
[各年度における具体的な取組内容とその実績] 数値で示せるものは数値も記載すること	単語 曹 黎 罪人 はっしょ しょう しょう 一ジョン (京) 東田 著 しの らら とり 中	A TRIP # 257 1 2 7 1 1 1 1 2 2 4 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2	早期啓発体数 22件 バタテーション設置数 28.76.76.76.76.76 (うち共同住宅専用のもの 30.807か所)	さわなか以集件数 5,062件	華語 事業 石木 (サージュン・マ) 大田 (東京) 東京 東京 日本 (サージュン・マ) 東京 東京 日本 (東京) 東京 東京 (東京) 東東 (東京) 東東 (東京) 東京 (東京) 東東 (東東	たに中央が出席がおおいました。 フェーン・フェーン フェーン・フェーン フェーン・フェーン フェーン・フェーン フェーン・ファーン コン数 5,494年 高空 技術連帯なる 1,517年 1,51	早期啓発件数 44件 「JAカーション設置数 57,674か所(うち共同住宅専用のもの 31,528か所) - サンデーデンコン設置数 57,674か所(うち共同住宅専用のもの 31,528か所)	さわやか収集件数 5,1/6件	単語 事業 写成 (4) 1		早期啓発件数 65件 ごみステーション設置数 58,370か所 (うち共同住宅専用のもの 32,110か所)	さわやか収集件数 5,060件		清結事務所が清掃を行ったにみストーションの延く箇所数 88,509か所不適正排出開封調査実施ステーション数 6,514件	個別指導業所件数 1.231件 早期路発件数 4.7件 1.24ストーンコン製書数 59.146か所(うち共同住宅専用のもの 32.787か所)	さわやか収集件数 5.492件
:度における具体的:		事業費	89,817 千円	(89,817) 千円		事業費	55,310 千円	(55,310) 千円		事業費	52,305 千円	(52, 305) 千円		事業費	54,109 千円	(54, 109) 千円
[各年	8		₩	K	4		₩	区	R S		₩	区	B 8		4+1	E
2																

懇話会で意見があった場合のみ記載する

※事業費 上段:小事業全体 下段:実際の事業費 小事業内に関係のない予算がある場合、違う数値となる

【事業の概要】	既要】					【自己評価】 ※R3~	※R3~R6を通して			No.22
事業名		ごみ収集計画費(分別・排出ルールの普及啓発)	普及啓発)				定量的評価	五(数値あり)	定性的評価(数値なし)	
事業内容 (取組内容)	(<u>)</u>	家庭系にみの分別・排出ルール等の普及啓発を行っため「ごみ収集日カレンダー」や「、F」の作政・配布、「ごみ分別アプリ」の配信、出前講座「かっぽろクリーンミーティン語している。外国人に対しては外国語のごみ分けガイドの作成及びにみ分別アブリの配える。	8発を行うため「ごみ収集日カレ 7配信、出前講座「さっぽろケリ・ 7み分けガイドの作成及びごみ分	ンダー」や ーンドーデ 別アプリのj	「ごみ分けガイ イング」などを実 配信等を行ってい	スリム目標への貢献				別誤りによけや集団資源
事業の目的・	ó · 目標	ごみの減量・リサイクルの推進には、ごみを排出する市民の協力が必要不可欠 民に対しごみの分け方・出し方等の周知を図っていく。	ごみを排出する市民の協力が 知を図っていく。	必要不可久	?であるため、市	極		\	回収に排出されるため、本事業により、ごみ排出量やF み量の減量に一定の効果があったと考えている。	解
事業の指	指標1	清掃に関する問い合わせ件数		日標	66, 000		\			
丰	指標2	不適正排出開封調査実施ステーション数	数	日標	19, 287		達成状況	○ (◎: 達成 ○	O:75%以上 ▲:50%以上 ×:50%未満 -:他	
所管課		業務課	関係課 循環型社会推進課				・ごみの適正排出及	び減量・リサイクルの	推進を図るため、ごみ分けガイド、ごみ収集日カレン	ノダー、ク
							リーンドーティング・若い甘代に向けてな形装物を放射する	、「み分別アフリなど」は、令和元年度に、「 お業を行ったほか、反	リーンミーティング、こみ分別アフリなど様々な媒体や施策を通じて、曹女啓発を行った。 ・若い世代に向けては、今和元年度に、『み分別フプリにおいて、集団資源回収の検索回面追加や、分別の - 鈴赤雄蛇太女士 - スルギスペットにお、以同「土日へ並に」・ 一四五十四五十四五十四十二十	まっ、少四の出げません
【新スリム	[新スリム計画との関わり	y]				事業の実施結果	校米阪能を九米する今和元年度に新たに	及事やこったほど、スペートと語対応のにお	国くにないるのうし、名けり来記、下回記、井回記分けガイドを作成した。	ころが
対応するス	対応するスリム目標	ごみ排出量の減量目標			12 SCARE	(目的・目標の達成 まっかが)	・令和3年度には、ドのお言いからが	令和3年10月から加熱すい。 みかけせん	式たばこ・電子たばこの排出ルールの変更に伴い、こみが訂しています。中国語、徳名分別アプリ(英語)中国語、韓国語対応)	「やかすがん」の影響を
(最大2つまで)	つまで)	廃棄ごみ量の減量目標			5	/ J &, 7// VI	行った。	は、 、 十日の一世をは今	ころが、「光」、日本の一番のでは、「は、「は、」」、「は、」、「は、」、「は、」、「は、」、「は、」、「は、	+ ; ; ; ; ; ; ; ; ; ; ; ; ; ; ; ; ; ; ;
対応するモ	対応するモニター指標	1					・も名を中域には、ゴ・バタク別アプリ	元和4年10月から小空(英語、中国語、韓国	※亀回収ホック <i>への</i> 回収 <i>力法の</i> 変更に守い、 こみかけ 語対応) の改修を行ったところである。	A 2 2 4 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7
対応施策:大	K	施策4 市民に対する支援と普及啓発	採				・ 令和5年度には大	型にみのインターネシギエキな 無いな	ト受付開始に伴うガイドの改訂、アブリの回収等を作の子法正は5問封調本事権3=・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	丁した。十七十二十二十二十二十二十二十二十二十十二十十二十十二十十二十十二十十二十十二十

【新スリム計画との関わり	11		事業の実施結果
対応するスリム目標	田井をご	にみ排出量の減量目標 12 34411	(目的・目標の達成は治なが)
(最大2つまで)	廃棄ごみ	廃棄ごみ量の減量目標	W.W. & C.)
対応するモニター指標	1		
対応施策:大	施策4	市民に対する支援と普及啓発	
施策:中	4 – 3	具体的な行動につなげる普及啓発の実施	
施策:小	(1)	様々な媒体を活用した普及啓発	
他の施策(番号のみ)	4-2-(1), 4-3-(5)	4-3-(5)	

F度におけ	る具体的な	【各年度における具体的な取組内容とその実績】 数値で示せるものは数値も記載すること 23	無
事業費		清掃に関する問い合わせ作数 6/ 404件 生な問い合わせ内容な7件数:分別に関すること 28,582件、大型ごみに関すること - 1704 = infelocial パムセル・0.6444、	
51,385 千円		- (**) (***	
(51, 385) 千円		※令和元年度から数値が減少した理由は、新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う措置によるもの。	
	_		
事業費		済術に関する向い行わせ件数 Do.34U件 (主な問い合わせ内容及び件数:分別に関すること 30,939件、大型ごみに関すること	√ [
48,084 千円		7.531件、収集日の問い合かせ 6.867件) 木道正排出開動調査表施ステーション数 5.494箇所 カルシェンが開発回数 134回(参加者数 - 7.764.k)	
(48, 048) 千円			
		14-10-100 T 4-10-10-10-10-10-10-10-10-10-10-10-10-10-	
事業費		清掃に関する問い合わせ作数 55,039件 (主な問い合わせ内容及び件数:分別に関すること 24,616件、大型ごみに関すること	l
49, 088 千円		5.973件、収集日の問い合かせ 5.182件) - 液面:排出関新調本産施入デーション数 6.086箇所 - パーパニネルが関鍵で数 200回(参布金巻 1.1738.1)	影
(49, 088) 千円		-	
		*** 18 - 28 - 1 4 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	
事業費		/清掃に関する向い合わせ作数、51,449件 (主な問い合わせ内容及び件数:分別に関すること 23,529件、大型ごみに関すること	ə 司
52, 246 千円		5.647年、10集日の問い合わせ、5.061年) - 木道正井田朝封御香森庵入子一ション教、6.514箇所 カレンシェインが開催回教、146回、参北本教・11.795人)	
(52, 246) 千円			

小事業内に関係のない予算がある場合、違う数値となる 実際の事業費 一段: 上段:小事業全体 ※事業費

・ 多様な価値観を有する人々と『み出しマナーという問題は、終わりのない問題と 言える。だからこそ、継続的に、我慢強く対策を行っていく他、若者の意見を反映 させたような新たなかれがないかし思う。 ・ 賃貸が多い地域は『スカスーンコン管理が行き届いていない印象があり、引き続 ・ 重点的に取り組んでいく必要があると思う。 ・ こみ出しルールの向上のために、現られているという意識を特たせるメッセージ ・ 大の歯、日のようなものを掲示するような方法が考えられます。これらの『スケ テーションへの掲示は、比較的安価でできると思うので、試してみては。

提案等

懇話会で意見があった場合のみ記載する

限話会の意見等】

・このような客袋を続けた結果、家庭ごみの不適正併出開封調査実施ステーション数が減少しており、本事 業の効果は出ていると考える。	ごみ排出マナー改善に向けて市の取組の一つである出前講座(クリーンミーティンゲ)において、新型コロナウイル ス感染拡大により、多人数が集まる形式で開催することを避ける町内会が多く、開催回数が減少していたと 考えられ、徐々に回復傾向にはあるが、コロナ禍以前に比べると開催回数が少ない。	・引き続き、市民に分かりやすいごみの分け方・出し方等の周知方法の検討を行い、現在の事業内容を継続 する。 ・また、出前講座においては、開催出来ない場合でもごみ排出マナーが認知されるような別の啓発手法を検 討してまいりたい。
	事業の評価・課題	今後の事業方針 (課題への対応や事業目 様の設置)

【事業の概要】			【自己評価】 ※R3~R6	を通して
事業名	ごみ収集計画費(市外からの転入者等への啓発)			定量的評価(数値あり)
事業内容 (取組内容)	市外や区外から転入する市民へのごみ排出ルール及び収集日の周知な。 期を迎える3月末に、各区役所に相談窓口を開設する。また、大学お せて、ごみ出しルール等の啓発チランの配布を行う。併せて、不動産員 住宅ごみ排出マナー改善対策運絡協議会(マナー協議会)の関係団体	などを目的として、転入手続が繁忙 および専門学校の新入学時期に合か 室関係団体等で構成する札幌市共同 本と連携した取組も行っていく。	7 1 7 日極人の当時	啓発により正しいごみ分別が行われることで、分別誤りにより廃棄ごみとして排出されていたごみが資源によか
事業の目的・目標	区役所でのごみ分けガイドの配架や市外や区外から転入する市民向けの取組を継続していくとともに、ごみ排出ルールが守られず不適正排校、不動産関係団体等(マナー協議会)と連携し、ごみ排出マナー改	ナに臨時の相談窓口を開設するなど 非出とならないよう、大学や専門学 牧善に向けた取組も継続していく。	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	収に排出されるため、本事業により、ごみごみ量の減量に一定の効果があったと考え
事業の指 指標1	1	目標		
		目標		達成状況 — (◎:達成 ○:75%以上 ▲:50%以上 ×:50%未満 -:他
所管課	業務課 関係課 循環型社会推進課			
【新スリム計画との】	との関わり】		# #	市外や区外から転入する市民へのごみ排出ルール及び収集日の周知などのため、各区役所に相談窓口を 開設をした。なお、令和元年度から令和3年度までは、新型コロナウイルス懸染拡大の影響から、「転
るスリ	第出量の減量目 ディー・エー・エー・エー・エー・エー・エー・エー・エー・エー・エー・エー・エー・エー	12 overe	サ米の大阪 (田的・田森の (対がなが)	開設を中止し、各区役所に転入者向けの家庭ごみ普及啓発ポスタ・のユナニ・ケー年の※近回市に中国を占って中北をおかます。こ
(最大2つまで)なびチェンティン	発来こか量の減重目標 - 一番 - 一	8	5	まだ、、特団人石句の多い、共同日七等への対応として、、集団資源回収に共同任も人店台か参加(さめるナン、平成30年度から清掃事務所が町内会と大同任任的所も著等のコーポーネャートを行う中で、「プみストージョンへの途下は出げ組むぐの宣書第の日・へつかげる即名を始かた。アル・ブダの株出フォーの港「英兵
a H H H H	施策4 市民に対する支援と普及啓発			アダイアロドライン からい さんじゅう かいしょう アン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
施策:中	4-3 具体的な行動につなげる普及啓発の実施			
施策:小	(2) 市外からの転入者に対する普及啓発			
他の施策(番号のみ)	4-1-(3)			
各年度における	具体的な取組内容とその実績】 数値で示せるものは数値も記載すること			記のとおり、通常の広報に加えて、周知を行ったことから、一定の効果はあると思われるが、コ
۳3 آ	こ第12回協議会を開催。ただし、新型コロナウイルス感染症の感 等	5から、郵送やメールに	事業の評価・誘題	必要がある
事業費	情報を提供する非対面式での書面開催。情報提供の内容として、10月から ※式・電子たばに等)についてのリーフレット、新型コロナウイルス感染	いらの排出ルールの変更(筒形乾電池、加 §染症にかかるマスクの捨て方に関する資		
全 51,385 千	こついて周知した。 # チョシ郡布宝繕・ 大学24粒			
内 (51, 385) 干				
R 4	剑(二个子上口下进攻,朱野不同一进入名,是国外人员之后,这一一	7. 人名西比比比 经营业人工		
事業費	らがにおら回じ破みで発布。 昨十名に対したので、対対しコンプルングが米にて情報を提供する非対固式での書面開催。 情報提供の内容として、リチュコエは、 年日後近の日の日田の第二十二年日の日、1年日に1十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二	当り後来は人どより 既だらっ ペーゲーケムイイン電池を使用した家電製品の	後の事業方針	年6万人を超える転入者がいる中で、
全 48,048 干	4.2.3.3、米国兵派四次の心が応事す。 しょくぎな		(課題への対応や事業目標の設置)	動産関係団体と連携して、正しい分別ル
内 (48, 048) 干				
R5	, 一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一			
事業費	・ カイのキシ月に第14回協議表を開催。 昨年及に引き称ぎ、書回開催。 集団資源回収の利用方法等に係る資料、共同住宅専用にみステーション設置状況な た。	(置状況などをメールにて情報提供し		
全 49,088 干	E			十十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十
内 (49,088) 干		配布枚数15, 920枚	【巻配法の思え手】	つに場合のみ記載
R6	88 1 4 4 7 7 1 6 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			
事業費	- 「六村ノヰ3月に乳1b回防線渓や開催。昨年度に5157歳ぞ、書回開催。 ・ カナンムイオン電池使用製品適正排出に係る資料、共同住宅専用にみスト 	ション設置状況などをメールにて情	意見·提案等	
全 52,246 干	#PUL#T	***************************************		
内 (52, 246) 千	- 割ヘエアンノ記し表限:ヘチ20女(※) キロナない女(※) EUも女珍 ※シ キアナケングの提供大学3校、専門学校3校千円	(12, 300fX		
(1)				

小事業内に関係のない予算がある場合、違う数値となる 下段:実際の事業費 上段:小事業全体 ※事業費

【事業の概要】	既要】						【自己評価】 ※R3	※R3~R6を通して
事業名		家庭ごみ収集費						定量
事業内容 (取組内容)	(<u>)</u>	分別区分に従って排出される燃やせるこみ、燃やせないこみ、ぴん・缶・ベットボトル、容器包装プラスチック、雑がみ、枝・葉・草、大型こみを収集する。また、「メシール」が貼られたまま持ち帰られないこみや町内清掃によって集められたこみ等(地域清掃にみ)を収集する。燃やせるごみ等はステーション収集を実施しているが、「大型にみ」は事前申し込み制による戸別収集を実施している。	ないごみ、びん・ ル」が貼られたま 等はステーション	缶・ペットボトル、9 5ま持ち帰られないご。 2収集を実施しているが	容器包装プラスヲ 9や町内清掃によ 5、「大型ごみ」	-ック、雑がみ、 こって集められた は事前申し込み	スリム目標への貢献	
事業の目的・目標	9·目標	市民の生活環境を維持するため、一般家庭から排出されるごみを分別区分に応じて収集し、清掃工場や選別施設に搬入する。また、災害時の収集体制も踏まえた安定的な収集体制を確保する一方で、より効率的な収集体制についても終討していく。	されるごみを分別 (集体制を確保する	区分に応じて収集し、 と方で、より効率的が	清掃工場や選別 な収集体制につい	施設に搬入す でも検討してい	極	
事業の指	指標 1				日標	1		
擊	指標2				目標	1		達成状況
所管課		業務課	関係課一					
[新入りム	(新スリム計画との関わり)							
							事業の実施結果	

「かって、」というという。			
対応するスリム目標	ı		12 overe
(最大2つまで)			8
対応するモニター指標	-		
対応施策:大	施策6	清掃事業の最適化と安全・安心な体制の構築	
施策:中	6 – 1	収集・処理業務の最適化	
施策:小	(1)	効率的な収集業務の推進	
他の施策(番号のみ)			

事業の評価・課題		今後の事業方針(智慧への対応な事業目)	(実習・シンランサ米) 種の設置)		【懇話会の意見等】			意見·提案等	
t取組内容とその実績】 数値で示せるものは数値も記載すること 収集ごみ量: 389,384,05 t ごみステーション数:26,10,1所	大型ごみ収集件数(収集世帯数):353.167件 年間延べ稼働台数58.646台(年間総稼働日数259日、一日あたり226.4台/日)※経常配車のみ	収集ごみ量:381,216,07 t リポステーション数:57,614ヵ所	大型ごみ収集件数(収集世帯数):389,240件 年間延べ稼働台数58,216台(年間総稼働日数289日、一日あたり224.7台/日)※経常配車のみ		収集ごみ量:366,896,25 t 「みネテーン・ラン数:58,370ヵ所 大型ごみ収集件数(収集世帯数):359,955件 年団延え稼働占数56,433台(年間総稼働日数259日、一日あたり225.6台/日)※経常配車のみ			収集[Jみ量: 358 003.1 t 「Jなステーンション数:59] 46ヵ所 大型[Jみ収集件数 (収集世帯数): 408,309件 作問評(珍報특삭数6 (収集世帯数): 408,309件	
年度における事業費	会 4, 124, 337 手円 内 (4, 124, 337) 千円	R4 事業費	全 4,288,269 干円 内 (4,288,269) 干円	R5	事業費 全 4,336,105 千円	内 (4,336,105) 干円	R 6	事業費 全 4,428,618 千円	内 (4, 428, 618) 千円
65									

懇話会で意見があった場合のみ記載する

※事業費 上段:小事業全体 下段:実際の事業費 小事業内に関係のない予算がある場合、違う数値となる

[事業の概要]							【自己評価】	*
事業名		清掃車両等購入費						
事業内容 (取組内容)		ごみ収集作業の安全を確保するとともに、円滑な作業を推進するため、; 計画的な更新を実施する。	明し、コ	∮な作業を推進する 九	رگ. تام.	ごみ収集車両等の	スリム目標へ	く 9 点
事業の目的・目	日	ごみ収集作業を安全かつ円滑に行うために、消定的かつ計画的に車両更新を行うとともに、	青掃車両のst 環境にも配	清掃車両の老朽化の度合いや購入費用の 環境にも配慮した車両選定を進めていく	用の平準化を いく。	用の平準化を勘案しながら安 いく。	極	
- 罪の	指標 1	ごみ収集車両更新台数			目標	ı		
	指標2	その他車両更新台数			目標	ı		
所管課		業務課	関係課	_				

【新スリム計画との関わり】	11	
対応するスリム目標	1	12 STAN
(最大2つまで)		8
対応するモニター指標	ı	3
対応施策:大	施策 5	持続可能な収集・処理体制の確立
施策:中	5 – 4	収集・処理における環境への配慮
施策:小	(1)	ごみ収集作業における環境負荷の低減
他の施策(番号のみ)		

2	がいっているという		The care 71	
(最)	(最大2つまで)		8	大光な
位衣	対応するモニター指標	ı		
位女	対応施策:大	施策 5	持続可能な収集・処理体制の確立	
	施策:中	5 – 4	収集・処理における環境への配慮	
	施策:小	(1)	ごみ収集作業における環境負荷の低減	
他の施策	施策(番号のみ)			
	各年度における具体的な取組内容とその実績】	な取組内容と	- その実績】 数値で示せるものは数値も記載すること	
ღ ლ				/
	事業費	車両車 別	計画のとおり、ごみ収集車6台 (4MD車3台、2MD車3台)、その他車両1台につ	
₩	116,000 千円	次世代車	ひこ史新で打つた。 次世代車両:7台 全体に占める割合(%):65	
区	(116,000) 千円			
አ 4				
	事業費	車両更新	車両更新計画のとおり、ごみ収集車6台(4WD車6台)、その他車両5台について更新を 6つか	今後の言語が
₩	125,000 千円	次世代車	両:11台 全体に占める割合(%):70	業日標
臣	(125,000) 千円			
Д 13				
	事業費	約期の長ばずること	納期の長期化に伴い、年度内に納車することが不可能となり、車両更新計画のとおり更新 ナスニレが示きず ごむ!in售車の会 そのM車両 1 ムドのハア南班を行った	
₩	42,000 千円	次世代車が	o. C. B. A. C. A. C.	【懇話
臣	(42,000) 千円			
я 9				
	事業費	前年度予:	前年度予算を繰越し、例年より多い台数を更新したが、車両価格の高騰により車両更新計 画のとも川亜粧オスニレがぶきず ごむ心催事の会 その桝東西の台について再粧を行っ	· 完
₩	213,000 千円	た。次世代	ン文都 3 でにて、こう、こう、このなまもの、この心中间ののに こことを制を11 2 代車両:8台 全体に占める割合(%):88	
K	(213,000) 千円			

※事業費 上段:小事業全体 下段:実際の事業費 小事業内に関係のない予算がある場合、違う数値となる

【事業の概要】					【自己評価】 ※	<r3 th="" ~r6<=""><th>※R3~R6を通して</th></r3>	※R3~R6を通して
事業名	清掃計画費 (一時多量ごみの対応)						定
事業内容 (取組内容)	・家庭系の一時多量ごみの収集運搬は、本市においては唯一の許可業者である札幌市環境事事 (以下「公社」という)しか行えない。今後、超高齢化社会が進行する中での生前整理・遺店に伴う一時多量ごみの件数増が想定されるため、その対応を調査・研究する。 ・高齢者に対する効果的な2Rの啓発方法を検討する。	市においては唯一の許可業者で 後、超高齢化社会が進行する中 ため、その対応を調査・研究す そ検討する。	: ある札幌市での生前整 での生前整 - る。	環境事業公社 理・遺品整理	スリム目標への資	横	
事業の目的・目標	・整理をする物が必要以上に増えないよう、高齢者の2Rの意識向上をE ・一時多量ごみの件数が増えた場合にも対応できる体制を整えておく。	よう、高齢者の2Rの意識に も対応できる体制を整えて4	当上を図る。	٥	世		
事業の指 指標1	札幌市環境事業公社における対応件数	(件/年)	目標	I			
標 指標2	- 大量ごみに関する市民からの苦情件数(件/年)	(十/年)	目標	1			達成状況
所管課	循環型社会推進課	関係課 事業廃棄物課					

【新スリム計画との関わり】	ر/	
対応するスリム目標	ı	12 outsite
(最大2つまで)		8
対応するモニター指標	1	
対応施策:大	施策4	市民に対する支援と普及啓発
施策:中	4 – 2	高齢者等への対応
施策:小	(3)	大量に排出されるごみへの対応
他の施策(番号のみ)		

事業の評価・課						今後の事業方針	、味噌への対応でき				【懇話会の意見			意見・提案等		
各年度における具体的な取組内容とその実績】 数値で示せるものは数値も記載すること	・件数が増えていることから公社に収集体制の強化と市民に分かりやすいホームページの	作成を依頼。 - ペオギロザ シ 112 m / 在	- ユセムがでけ数 らいの十/4 - ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	※別の事業(ごみ減量推進費)で実施		・件数増加のため、令机4年12月に収集車を増車(約4台→約5台/半日) - ・公社対応件数 4,049件/年	・スリムネットフォーラムで「元気なうちに3Rでお片付け」を開催※明の事業(ブみ渉害推准書)を実施	というとも木(「でき車」日介は、「人人」自	+ Man Mar (1) = - () 1 1 1 1 1 1 1 1 1	・・収集業者(札幌市境境事業公社)の状況調査 ・公社対応件数 4,671件/年	・スリムネットフォーラムで「元気なうちに3Rでお片付け」を開催※回の事業(ブ丸鴻豊推進郡)が皇権	ション・サイン・アン・カー・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・	+ Man Mar (1) = - () 1 1 1 1 1 1 1 1 1		・スリムネットフォーラムで「元気なうちに3Rでお片付け」を開催※回の事業(ブ丸鴻豊推進郡)が皇権	ヘルン・サボ、「「「「「「大」」「「大」」「「大」」
ぎにおける具体的		事業費	25,688 千円	田士 (0)		事業費	29, 978 千円	田士 (0)		事業費	24, 426 千円	田士 (0)		事業費	24, 155 千円	(0) 千円
【各年月	က က		₩	区	Д 4		₩	区	R 5		₩	区	R 6		₩	€

※事業費 上段:小事業全体 下段:実際の事業費 小事業内に関係のない予算がある場合、違う数値となる

Г		定量的評価(数値あり) 定性的評価(数値なし)	
社 開	スリム目標への貢献度		
	事業の実施結果 (目的・目標の達成 状況など)	達成状況 — (⑥:達成 ○:15%以上 本:50%以上 x:50%未満 -:他 ・公社からの聞き取りでは、公社への依頼主は片付け業者が多く、生活保護世帯分も含めると約6割強となっている。片付け業者が間に入ることにより、スムーズに収集運搬ができており、引越しシーズンなどの繁忙期を除き、収集日が特別に遅くなることはない状況。・公社も依頼件数に応じて、収集体制を強化しており、また、片付け業者などの紹介を求められた場合は、対応できる業者を紹介している。・市民のおれた場合は、対応できる業者を紹介している。・市民からの苦情もほとんどない状況。・高齢者に対する2Rの啓発は、別な事業(ごみ減量推進推進費)で実施。	#分も合 (集画器が とはない の紹介を
e ,	事業の評価・課題	・一時多量ごみの件数は、年々増加しているが、公社もそれに合わせて体制を強化して おり、また、すでに片付け業者などが間に入っていることから十分機能していると判断 できる。 できる。 ・公社では対応できない件数の依頼が集中した場合の収集体制をどうするかが課題。 ・高齢者に対する2Rの啓発は、継続的に実施する必要がある。	a化して 5と判断 課題。
	今後の事業方針 (課題への対応や事業目 標の設置)	・公社の対応状況を毎年確認し、必要に応じて公社に体制強化を依頼する。 ・公社から体制強化が難しいとの申出があった場合は、他の収集方法など対策を検討する。 も。 ・高齢者のごみに係る情報取得手段については、収集日カレンダー・ごみ分けガイドの 他にも、広報さっぽろ・ごみ分別アプリを用いている場合が比較的多いとのアンケート 結果があることから、他の広報手段も含めて活用を検討していく。	- 検討す ブイドの ゲケート

【懇話会の意見等】 懇話会で意見があった場合のみ記載する

【事業の概要】				【自己評価】 ※
事業名	清掃計画費(市役所におけるごみ減量・リサイクル)			
事業内容 (取組内容)	市役所も1つの事業者として、ごみの減量やリサイクルに取り組むための活動を行う。 ①市役所本庁舎のごみ量の公表を検討 ②市役所事務室におけるごみ減量について検討	ための活動を	行う。	スリム目標への言
事業の目的・目標	市が率先してごみの減量・リサイクルを行う必要があるため			世.
事業の指 指標1	ı	目標	ı	
標 指標2	-	目標	ı	
所管課	循環型社会推進課 関係課 -			

【新スリム計画との関わり】	رار	
対応するスリム目標	Ι	12 30.888
(最大2つまで)		8
対応するモニター指標	1	
対応施策:大	施策3	事業ごみの減量・リサイクルの取組促進
施策:中	3 – 3	市による率先したごみ減量・リサイクル行動
施策:小	(1)	市庁舎等におけるごみ減量化運動の推進
他の施策(番号のみ)		

⊪			4	準の調				《親			連 児		
	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		F本庁舎のごみ F暦回 7 4 1	9	Jana イン・ストング Claya トラダン 原己 U	1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	・市役所本庁舎のこみ量をホームペーンで公表。 ・市役所職員に対し、レジ袋削減を呼びかけ、かつ、本庁舎に職員が誰でも利用できるエ	コバッグシェアコーナーの利用を推進。 ・安如公式プラスキック製でITなく発動の容件き対筒の到田を推進	19.4 イン・ファイン・コング とこの・9 イン・ファイン・ファイン・ファイン・ファイン・ファイン・ファイン・ファイン・ファ	1	운원	コバッグシェアコーナーの利用を推進。 ・窓部分がプラスチック製ではなく雑製の窓付き封筒の利用を推進。	ここ、ノベイノダハマダウに対対
度における具体的	事業費 25,668 千円	日士 (0)	###	29, 978 千円	田士 (0)		事業費	24, 426 千円	H± (0)		事業費	24, 155 千円	田廿 (0)
各名 A A	₩	长	⊼ 4 	₩	Æ	R 5		₩	K	R 6		₩	K

※事業費 上段:小事業全体 下段:実際の事業費 小事業内に関係のない予算がある場合、違う数値となる

Γ	【自己評価】 ※R3~	
	スリム目標への貢献度	を重的計画(数値のり) (注的計画(数値なし)
	事業の実施結果 (目的・目標の達成 状況など)	達成状況 ○ (③:達成 ○: 75%以上 本:50%未満 -: 他 ・エコバッグシェアコーナーの設置により、職員のレジ袋の削減につながったが、それ以外には大きな取組はできていない。 ・市役所の多くの部署で紙製の窓付き封筒を利用するようになったことから、プラスチックの削減につながった。
Н	事業の評価・課題	・事務室におけるごみ減量の取組は難しいが、エコバッグシェアコーナーの設置や紙製 の窓付き封筒の利用は、その第一歩になったと考えている。しかしながら、それ以外の 取組が出来ていない状況であり、さらなる取組が課題である。
н	今後の事業方針 (課題への対応や事業目 標の設置)	・市役所本庁舎のごみ量については、毎年、確認するとともに、データの更新を行って いく。 ・事務室におけるごみ減量の取組を検討して実施につなげる。

【事業の概要】					【自己評価】 ※R3~	※R3~R6を通して	
事業名	家庭ごみ処理手数料管理費					定量的	定量的評価(数値あり)
事業内容 (取組内容)	①有料指定ごみ袋の管理と家庭ごみ・ ②家庭こみ処理手数料減免事務 ③公共の場所のボランティア清掃な 仏家庭こみ処理手数料の調査研究	ごみ袋の管理と家庭ごみ処理手数料の収納管理 処理手数料減免事務 所のボランティア清掃などで使用するボランティア袋の管理 処理手数料の調査研究	の管理		スリム目標への貢献		
事業の目的・目標	ごみ減量・リサイクルの促進やごみ: た家庭ごみ有料化制度の安定的な運	1サイクルの促進やごみ排出量に応じた手数料負担の公平化を目的に導入され 背料化制度の安定的な運営	3平化を目は	的に導入され	極		
事業の指 指標1	家庭用指定ごみ袋製造枚数(供給状	(供給状況の安定性)	目標	I			
標 指標2	減免ごみ袋引換券の発行件数		目標	ı		達成状況	: (©)
所管課	循環型社会推進課	関係課 業務課					

燃やせるごみと燃やせないごみは有料であり、その他資源物は無料になることから、 こみの分別の動機付けとなり、廃棄ごみ量の減量に寄与している。

(数値なし)

R6までほ

割 Ī

50%未満

50%以上 ₹

75%以上 0 達成 7

・指定ごみ袋及びボランティア袋の安定供給は、問題なく実施できた。 ・家庭ごみ有料化 (H21) で減量したごみ量について、大きく増えることなく、R6まで1 ぼ横ばいで推移していることから、有料化の効果は特続していると判断できる。 ・ 中民意識調査の結果から、指定ごみ袋については半数以上が不便なしとの回答。また、1か月あたりの負担額についても制度開始当初に想定していた金額(500円未満)なっており、市民にとって過度な負担となっていないことが確認できた。 なっており、市民にとって過度な負担となっていないことが確認できた。

事業の実施結果 (目的・目標の達成 状況など)

・指定ごみ袋の安定供給は出来たが、今後、石油価格の高騰などによる製造価格の上昇により、総費が増大する可能性がある。 ・1121に開始して家庭ごみ有料化制度により、ごみ減量が進み、それ以後、H22からR6までの1人1日当たりの際乗ごみ有料化制度により、ごみ減量が進み、それ以後、H22からR6までの1人1日当たりの際乗ごみ重は、大きく増えていないことから、有料化による減量の効果は持続していると考える。

【新スリム計画との関わり】	7]	
対応するスリム目標	廃棄ごみ	廃棄ごみ量の減量目標
(最大2つまで)		3
対応するモニター指標	1	3
对応施策:大	施策 6	清掃事業の最適化と安全・安心な体制の構築
施策:中	6-2	ごみ処理費手数料の効率的な運用
施策:小	(1)	家庭ごみ処理手数料
他の施策(番号のみ)		

事業の評価・課題						今後の事業方針(細語への対応な事	、「「「「「「」」」、「「」」、「「」」、「「」」、「」、「」、「」、「」、「」				【懇話会の意見等】			意見・提案等		
各年度における具体的な取組内容とその実績】 数値で示せるものは数値も記載すること	〇市民意識調査	・多歴の)の月めたりのしみ処理手数や「約30%の200円光満」・公平なルールかどうか	・指定ごみについて不便を感じる点 料金が高い 約31% 不便なし 約50% 〇柚白治体で調本(87.4かに)	○店日出作が問ュール・プランプ 東藤市可燃・不燃共通 2円→3円/し 東藤市 燃やせるごみ 2円→3円/し 室蘭市可燃・不燃共通 2円→3円/し		○他自治体の調査 (R6.4から変更予定自治体) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	れ込みに、ユニュー・コニュー・コー・コートー(R6に収集を週2回→5回~変更等と同時に生ごみ以外の可燃ごみを3円に値上げ予定)		〇市民意識調査	・家庭の1か月あたりのごみ処理手数料 約90%か500円未満 ・公平なルールかどうか 約80%が公平なルールと思う	・指定ごみについて不便を感じる点 料金が高い 約30% 不便なし 約55% 〇也自治体の調査 (R6.10から変更予定自治体)	江別市 可燃・不燃 2円→3円/1		〇他自治体の調査 出見形 2円→3円/L(R7.9から変更予定) 岩見沢市 可燃・不燃 2円→3円/L(R7.9から変更予定)	K 鮫	
る具体的フ			出	千円			3 千円) 千円		養	日十 0	日士 (:費	2 千円	HH (
年度におけ		業費	637, 862	(637, 862)		業費	626, 933	(626, 933)		事業費	698, 920	(698, 920)		事業費	699, 262	(699, 262)
[各	8	#	₩	玉	R 4	#	₩	Æ	R 5		₩	Æ	R 6		₩	Æ

小事業内に関係のない予算がある場合、違う数値となる 下段:実際の事業費 ※事業費 上段:小事業全体

懇話会で意見があった場合のみ記載する 話会の意見等】

・引き続き指定ごみ袋の安定供給に努める。 ・道内他自治体においては、R7年度に指定ごみ袋の料金改定を行う予定の自治体や、従 前から札幌市よりも高い料金を設定している自治体もあることから、引き続き2円/しの ごみ減量効果について検証していく。

【事業の概要】			【自己評価】 ※R3~	※R3~R6を通して	No.29
事業名	清掃計画費(事業ごみ処理手数料)			定量的評価(数値あり)	定性的評価(数値なし)
事業内容 (取組内容)	4年に1度、事業ごみ処理手数料が適正な額になっているか検証を行及び受益者負担率をもとに現在の手数料額と乖離がある場合は手数料	テっている。 処理原価 4の改定を行う。	スリム目標への貢献		
事業の目的・目標	事業ごみ処理手数料を適切な水準に保つため。		赵		
事業の指 指標1	ı	日標 —			
標 指標2	1	目標		達成状況 ◎ (◎:達成 O:75	:75%以上 ▲:50%以上 ×:50%未猶 一:他
所管課	循環型社会推進課 関係課 一				- 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
【新スリム計画との関わり】	9.1		1	R6年度、処理原価及ひ受益省負担率を昇出し検討した結果、事業こめ処理手数料については、R8年1月1日より原価相当額に改定することとした。	ン種訂した結果、事業こみ処理手数料につ Èすることとした。
対応するスリム目標	I	12 overne	事業の実施結果 (目的・目標の達成	清掃手数料のうち、事業系一般廃棄物を収集し、運搬し、及び処分するとき。 (改定前)	ン、運搬し、及び処分するとき。
(最大2つまで)		8	状況など)	20リットルにつき130円。ただし、これによる ズウル 2 4 6 14 - 1 すりダニ / 「つき30円	ことが著しく実情にそぐわないもので規則
対応するモニター指標	I	3		ごためるものは、「ナロクフムにつき30円(改定後)	
対応施策:大	施策6 清掃事業の最適化と安全・安心な体制の構築			20リットルにつき140円。ただし、これによる た完めろものけ、1キログラスにつき36円	ことが著しく実情にそぐわないもので規則
施策:中	6-2 ごみ処理費手数料の効率的な運用				
施策:小	(2) 事業ごみ処分手数料				
他の施策(番号のみ)					
【各年度における具体的な取組内容とその実績】	な取組内容とその実績】 数値で示せるものは数値も記載すること		事業の評価・課題	今後は、新駒岡清掃工場の建設等により処理原価の増嵩が想定されるため、次回の検討 のWorlsのキャラ	引価の増嵩が想定されるため、次回の検討
23				7.院に 田 忠 9 る。	
事業費					
全 10,621 千円	1				
田士 (0)					
R 4					
事業費			今後の事業方針	新駒岡清掃工場の建設等により処理原価の増嵩が想定されるため、手数料改定を検討。	貳が想定されるため、手数料改定を検討。
全 25,683 千円			(味超への対応や争来日 標の設置)	(時期は未定)	
田士 (0)					
RS					
事業費	1				
25, 123			【懇話会の意見等】	懇話会で意見があった場合のみ記載する	
田十 (0)					
R 6					

※事業費 上段:小事業全体 下段:実際の事業費 小事業内に関係のない予算がある場合、違う数値となる

意見・提案等

事業ごみ処理手数料が適正な額になっているか、処理原価及び受益者負担率を算出し手数 料改定の検討を行った結果、R8 年1月1日より手数料を改定する。

24,430 丰円 田士 (0)

₩

事業費

[事業の概要]					【自己評価】 ※R3~	※R3~R6を通して			
事業名	焼却灰リサイクル事業					定量的評価(数値あり)	(数値あり)	定性的評価(数値なし)	数値なし)
事業内容 (取組内容)	白石・駒岡清掃工場から発生した焼却灰をセメント材料にリサ	でをセメント材料にリサイク	イクルする。		スリム目標への貢献	埋立処分量の基準年度H28か87,151 t Dr.486, 401 i L00 670 i の声声した・ - ナヤ	H28が87, 151 t ・ の済号 L ホーア +		
事業の目的・目標	最終処分場の延命化及び循環型社会の構築を図るため。 (リサイクル量を15,000 tから拡大する)	養築を図るため。 5)			極	N3/V0,401 t C 20,0/0 り、この事業が減量に	すび終車となっておる		
事業の指 指標1	焼却灰セメントリサイクル量		目標	15, 000 t 以上					
標 指標2	ı		目標	ı		達成状況 ◎		(◎:達成 〇:75%以上 ▲:50%以上 ×:50%未満	50%未満 —
所管課	施設管理課	関係課一							

【新スリム計画との関わり	7		日 * * * * *
対応するスリム目標	埋立処分	埋立処分量の減量目標	事業の実施結果(目的・目標の達成)
(最大2つまで)			状況など)
対応するモニター指標	1		
対応施策:大	施策 5	持続可能な収集・処理体制の確立	
施策:中	5 — 1	資源循環処理体制の確立	
施策:小	(2)	焼却灰リサイクルの推進	
他の施策(番号のみ)	1		

焼却灰リサイクル量の実績として、R4は17,937トン、R5は17,525トン、R6は19,411トンとなり、目標を達成した。

--新

] :		1		
仲	<u>年度における具体的な</u>	(各年度における具体的な取組内容とその実績) 数値で示せるものは数値も記載すること	事業の評価・課題	쯸
ო <u>ო</u>		計画18.100トンに対し17.512トン 約96.8%を達成		
	事業費	白石及び駒岡清掃工場の焼却灰をセメントの原料としてリサイクルを行った。		
₩	502, 598 千円	製田 4,377トソ		
区	1 (502, 598) 千円	日石 13,135トン		
Д 4		計画19 000トンに対1.17 937トン 約94 4%を達成		
	事業費	白石及び駒岡清掃工場の焼却灰をセメントの原料としてリサイクルを行った。	今後の事業方針	#
₩	515,350 千円	駒田 4,525 トン	、珠翅へのふぶつも来日標の設置)	TT.
区	1 (515,350) 千円	白石 13,412トン		
R 5		計画19 000 トンニ対1.17 525トン 約92 2%を達成		
	事業費	白石及び駒岡清掃工場の焼却灰をセメントの原料としてリサイクルを行った。		
₩	563,344 千円	駒田 4,655 トン	【懇話会の意見等】 乳	緩調
图	1 (563,344) 千円	日石 12,869トン		
8 8		計画21,400トンに対し19,411トン 約90.7%を達成		
	事業費	日右及び駒尚清掃工場の焼却吹をセメントの原料としてリサイクルを行った。	意見・提案等	
₩	626,666 千円	響面 4 239トン 山产 14 691トン		
K	(626,666) 手円	発第 182トン		

事業を継続拡大し、更なる資源の有効利用と埋立地の延命化に寄与したい。

順調に推移していると評価できる。

※事業費 上段:小事業全体 下段:実際の事業費 小事業内に関係のない予算がある場合、違う数値となる

懇話会で意見があった場合のみ記載する 5会の意見等】 提案等

【事業の概要】				【由己評価】 ※R3~	※R3~R6を通して	No.31
事業名	駒岡清掃工場更新事業				定量的評価(数値あり)	定性的評価(数値なし)
事業内容 (取組内容)	安定したごみ処理体制を維持するため、老朽化した駒岡清掃工場の建に、効率的なエネルギー回収システムを導入することにより、ごみ焼活用を図る。)建て替えを行う /焼却エネルギー	行うととも ギーの更なる	スリム目練への貢献		
事業の目的・目標	老朽化した工場の更新及び3工場体制の維持による効率的な収集体制制の維持を図る。		や安定的なごみ処理体	世 L		
事業の指 指標 1	駒岡清掃工場の更新	日標	ı			
	ı	日標	1		達成状況 ◎ (◎:達成 ○:75%以上	以上 ▲:50%以上 ×:50%未満 一: 他
所管課	施設管理課					
【新スリム計画との関わり】	<i>ا</i> ب					
対応するスリム目標	埋立処分量の減量目標			事業の実施結果 (目的・目標の達成 まじたが)	施設の設計・建設及び維持管理を民間事業者に包括的に委託するDBO方式にて実施して 	型括的に委託するDBO方式にて実施して = ± ± ☆ ** = ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
(最大2つまで)				(J & 10) X	おり、令和7年度の稼働に同けて新工場の建設1	L事を進めている。
対応するモニター指標						
对 心施策:大	施策 与 持続可能な収集・処理体制の確立					
施策:中	5-1 資源循環処理体制の確立					
施策:小	(4) 駒岡清掃工場更新計画					
他の施策(番号のみ)	6-1-(2)					(
【各年度における具体的な取組内容とその実績】	な取組内容とその実績】 数値で示せるものは数値も記載すること			事業の評価・課題	事来于は「こいく」は、氏可沽力を沽用した施設整備于汝の採用を依討し、用した。	
R3_					建設工事については、令和3年度に土木建築工事に着工、エーを割ち年度、6年度も、門町工事を継続している	事に着工、令和4年度にプラント工事に着 アルる
事業費	・新工場の建設工事					° 6.
全 667,782 千円	・周辺道路の整備					
内 (667,782) 千円						
R 4						
事業費	・新工場の建設工事			今後の事業方針	人名人格 化电子电子 人名马马斯 医多种皮肤 化二二二苯苯二二二二苯苯二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二	7. 1. 4. 4. 4. 4. 4. 4. 4. 4. 4. 4. 4. 4. 4.
全 3,937,381 千円	・同心ははり発揮・自営線敷設工事			(課題への対応や事業目標の設置)	의은해은、市和/牛長の体側に同けて、新土物の	//)建設工事で進めていて。
内 (3,937,381) 千円						
R5						
事業費	・新工場の建設工事 西泊法略の転用					
全 18, 302, 483 千円	·周辺道路()整備 ·自営線敷設工事			【懇話会の意見等】	懇話会で意見があった場合のみ記載する	
			-			

٢

採

丰

小事業内に関係のない予算がある場合、違う数値となる 下段:実際の事業費 ※事業費 上段:小事業全体

・新工場の建設工事 ・周辺道路の整備 ・自営線敷設工事

出

18, 955, 637

₩ €

(18, 955, 637)

事業費

8

出田

18, 302, 483 (18, 302, 483)

₩ K

・冬の熱源の確保という観点で、清掃工場で発生した熱を地域供給していること自体に非常に価値 があると思う。その一元メータの価値を不に見せられるものにつることが、影回清末工場、熱供給 公社、地域までもつなぐ視察プログラムとして見せていければ非常に価値があると思う。 影回清清工場はアクセス良くプログラムも魅力的。修学旅行の受入など色々な方面に期待できる。 ・ 最新の清清工場は客様にものすこく、カを入れている。終生北 ハギーを ・ 服教の清末工場は客様にものすこく、カを入れている。終生北 ハギーを利用 に上部 ・ 施設を併設しているなど、市民のすこく、カを入れている。終年北 ハギーを利用 に組み ・ 一部 といった市民が集 う。 一部 といる、東土 ハギーを利用 に組み ・ か型った市民が集 う。 こみ減量を整要する場所としてませい。 ・ 新型った市民が集 、こみ減量を整要する場所としてませい。 ・ 新型ったはたけではわからないことがあり、目で見て理解を深めることが大毒だと思う。 などの資料から見ただけではわからないことがあり、目で見て理解を深めることが大毒だと思う。

意見・提案等

【事業の概要】			[6]	己評価】	※R3~R6を通して Nb.32
事業名	東米里西処理場造成事業				定量的評価(数値あり) 定性的評価(数値なし)
事業内容 (取組内容)	ごみ貯留施設造成の基盤整備を行うための載荷盛土、動態観測を実施す ①載荷盛土工事 ②盛土動態観測業務	施する。	Κ.	スリム目標への貢献	
事業の目的・目標	廃棄物の適正処理を維持するため埋立地容量を確保する。		型		
事業の指 指標1	曹工型	目標			
標 指標2	1	日標	ı		達成状況 ◎ (◎:達成 ○:75%以上 ▲:50%以上 ×:50%未満 -:他
所管課	施設管理課 関係課 一				
【新スリム計画との関わり】			1	[; ; ; ; ; ; ; ; ; ; ; ; ; ; ; ; ; ; ;	
対応するスリム目標(電ナックまな)	_		事事 (E	事業の実施結果 (目的・目標の達成 状況など)	本市発注工事の建設発生土を盛土材として使用し、盛土工事を進めた。 周辺の動態観測を行うことで、工事による影響がないことを確認した。
対応するモニター指標	1				
	施策5 持続可能な収集・処理体制の確立				
施策:中	5-2 埋立地の容量確保				
施策:小	(1) 埋立地の容量確保				
他の施策(番号のみ)	_				
【各年度における具体的な R3	具体的な取組内容とその実績】 数値で示せるものは数値も記載すること 		1011	事業の評価・課題	盛土工事の実施にあたっては、本市発注工事の建設発生土を盛土材として使用することで 経費の削減に努めた。 載荷盛土による地盤沈下が不足していたため、追加の載荷盛土によって沈下を進める。
事業費 全 66,963 千円	①載荷盛土工事 (5.6万㎡) ②盛土動態観測業務				
内 (66,963) 千円					
R 4					
事業費	①載荷盛土工事 (5.42万㎡) ②は土靴館稲割機数		<u>令令</u> (講)	今後の事業方針(課題への対応や事業目)	引き続き、本市発注工事の建設発生土の受入れを行い、貯留施設造成に向けて計画的に盛 + m m f m m n z
会 67,347 手円 (67,347) 手円			標	設置)	上上寺で光隠り む。
កភ					
事業費 71,966 千円	①載荷盛土工事 (5.2万㎡) ②盛土動態観測業務		(美)	懇話会の意見等]	懇話会で意見があった場合のみ記載する
内 (71,966) 千円					

※事業費 上段:小事業全体 下段:実際の事業費 小事業内に関係のない予算がある場合、違う数値となる

①載荷盛土工事 (5.2万㎡) ②盛土動態観測業務

72,040 千円 (72,040) 丰円

₩

事業費

R 6

意見・提案等

【事業の概要】		【自己評価】 ※R3~	※R3~R6を通して		No.33
事業名	白石破砕工場更新事業		定量的評価(数値 3	あり) 定性的評価	面(数値なし)
事業内容 (取組内容)	安定したごみ処理体制を維持するため、昭和55年度から稼働開始し老朽化した篠路破砕工場を白石清掃工場敷地内に白石破砕工場として更新する。	スリム目標への貢献			
事業の目的・目標	篠路破砕工場を更新し、適正なごみ処理体制を維持する。	極			\
事業の指 指標1	自石破砕工場の更新 ー				
	中		達成状況	(◎:達成 〇:75%以上 ▲:50%以上	×:50%未滿 一:他
所管課	施設管理課				
【新スリム計画との関わり】	※数わり】	:			
対応するスリム目標/ョナの(ナル)	埋立処分量の減量目標	事業の実施結果 (目的・目標の達成 状況など)	施設の設計・建設及び維持管理を民間事 和6年9日に特定事業契約を締結した	貧理を民間事業者に包括的に委託するD 5締結した) B O 方式を採用し、令
(販人と)まで)対応するモニター指標					
以 対 対 が が が が が が が が が が が が が	施策5 持続可能な収集・処理体制の確立				
施策:中	5-1 資源循環処理体制の確立				
施策:小	(3) 計画的な処理施設の整備等の検討				
他の施策(番号のみ)) 6-1-(2)				
【各年度における具	【各年度における具体的な取組内容とその実績】 数値で示せるものは数値も記載すること	事業の評価・課題	建設工事については、令和7	については、令和7年度に土木建築工事に着工、令和10 ・	令和10年度の供用開始を予定
۳ ع			しており、 年沙へ してま 計画	国のこのの	
事業費 金 490 千	・生活環境影響調査 ・PPP/PF1導入可能性調査				
	+ 田				
R 4					
事業費	・アドバイザリー業務	今後の事業方針(課題への対応や事業目)	引き締ま、全約10年度の体	会到10年度の供用関始に向けて、計画を進めていく。	
全 25,044 干	F	、一般の設置)です。	,		
内 (25,044) 干	日士				
20					
事業費	- アドバイザリー業務				
17, 380	田田 日 日	【懇話会の意見等】	懇話会で意見があった場合のみ記載す	み記載する	
+ (086,71)	T.				

※事業費 上段:小事業全体 下段:実際の事業費 小事業内に関係のない予算がある場合、違う数値となる

・建設工事(実施設計)

日十 0

₩

事業費

田士 (0)

意見・提案等

【事業の概要】	臣】			【自己評価】	※R3~R6を通	通して	No	No.34
事業名		山本処理場整備費				定量的評価(数値あり)	定性的評価(数値なし)	
事業内容 (取組内容)		山本処理場の機能維持及び埋立容量を確保するため、処理場で稼働する 成整備などを行う。	-る機器の整備や築堤造	提造スリム目標への貢献	高			
事業の目的・	- 世	山本処理場の廃棄物の適正処理が可能となるように処理場で稼働する機 に、埋立地の容量を確保する。	3機器を維持すると	ا ج				
事業の指	指標 1	ı	目標 —					
職	指標2	1	目標			達成状況 ◎ (◎:達成	成 O:75%以上 ▲:50%以上 ×:50%未満 一:他	
所管課		施設整備課 関係課 施設管理課・処理場管理	 等理事務所					
【新スリム計	ム計画との関わり】			=				
対応するスリム目標	1 ム目標	-		事業の実施結果(目的・目標の達成		2地の容量については、常に必要量 544)を計画的に事権した。	埋立地の容量については、常に必要量を確保することが重要であるため、堰堤のかさ上げ (築堤)を計画的に実施した。	ΕŰ
(最大2つまで)	(よ)			状況など)		、だ、 できることに入場のた。こ、 「廃棄物の処理及び清掃に関すれる、 機器の計画的な数 無をもだった。	する法律」に基づいた運転ができるように、処理場で	影で
対応するモニタ	ニター指標	-			※	119 る機なの計画的は発偏を実施し	77.0	
対応施策:大	ע	施策 5 持続可能な収集・処理体制の確立						
施第:	-	5-2 埋立地の容量確保						
施策	施策:小	(1) 埋立地の容量確保						
他の施策(番	(番号のみ)	5-4-(3)						
【各年度にお	3ける具体的な	各年度における具体的な取組内容とその実績】 数値で示せるものは数値も記載すること		重業・別証(単語)		山本処理場の埋立処理が滞りなく受け入れできている	ナ入れできていることから、埋立容量の確保及び処理	祖
R 3				<u> </u>		き核働する機器の計画的な整備が行	T.えたと考える。	
金 事業費	330 千円	山本処理場の下記の整備を実施。 ・築堤造成整備						
(44,3	330) 丰円							
R 4 事業費 会 18,005 内 (18,005)	費 18,005 千円 8,005) 丰田	山本処理場の下記の整備を実施。 ・築堤造成整備		今後の事業方針 (課題への対応や事業目 標の設置)		続き、埋立地の容量を確保すると jな整備を進めていく。	引き続き、埋立地の容量を確保するとともに、処理場で稼働する機器を維持するための計画的な整備を進めていく。	# 6
R 5								
業		山本処理場の下記の整備を実施。 ・伝送設備更新 ・調整槽防水塗装 ・真空温水器更新		【懇話会の意見等】		懇話会で意見があった場合のみ記載する	2	
M (29, 949)	949/ 丰田			<u> </u>				
b 44	貴	山本処理場の下記の整備を実施。 ・補器類更新 ・nss 雑音・htw lf もかぬ		意見・提案等				
,	L + /00'	- 広至休圧上の公はよってある。						

※事業費 上段:小事業全体 下段:実際の事業費 小事業内に関係のない予算がある場合、違う数値となる

(27, 567) 丰円

				【四口評価】 ※R3~	※R3~R6を通した	No.35
Ľ	山口処理場整備費				定量的評価(数値あり) 定性的評価(数値なし)	
1 11	山口処理場の機能維持及び埋立容量を確保するため、処理場で稼働する 成整備などを行う。		機器の更新や築堤造	スリム目標への貢献		
1-	山口処理場の廃棄物の適正処理が可能となるように処理場で稼働する機 に、埋立地の容量を確保する。	- る機器を維持す	持するととも	(本) () ()		
Ľ		日標	ı			
		日	ı		達成状況 ◎ (◎:達成 O:75%以上 ▲:50%以上 ×:50%未満 -	
¥	施設整備課 関係課 施設管理課・処理場管理	易管理事務所				
111						
				事業の実施結果 (目的・目標の達成 状況など)	埋立地の容量については、常に必要量を確保することが重要であるため、堰堤のかさ上げ (築堤)を計画的に実施した。 また、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づいて運転ができるように、処理場で	さ上げ理場で
<u> </u>					稼働する機器の計画的な整備を実施した。	
4	施策 5 持続可能な収集・処理体制の確立					
	5-2 埋立地の容量確保					
	(1) 埋立地の容量確保					
2	5-4-(3)					
7な取	か取組内容とその実績】 数値で示せるものは数値も記載すること			事業の評価・課題	山口処理場の埋立処理が滞りなく受け入れできていることから、埋立容量の確保及び処理 もっな師よる機器の計画がれた数様がなったします。2	び処理
	山口処理場の下記の整備を実施。 ・陸橋橋梁補修				で (本) ぎって (数件 0.7 日) 日 日ご・4 発情 ルンコインにん たら。	
	山口処理場の下記の整備を実施。 ・空間機設置 ・プラント設備改修			今後の事業方針 (課題への対応や事業目 標の設置)	引き続き、埋立地の容量を確保するとともに、処理場で稼働する機器を維持するための計画的な整備を進めていく。	めの計
	山口処理場の下記の整備を実施。 ・受電盤改修 ・6ブロック集水ポンプ現場盤更 ・撹拌機設備更・サ油・1 × 1 × 1 × 1 × 1 × 1 × 1 × 1 × 1 × 1 ×	ti		【中日年〇〇七郎】	88年4人子中日长七二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十	
	JANILY I X-ANI I NOTO: I E INTERIA METERALAMENTE ANTARAM.	₹.		「浴品などあたす」	終品女に思元(**のラに物ロシの記載する	
	山口処理場の下記の整備を実施。 ・第3山口処理場1-4、2-1、2-2回転円板軸受交換 ・第3山口処理場受変電設備更新・高圧分 ・第3山口侵入防止柵補修			意見·提案等		

※事業費 上段:小事業全体 下段:実際の事業費 小事業内に関係のない予算がある場合、違う数値となる

十田

(24, 803)

图

24,803 千円

₩

事業費

【各年度における具体的な取組内容とその実績】

十田

150, 982

₩ 图

事業費

十田

(150, 982)

出田

(7,887)

十田

7, 887

₩ 图

事業費

出田

27, 481

₩

(27, 481)

图

R 6

事業費

他の施策(番号のみ)

施策:小

対応するモニター指標

対応施策:大

施策:中

[事業の概要]

事業名

所管課

指標 2

【新スリム計画との関わり】

対応するスリム目標

(最大2つまで)

指標 1

事業の指標

事業の目的・目標

[事業の概要]						【自己評価】 ※R3~	※R3~R6を通して		
事業名	林・葉・草リサイクル事業						定量的	定量的評価(数値あり	5y)
事業内容 (取組内容)	家庭から排出される枝・葉・草を原料に資源を図る。 ・	#	2を行い、ごみ減量と資源リサイ ②定山渓堆肥化施設での資源化	・資源リサ みでの資源	イクルの推進 化	スリム目標への貢献			
事業の目的・目標	①②市域内一般家庭から発生する* することにより循環型リサイクルを†	から発生する枝・葉・草を原料として堆肥等を生産し、市域内に還元 !リサイクルを推進する。	て堆肥等を	を生産し、	市域内に還元	樫			
事業の指 指標1	林・葉・草処理量			目標	1				
標 指標2	_			目標	1		達成状況	1	(◎:達成 ○
所管課	施設管理課	関係課 循環型社会推進課	推進課						

No.36

定性的評価(数値なし)

家庭から排出される枝・葉・草を資源化 することにより、焼却ごみの減量に一定の 効果があったと考えている。

-- 計

×:50%未渐

〒120%17下

〇:75%以上

スリム目標 家庭から出る廃棄ごみ量の減量目標 セニター指標 - ・大 施策5 持続可能な収集・処理体制の確立 茂:中 5-3 未利用資源の活用の検討 施策:小 (1) 廃棄物の資源化等に向けた調査・研究	【新スリム計画との関わり】	1	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	#
埋立処分量の減量目標 一 施策 5 持続可能な収集・処理体制の確立 5-3 未利用資源の活用の検討 (1) 廃棄物の資源化等に向けた調査・研究	対応するスリム目標	家庭から] 事	事業の実施結果(目的・目標の達成)
	(最大2つまで)	埋立処分		兄など)
施策5 中 5-3 : 小 (1)	対応するモニター指標	ı		
策:中 5-3 施策:小 (1)	対応施策:大	施策 5	・続可能な収集・処理体制の確立	
施策:小 (1)	张	5 – 3	利用資源の活用の検討	
	施策:小	(1)	薬物の資源化等に向けた調査・研究	
他の施策(番号のみ) 一	他の施策(番号のみ)	ı		

山本北地区枝・葉・草資源化ヤード及び定山渓の堆肥化施設で、札幌市内の家庭から排出される枝・葉・草全量を受け入れている。これまで山本北地区における椎肥化試験運用では、ごみ減量に関する定性的評価を実施していたが、今後は事業再構築を行い目標を数値化した上で定量的評価を行うこととしたい。

数値で示せるものは数値も記載すること -係る施設機入量 1,488t 1,502t 1,502t -係る施設機入量 -係る施設機入量 -係る施設機入量 -係る施設機入量 -係る施設機入量 -係る施設機入量 -係る施設機入量 -係る施設機入量 -(係る施設機入量 -(係る施設機入量 -(係る施設機入量 -(係る施設機入量 -(係る施設機入量 -(係る施設機入量	
各年度における具体的な取組内容とその実績】 数値で示せるもの (3) 事業費 (194,929 干円 ②定山渓の堆肥化施設 1,488t (194,929) 干円 ②定山渓の堆肥化施設 1,488t (199,376 干円 ②定山渓の堆肥化施設 1,502t (199,376) 干円 ②定山渓の堆肥化施設 1,502t (199,376) 干円 ②定山渓の堆肥化施設 1,502t (199,376) 干円 ②定山渓の堆肥化施設 1,502t (193,927) 干円 ②定山渓の堆肥化施設 1,659t (1913,927) 干円 ②定山渓の堆肥化施設 1,659t (1913,927) 干円 (213,927) 干円 (213,927) 干円 (214,425) (6) 事業者 (1) (213,927) 干円 (22 施設搬入量 事業者 (1) (213,927) 干円 (22 血渓の堆肥化施設 1,659t (1) (213,927) 千円 (22 血渓の堆肥化施設 1,659t (1) (213,927) (22 血渓の堆肥化施設 1,659t (1) (213,927) (22 血渓の堆肥化施設 1,659t (1) (213,927) (22 血經)	①山本北西と校・渓・早貨源化で一ト 10,0/bt ②定山渓の堆肥化施設 1,601t
事業費 194,929 千円 (194,929) 千円 (194,929) 千円 事業費 199,376 千円 (199,376) 千円 事業費 213,927 千円 (213,927) 千円	232,060 丰円 (232,060) 丰円
A	₩ €

懇話会で意見があった場合のみ記載する

※事業費 上段:小事業全体 下段:実際の事業費 小事業内に関係のない予算がある場合、違う数値となる

が、 でに 間 在 に に に に に に に に に に に に に に に に に	12 %
これまでの山本北地区での試験運用において、当初の課題であった堆肥の品質不安式 排出時に使用されるビニール片の堆肥への混入について、機器導入や処理工程の見直し より、堆肥の品質改善を行ってきた。その結果、堆肥の外部利活用が可能になり、平成 年から市民や市内農家で試験配布全実施している。 しかしながら、堆肥中の除去しきれないピニール片、葉・草と異なる組成のため堆削 に長期時間要する枝の処理等、現システムが抱えている課題が判明している。	当事業は今後も継続するが、これまでの試行運用で得られた知見や現在の課題点を評価・検証を行い、より効果的な資源循環を実現できるよう事業再構築を予定してい
の評価・課題	の事業方針 <u>雪への</u> 対応や事業目 g置)

		【画门評価】 ※R3~	※R3~R6を通して No.37
発寒清掃工場運営管理費			定量的評価(数値あり) 定性的評価(数値なし)
市域内から発生する一般廃棄物(可燃ごみ)及び告示で定める可燃性産する施設であり、当該事業は関係法令等に基づき適正に運営管理する事ま掃工場として設備の自動化を推進するとともに、信頼性・安定性のあるが営管理を目指している。	生産業廃棄物を焼却処理 5事業である。最新の清 5る焼却、効率の良い運	スリム目標への貢献	
市域内から発生する一般廃棄物(可燃ごみ)及び告示で定める可燃性産ョ に基づき適正に処理するため、設備の維持管理、保守点検、修繕を行う。	産業廃棄物を関係法令 う。	赵	
	標		
	横		達成状況 ◎ (◎:達成 ○:75%以上 ▲:50%以上 ×:50%未満 -:他
施設管理課 関係課			
			・廃棄物の燃焼に伴う排ガス等については排出基準値内で適切に処理をした。・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
_		事業の実施結果 (目的・目標の達成 状況など)	タルの17年来が20元年を天祀した。 年間株却量 R3:128,478t、R4:136,219t、R5:132,368t、R6:133,386t ※R6は智定数値 ・廃棄物焼却時のエネルギーを活用し、蒸気タービンで発電して工場の運転に使用すると
I			ともに、余剰電力を売却した。 年間発電量 R3:28,532MMh、R4:29,110MMh、R5:29,931MMh、R6:28,844MMh
施策5 持続可能な収集・処理体制の確立			余剌電力量 R3:14,100MMh、K4:14,605MMh、R5:15,001MMh、R6:14,815MMh ※R6L對完物值
5-1 資源循環処理体制の確立			
(1) 廃棄物エネルギーの有効利用			
5-4-(2)			
お取組内容とその実績】 数値で示せるものは数値も記載すること		事業の評価・課題	工場の1.64/17から約30年が経過1. 芝拓化が推行1.73権器が増加1.7支下1.7名
· 点格整備,保守業務 · 機器修繕 · 部品費用 · 薬品費用			
・電気水温料金その他運転に必要な経費			
・点検整備・保守業務 ・機器修繕 ・部品費用 ・薬品費用 ・電気水道料金 その他運転に必要な経費		今後の事業方針 (課題への対応や事業目 練の設置)	安定的な廃棄物の処理体制を維持するため、点検整備や保守を継続して行っていく。 老朽化してきている機器については、適宜更新を実施していく。
· 点檢整備 · 保守業務 · 機器修繕			
・部品費用 ・薬品費用 ・電気水道料金 その他運転に必要な経費		【懇話会の意見等】	懇話会で意見があった場合のみ記載する
· 点檢整備·保守業務 · 機器修繕 · 部品費用 · 薬品費用 · 薬品資料金 · 東島資料金 · 東島資料金		意見・提案等	

小事業内に関係のない予算がある場合、違う数値となる 下段:実際の事業費 ※事業費 上段:小事業全体

H H

(881, 506)

€ ₩

十田

881, 506

事業費

【各年度における具体的な取組内容とその実績】

他の施策(番号のみ)

十田 出出

720, 579

₩ 图

(720, 579)

事業費

出田

(806, 703)

图

十

806, 703

₩

事業費

出田

(816, 842)

€

十田

816,842

事業費

対応するモニター指標

対応施策:大

(最大2つまで

施策:中

施策:小

[事業の概要]

事業名

指標 2 指標 1

事業の指標 所管課 [新スリム計画との関わり]

対応するスリム目標

四

事業の目的・

【事業の概要】		【自己評価】 ※R3~	※R3~R6を通した	No.38
事業名	駒岡清掃工場運営管理費		定量的評価(数値あり)	評価(数値なし)
事業内容 (取組内容)	市域内から発生する一般廃棄物(可燃ごみ)及び告示で定める可燃性産業廃棄物を焼却処理する施設であり、当該事業は関係法令等に基づき適正に運営管理する事業である。最新の清掃工場として設備の自動化を推進するとともに、信頼性・安定性のある焼却、効率の良い運営管理を目指している。	スリム目標への貢献		
事業の目的・目標	市域内から発生する一般廃棄物(可燃ごみ)及び告示で定める可燃性産業廃棄物を関係法 令に基づき適正に処理するため、設備の維持管理、保守点検、修繕を行う。	極		
事業の指 指標1				
標 指標2			達成状況 ◎ (◎:達成 ○:75%以上 ▲:50%以上	以上 ×:50%未満 一:他
所管課	施設管理課 関係課		・廃棄物の燃焼に伴う排ガス等については排出基準値内で適切に処理をした。	に処理をした。
【新スリム計画との関わり】))	E 177 177 177 177 177 177 177 177 177 17	・安定的に廃棄物の処理を実施した。 在間体やも PD:115 2014 D4:117 2014 DE:116 2074 D6:115 76:14	100.116
対応するスリム目標	1	事業の実施結果 (目的・目標の達成 状況など)	70. 110, 927L, N	1 - - - - - - -
(販人としおで) 学校学とサーターお面			ーアン穴 郑嵩し	. て工場の運転に使用すると
凶応9のモーダー指標対応施策:大	施策5 持続可能な収集・処理体制の確立		年間発電量 R3:22,136MML, R4:21,145MML, R5:21,248MML, R6 余剰電力量 R3:8,603MML, R4:7,786MML, R5:8,026MML, R6	R6:22,007MWh R6: 8,715MWh
施策:中	5-1 資源循環処理体制の確立		※R6は暫定数値	
施策:小	(1) 廃棄物エネルギーの有効利用			
他の施策(番号のみ)	5-4-(2)			
【各年度における具体的な取組内容とその実績】	t取組内容とその実績】 数値で示せるものは数値も記載すること	軍業の評価・課題	老朽化により駒岡清掃工場の更新が行われた。旧工場は令和7年 工場は会和7年4日から試電転間始 8月に供用闘始とかる。	年3月で受入を停止し、新
R3 事業費	務		更新後も引き続き安定したごみ処理体制を維持する必要がある。	•
会 935, 734 千円 内 (935, 734) 千円	・Pindig Iri ・薬品費用 ・電気水道料金 その他運転に必要な終費			
事業費 全 1,008,845 千円	· 運転委託費用 · 点族整備· 保守業務 · 機器修繕 · 部品費用 · 薬品費用 · 薬品費用	今後の事業方針 (課題への対応や事業目標の設置)	安定的な廃棄物の処理体制を維持するため、運転状況のモニタリく。	運転状況のモニタリングを継続して行ってい
事業費 1,106,262 千円	· 点核整備· 保守業務 · 機器修繕 · 部品費用 · 班品費用	【懇話会の意見等】	懇話会で意見があった場合のみ記載する	
内(1,106,262) 千円	・ 楽の見か ・ 電気水道料金 その他運転に必要な経費			
R6 事業費 全 864,628 干円 内 (864,628) 干円	・運転委託費用 ・点核整備・保守業務 ・機器修繕 ・部品費用 ・薬品費用 ・電気水道料金 その他運転に必要な終費	意見·提案等		

下段:実際の事業費 小事業内に関係のない予算がある場合、違う数値となる ※事業費 上段:小事業全体

(1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	1			【自己評価】 ※K3~	※R3~R6を通して 			1	No.39
「	白石清掃工場運営管理費			1	定量的計	F価(数値あり	<u> </u>	定性的評価(数値なし)	
国際課題 (1942年) 別化金元で含むの高機性変換 (1942年) 1942年 1	3から発生する一般廃棄物(可燃ごみ)及び告示で定める可燃 5段であり、当該事業は関係法令等に基づき適正に運営管理す 3として設備の自動化を推進するとともに、信頼性・安定性の 2を目指している。	性産業廃棄 る事業であ ある焼却、	物を焼却処理る。最新の清 る。最新の清 効率の良い運	スリム目標への貢献					
関係語	-般廃棄物(可燃ごみ)及び告示で定める可 するため、設備の維持管理、保守点検、修繕	筆業廃 う。	物を関係法令	赿		\			
関係課		目標	ı						
関係課		目標	ı		達成状況		:達成 〇	▲:50%以上 ×:50%未満	争
**安定的に廃棄物の処理を実施した。	施設管理課 関係課				・廃棄物の燃焼に	伴う排ガス等	については排出乳	基準値内で適切に処理をした。	
(大道か) 1 標準的 (大道か) 1 標の (大道か) 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1				事業の実施結果	·安定的C廃棄物 年間焼却量 R3	の処理を実施 ::189,448t、R	ال <i>لاد</i> ة (4:181, 475t、R5:	188,000t, R6:192,242t	
(2) (2) (2) (2) (2) (3) (3) (4) (4) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4				(目的・目標の達成 状況など)	※Kol式智元致信息 多种基本的工具	₩ 1 = 1	许 斯	3.光とは過少 早14 一曲など、ど	۲ ۱۲
12世体制の確立 条射電 万量 R3:64,379mm, 科:63. 52世体制の確立 ※R6は程定数値 32世体制の確立 ※R6は程定数値 25世体制の確立 事業の評価・課題 25世体制の確立 事業の評価・課題 25世体制の確立 本語の正式を表現できたいる機構する機構 25世内な廃棄物の処理体制を維持する機関 表行してきている機器については、 25世内な廃棄物の処理体制を維持する機関 表行してきている機器については、 25世内な廃棄物の処理体制を維持する機関 表行してきている機器については、 25世内な廃棄物の処理体制を維持する機関 表行してきている機器については、 25世内な廃棄物の処理体制を維持する機関 表行してきている機器については、 25世内な廃棄物の処理体制を維持する機関 表行してきている機器については、 25世内な廃棄物の処理体制を維持する機関 表行してまている機器については、					・発業物院が再のともに、余剰電力を開発事品を開発を開発を開発を	イトケイーのかませいかいます。301~30000 5	- 水水水・ボガル- - 水水・ボカ・ボカル・ ボカ・ Win Bring Br	ーヒノぐ発電して土場の連転に使用 25.80 07.3MWh - R6.01 05.3MWh	% 0 0
1理体制の確立 ※Krols智定数値 ************************************	持続可能な収集・処理体制の確立				不利用的电量 KS XX	:64, 379MMh.	R4:63,967MWh, R	2, 657MMh,	
株養 事業の評価・課題 工場のしゅん功から約20年が経過し、 事業の評価・課題 株養 本行化してきている機器については、 標の設置) 株養 本行化してきている機器については、 機器 株養 (課話会の意見等) 懇話会で意見があった場合のみ記載する 株養 意見・提案等	資源循環処理体制の確立				※K6Iな暫定致値				
数値で示せるものは数値も記載すること 事業の評価・課題 工場のしゅん功から約20年が経過し、 経費 今後の事業方針 安定的な廃棄物の処理体制を維持する 経費 本朽化してきている機器については、 務 意見・提案等 意見・提案等 意見・提案等	廃棄物エネルギーの有効利用								
数値で示せるものは数値も記載すること 事業の評価・課題 工場のしゅん功から約20年が経過し、 経費 今後の事業方針 安定的な廃棄物の処理体制を維持する 経費 老朽化してきている機器については、 経費 意見・提案等 施費 (製造会の意見等) 懇話会で意見があった場合のみ記載する 施費									
格費 今後の事業方針 安定的な廃棄物の処理体制を維持する (課題への対応や事業目 (課題への対応や事業目 (課題への対応や事業目 (課話会の意見等) 老朽化してきている機器については、 を養養 務 意見・提案等 意見・提案等	数値で示せるものは数値も記載するこ			事業の評価・課題	工場のしゅん功か	こ約20年が終		単行 している機器が増加してきてい	, c
今後の事業方針 (課題の対応や事業目 を行化してきている機器については、適宜更新を実施していく。 をお化してきている機器については、適宜更新を実施していく。 (認話会の意見等) 懇話会で意見があった場合のみ記載する	整備,保守業務 移繕 費用								,
今後の事業方針 (課題への対応や事業目 港の設置) 港が化してきている機器については、適宜更新を実施して行っていく。 とお作してきている機器については、適宜更新を実施していく。 を記録をの意見等) 懇話会で意見があった場合のみ記載する	費用 水道料金 運転に必要な経費								
[懇話会の意見等]	整備·保守業務 修繕 費用 費用 大道料金 東転に必要な経費			今後の事業方針 (課題への対応や事業目 練の設置)	安定的な廃棄物の 老朽化してきてい	処理体制を維る機器にしい	持するため、点材 いては、適宜更新さ	交聲 備や保守を継続して行っていくを実施していく。	0
	整備·保守業務 修繕 費用 費用 水道料金			【懇話会の意見等】	懇話会で意見があ-	った場合のみ言	己載する		\neg
費用 水道料金 運転に必要な経費	里転に必安な栓貨 整備・保守業務 香籍 費用								
	費用 水道料金 運転に必要な経費								

小事業内に関係のない予算がある場合、違う数値となる 下段:実際の事業費 ※事業費 上段:小事業全体

H H

(1, 490, 455)

十田

1, 490, 455

₩ €

事業費

【各年度における具体的な取組内容とその実績】

他の施策(番号のみ)

十田 \mathbb{H}

1, 166, 523

₩ €

(1, 166, 523)

事業費

十田

(1, 437, 512)

十

1, 437, 512

₩ 图

事業費

出出

(1, 447, 977)

м В

十田

1, 447, 977

₩ K

事業費

対応するモニター指標

対応施策:大

(最大2つまで

施策:中

施策:小

事業の目的・目標

事業内容 (取組内容)

所管課

指標 2

[新スリム計画との関わり]

対応するスリム目標

指標 1

事業の指標

[事業の概要]

事業名

	【画口單值】 ※K3~	※K3~K6を通して 定量的評価(数値あり) 定性的評価(数値な	No.40
ı	スリム目標への貢献度	数値では示せないが、本事業により、埋立 処分量の減量に一定の効果があったと考え ている。	こより、埋立 5ったと考え
1		達成状況 ◎ (◎:達成 ○:75%以上 ▲:50%以上 ×:50%未満	西 - : 市
	事業の実施結果 (目的・目標の達成 状況など)	発寒清掃工場の焼却処理及び破砕工場の破砕処理により、廃棄物の容量が減量されることから、発寒清掃工場及び破砕工場の安定した運転が維持できる計画的な整備を実施した。	量されるに 備を実施し
	事業の評価・課題	計画的な整備により、 炼却処理及び破砕処理を継続できていることから、発寒清掃工場 及び破砕工場の効果的な整備が行えたと考える。	寒清掃工場
	今後の事業方針 (課題への対応や事業目 標の設置)	引き続き、発寒清掃工場及び破砕工場の安定した運転を継続するため、計画的な整備を進めていく。	的な整備を
	【懇話会の意見等】	懇話会で意見があった場合のみ記載する	
	善		
123			

※事業費 上段:小事業全体 下段:実際の事業費 小事業内に関係のない予算がある場合、違う数値となる

発寒清掃工場並びに破砕工場の下記設備について更新及び整備を実施。 ・電気設備 ・建築設備 ・燃焼ガス冷却設備 ・灰出し設備 ・破砕設備 ・昇降機設備 ・熱回収設備

1,502,276 千円

₩

事業費

十田

(1, 502, 276)

K

他の施策(番号のみ)

施策:小

施策:中

発表清掃工場並びに破砕工場の下記設備について更新及び整備を実施。 ・電気設備 ・建築設備 ・燃焼ガス冷却設備 ・排ガス設備 ・灰出し設備 ・ごみ受け入れ設備 ・破砕設備 ・搬出設備

出

1, 451, 086 (1, 451, 086)

₩

事業費

十田

数値で示せるものは数値も記載する

【各年度における具体的な取組内容とその実績】

計画的な処理施設の整備等の検討

持続可能な収集・処理体制の確立 資源循環処理体制の確立

諸 第5 5-1 (3)

対応するモニター指標

対応施策:大

埋立処分量の減量目標

【新スリム計画との関わり】

対応するスリム目標

(最大2つまで

発寒清掃工場並びに破砕工場の下記設備について更新及び整備を実施。 ・電気設備 ・建築設備 ・燃焼ガス冷却設備 ・灰出し設備 ・破砕設備

干田

1, 408, 396

₩

事業費

出田

(1, 408, 396)

€

発寒清掃工場並びに破砕工場の下記設備について更新及び整備を実施。 ・電気設備 ・建築設備 ・燃焼ガス冷却設備 ・灰出し設備 ・破砕設備 ・搬送設備 ・選別設備

十田

1, 502, 276

₩

事業費

十田

(1, 502, 276)

発寒清掃工場並びに破砕工場の処理能力をより一層効果的・効率的に維持す

回補

事業の目的・

事業内容 (取組内容)

発寒清掃工場並びに破砕工場の処理能力を維持するための整備を行う。

発寒清掃工場整備費

[事業の概要]

事業名

回顧

発寒清掃工場

関係課

施設整備課

1 1

指標 1 指標 2

所管課

事業の指

輔

【事業の概要】	叛要 】			【自己評価】 ※R3~	※R3~R6を通して	No.41
事業名		駒岡清掃工場整備費			定量的評価(数値あり)	定性的評価(数値なし)
事業内容 (取組内容)		駒岡清掃工場並びに破砕工場の処理能力を維持するための整備を行う	ار د	スリム目標への貢献	数値では示す	せないが、本事業により、埋立
事業の目的	分・ 回標	稼働停止まで、駒岡清掃工場並びに破砕工場の処理能力をより一層効果的 る。	果的・効率的に維持す	(世)	が重の減量 ている。	処分重の減重に一定の効果かあったと考えている。
事業の指	指標 1	ı	目標 —			
w	指標 2	I	目標		達成状況 ◎ (◎:達成 ○:75%以上 ▲:5	▲:50%以上 ×:50%未満 一:他
所管課		施設整備課 開保課 駒岡清掃工場				
【新スリム	【新スリム計画との関わり】			 		
対応するこ	対応するスリム目標	埋立処分量の減量目標		事業の実施結果(目的・目標の達成はつかだ)	駒岡清掃工場の焼却処理及び破砕工場の破砕処理により、廃棄物の容量が減量されること から、今和6年の移働停止主で駘岡浩掃工場及が破砕工場の安定「企動が維持できる計	廃棄物の容量が減量されること場の安定した運転が維持できる計
(最大2つまで)	つまで)			/ J & / J / J / J / J / J / J / J / J /	がら、では、大学を記すせている。これには、これのでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	こうし、こは、さればしてくない。
対応するモニタ	モニター指標	1				
対応施策:大	K	施策5 持続可能な収集・処理体制の確立				
施争	施策:中	5-1 資源循環処理体制の確立				
力	施策:小	(3) 計画的な処理施設の整備等の検討				
他の施策	(番号のみ)	1				
【各年度	こおける具体的な	(各年度における具体的な取組内容とその実績】 数値で示せるものは数値も記載すること		事業の評価・課題	計画的な整備により、焼却処理及び破砕処理を継続できているが、全体的な設備の老朽化 +当はこれだいこしれに、事業終7%。記庫ほをのもおのる管跡は必得部にあるこ	こいるが、全体的な設備の老朽化る 音楽の ままり
8					4対 24/44、 日ごこ・中米於一夜、以浦宋王の/28/90	7.7.4.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.
	事業費	(令和元年で事業終了)				
<h+ td="" €<=""><td>1 EE H</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></h+>	1 EE H					
7 A						
	車業毒			今後の事業方針		
₩	田十二	- (令和元年で事業終了)		(課題への対応や事業目標の設置)	令和元年度で事業終了。	
长	日十一					
ឧ						
	事業費	(令和元年で事業終了)				
				【懇話会の意見等】	懇話会で意見があった場合のみ記載する	
	E #					
8 0 1						
4	事業費工品	(令和元年で事業終了)		意見·提案等		
· H	- E +					

※事業費 上段:小事業全体 下段:実際の事業費 小事業内に関係のない予算がある場合、違う数値となる

千円千円

∜H

【事業の概要】		【自己評価】 ※R3~R6を通	86を通して	No.42_
事業名	白石清掃工場整備費		定量的評価(数値あり)	定性的評価(数値なし)
事業内容 (取組内容)	白石清掃工場並びに篠路破砕工場の処理能力を維持するための整備を行う。	スリム目標への貢献		数値では示せないが、本事業により、埋立 mハーの 沖里に、一つか知がまって、上本コ
事業の目的・目標	白石清掃工場並びに篠路破砕工場の処理能力をより一層効果的・効率的に維持する。	囤		処分軍の減重に一たの効未かめつにころ 入ている。
事業の指 指標1				
	l m		達成状況 ③ (◎:達成 O:7	:75%以上 ▲:50%以上 ×:50%未満 一:他
所管課	施設整備課 関係課 白石清掃工場			
【新スリム計画との関わり】		:		
対応するスリム目標	埋立処分量の減量目標	事業の実施結果(目的・目標の達成はおった。	白石清掃工場の焼却処理及び篠路破砕工場の破砕処理により、)	破砕処理により、廃棄物の容量が減量される
(最大2つまで)		大活なと)	ことから、白石清掃工場の安定した運転が維	整備を実施
対応するモニター指標	1			
対応施策:大	施策5 持続可能な収集・処理体制の確立			
施策:中	5-1 資源循環処理体制の確立			
施策:小	(3) 計画的な処理施設の整備等の検討			
他の施策(番号のみ)				
各年度における	具体的な取組内容とその実績】 数値で示せるものは数値も記載すること	事業の評価・課題	計画的な整備により、焼却処理及び破砕処理 は、施設の稼働から23年が経過し、全体的には、 は、第一次を開から23年が経過し、全体的に	り、焼却処理及び破砕処理を継続できているが、白石清掃工場についてら23年が経過し、全体的に老朽化が進んでいるうえ、他の工場にはない。
ж ж			设備か多数あ	ろもん
事業費	白石清掃工場の下記設備について更新及び整備を実施。 ・・燃焼設備 ・ ごみ受け入れ却設備 ・ 建築設備			
_	・計量設備・空調設備・ロードヒーティング設備			
内 (524, 797) 千円				
R 4	白石清掃工場の下記設備について再新及び整備を実施。	:	白石清掃工場の建替えは多大な経費を要する。	ため、可能な限り延命化する必要がある。
事業費	· 灰出し設備 1.3.58.4.3 小乾油 一种慈致佛 十十轮 十十轮 计	今後の事業方針(課題への対応や事業目)	引き続き、白石清掃工場の安定した運転の継行を計画的な数様を発みアパイ	、白石清掃工場の安定した運転の継続と延命化のため、特殊設備の更新等についられた整体を進みました。
702, 656	・このタン人も改備・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	標の設置)	に、引回的/4至頃で年のしいへ。 また、篠路破砕工場は令和2年度で事業終了。	0
വ	- ロアギロト 古の下げ 皆 はっこう 田井 ロップ 単名 中華 日の 一手 はっぽん アン・エル・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・			
事業費 426 456 千田	- ゴンゴは十多2~に改善し、人名グスク 逆属 6 大声。 - 「抗力政備 ・ 機が改備 ・ 機が改備 ・ ・ 神教改物 ・ ・ ・ 神教改物 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	¥	十非品,300年,4年日本子	
(426, 456) 干			窓記式に息児かめつに場合のか記載する	
(201 (241)				

※事業費 上段:小事業全体 下段:実際の事業費 小事業内に関係のない予算がある場合、違う数値となる

白石清掃工場の下記設備について更新及び整備を実施。 ・焼却設備 ・建築設備 ・排ガス処理設備

1,626,858 丰円 (1,626,858) 千円

₩ 图

事業費

意見・提案等

【事業の概要】				【自己評価】 ※R3~	※R3~R6を通して	No.43
事業名	仮称)北部事業予定地・公有財産購入費(用地取得費及び調査・対	対策費含む)			定量的評価(数値あり)	定性的評価(数値なし)
事業内容 (取組内容)	①基金地の所管替 ②水道局所管地の所属替 ③建設局所管地の所管検 ④環境保全措置等					
事業の目的・目標	仮称)北部事業予定地の将来の造成に備えて、予定地内の他部局が所管する 属替・所管拠を実施する。 また、環境影響評価書の結果に基づき仮称)北部事業予定地における環境保 討を進め、最終処分場の造成を進める。	バ所管する用 ナる環境保全	用地について所 全措置方法の検	スリム目標への貢献度		
事業の指 指標1	1	日標	ı			
標 指標2	1	目標	ı		達成状況 ◎ (◎:達成 O:78	:75%以上 ▲:50%以上 ×:50%未満 一:他
所管課	施設管理課 関係課					
【新スリム計画との関わり】	99]			 		
対応するスリム目標	ı			事業の実施結果 (目的・目標の達成	仮称)北部事業予定地の将来の造成に備えて、	事業予定地の将来の造成に備えて、予定地内の他部局が所管する用地につい
(最大2つまで)				状況など)	て、所属替・所管換を進めることができた。	
対応するモニター指標	-					
対応施策:大	施策5 持続可能な収集・処理体制の確立					
施策:中	5-2 埋立地の容量確保					
施策:小	(1) 埋立地の容量確保					
他の施策(番号のみ)	_					
【各年度における具体的	具体的な取組内容とその実績】 数値で示せるものは数値も記載すること			事業の評価・課題	埋立用地の取得及び環境保全措置方法の検討を進めることで、 が当時やにできず、レキュア	を進めることで、将来のごみ埋立容量の確保
R3					が訂画的に打んにこんんの。	
事業費	用地の所属等,所管機を計画的IC実施環境保全措置検討業務(猛禽類調查)を実施					
(121, 921) ∓						
R 4						
事業費 411,837 千円	用地の所属替・所管換を計画的に実施 環境保全措置検討業務(猛禽類調査)を実施			今後の事業方針 (課題への対応や事業目標の設置)	今後も、仮称)北部事業予定地の用地の取得を計画的に進め、 る。	を計画的に進め、ごみ埋立用地の確保に努め
内 (411,837) 千円						
R5						
事業費 全 409,932 千円				【報託会の音目等】	黎軠会で音目 があった 場合のみ記載する	
á				で 1/4/1/4 M H 4/4	うちな へうじょう シノニング コンジニロも ノラ	

※事業費 上段:小事業全体 下段:実際の事業費 小事業内に関係のない予算がある場合、違う数値となる

用地の所属替・所管換を計画的に実施

417,561 千円 (417, 561) 千円

₩

事業費

(409,932) 千円

K

意見・提案等

[事業の概要]			【自己評価】	※R3~R6を通して	7			No.44
事業名	仮称)北部事業予定地一般廃棄物最終処分場造成費				定量的評価(数値あり	(ሰዌ]	定性的評価(数値なし)	
事業内容 (取組内容)	ごみ貯留施設造成を行うための基盤整備、載荷盛土、動態 ①基盤整備等工事 ②載荷盛土工事 ③盛土動態観測業務	動態観測を実施する。	<u>.</u>	<u>.</u>				
事業の目的・目標	廃棄物の適正処理を維持するため埋立地容量を確保する。		大リム日標への貢献を (英) 大川					
事業の指 指標1	-	目標						
標 指標2	_	目標	ı	達成状況	状況 ○	(◎:達成 O:75%	(◎:達成 〇:75%以上 ▲:50%以上 ×:50%未満 一:他	- :
所管課	施設管理課 関係課							

【新スリム計画との関わり】	[# * * * *
対応するスリム目標	ı		事業の実施結果 (目的・目標の達成)
(最大2つまで)	環境保全	全措置検討業務(猛禽類調査)を実施	状況など)
対応するモニター指標	1		
対応施策:大	施策 5	持続可能な収集・処理体制の確立	
施策:中	5-2	埋立地の容量確保	
施策:小	(1)	埋立地の容量確保	
他の施策(番号のみ)	1		

仮称)北部事業予定地の将来の造成に備えて、予定地内の基盤整備等を進めることができ た。

	事業の評価・課題
世の施策(番号のみ) -	 各年度における具体的な取組内容とその実績 数値で示せるものは数値も記載すること

					業 方金	、味噌へのどうでも来日様の設置)				【懇話会の意見等】 🦠			意見・提案等	
		I			①基盤整備工事のものは、一般を表現しています。	心™八旦妇至哺二事 ③環境保全措置検討業務(猛禽類調査)			①基盤整備工事の過去に要しています。	心版人追饵歪備工事 ③環境保全措置検討業務(猛禽類調査)			①載荷盛土工事	②環境保全措置検討業務(猛禽類調査)
	事業費	十	田井		事業費	356,350 千円	(356,350) 丰円		事業費	221, 672 千円	(221,672) 丰円		事業費	331.438 丰田
ღ ლ		∜ H	图	Д 4		∜ H	玉	R D		₩	区	8		₩

今後も、仮称)北部事業予定地の基盤整備等工事を計画的に進め、ごみ埋立用地の確保に 努める。

今後盛土工事を行ううえで必要な基盤整備及び搬入路工事をを進めることで、将来のごみ 埋立容量の確保が計画的に行えたと考える。

下段:実際の事業費 小事業内に関係のない予算がある場合、違う数値となる ※事業費 上段:小事業全体

331,438 丰円 (331,438) 丰円

【事業の概要】		【自己評価】 ※R3~	※R3~R6を通して No.45
事業名	埋立用地管理費		定量的評価(数値あり) 定性的評価(数値なし)
事業内容 (取組内容)	こみ埋立用地として取得済の用地について、将来造成に着手するまでの維持管理(草刈り等)を行う。	スリム目標への貢献	
事業の目的・目標	造成に着手するまでの期間、用地の適正管理を行う。	世	
事業の指 指標1			
標 指標 2	2 - 目標 -		建成状況 ◎ (◎:達成 O:75%以上 ▲:50%以上 ×:50%未満 -:他
所管課	施設管理課 関係課		
【新スリム計画との関わり】	の関わり】	F	
対応するスリム目標	制化	事業の実施結果 (目的・目標の達成 はごかご	"这样,我没有不不不不得一定,一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一
(最大2つまで)		状況など)	この年上午地CCC投行の石地について、有不道の17月ナッのまたの権は官姓(年2月))を行った。
対応するモニター	一指標 — — — — — — — — — — — — — — — — — — —		
対応施策:大	施策5 持続可能な収集・処理体制の確立		
施策:中	5-2 埋立地の容量確保		
施策:小	(1) 埋立地の容量確保		
他の施策(番号のみ)	<i>ት</i>)		
【各年度における」	【各年度における具体的な取組内容とその実績】 数値で示せるものは数値も記載すること 0.3	事業の評価・課題	ごみ埋立地の造成着手までの期間、用地の適正な維持管理を行うことで円滑な埋立地造成 につながるものである。
事業費 1, 708			
(1,708)	千円		
R 4 事業費		今後の事業方針 (課題への対応や事業目 標の設置)	今後も、埋立用地の適正な維持管理を行う。
22			
事業費 全 2, 795 内 (2, 795)	年日 埋立用地の適正な管理のため草刈業務等を実施 千円 千円	【懇話会の意見等】	懇話会で意見があった場合のみ記載する

※事業費 上段:小事業全体 下段:実際の事業費 小事業内に関係のない予算がある場合、違う数値となる

埋立用地の適正な管理のため草刈業務等を実施

3,395 丰円 (3,395) 丰円

₩ €

事業費

意見・提案等

【事業の概要	臣】						【自己評価】 ※	R3~R(※R3~R6を通して	
事業名		事業者の脱炭素活動推進費 ※旧さ	っぽろサス	※旧さっぽろサステナブルライフ推進費	隻費				定量的評	五
事業内容 (取組内容)		環境に配慮した取組を自主的に行ってUの3段階で登録し、その取組内容を広くコメンパー登録制度」を実施している。	ている事 5く 市民等	いる事業所を本市独自の基準により、 く市民等に市PPなどを通じて紹介する。 。	≝により、 ご紹介する	レベル 1~3 「さっぽろエ	スリム目標への貢			
事業の目的・	・日標	「さっぽろエコメンバー」の登録及びその取組の市民等への周知により、廃棄物の排出抑制等、事業者の環境に配慮した取組を促進する。	バその取約 を促進する	狙の市民等への周知に 5。	こより、廃	乗物の排出抑	樫			
事業の指	指標 1	1			日標	ı			\	
世	指標2	1			目標	ı			達成状況	
所管課		環境政策課	関係課	_						

「さっぽろエコメンバー」に登録することで、事業所からのごみの排出抑制等の取組が進むなど、環境に配慮した取組への勤機が進むなり、「スリム目標(ごみ排出量の減量等)」に一定程度等与していると考える。

| |-|新

×:50%未満

50%以上

₹

75%以上 0

(◎:達成

1

(R1~R6登録事業所数平均:

509件) 466件) 464件) 577件) 529件) 525件)

227777 2222222 22222222

登録件数は年によって増減があるが、毎年2,000年程度(RI 2,006年)で推移している。 RI 年度: 2,1824年(レベル1: 9794年、レベル2: 694年、フベ R2 年度: 1,824年(レベル1: 816年、レベル2: 554年、レベ R3 年度: 1,934年(レベル1: 769年、レベル2: 5703年、フベ R3 年度: 2,034年(レベル1: 767年、レベル2: 730年、レベ R5 年度: 2,019年(レベル1: 767年、レベル2: 730年、レベ R5 年度: 2,019年(レベル1: 757年、レベル2: 730年、フベ R6 年度: 2,001年(レベル1: 757年、レベル2: 730年、フベ

No.46

定性的評価(数値なし)

価(数値あり)

【新イリム計画との関わり	1,		田
対応するスリム目標	田井をご	ごみ排出量の減量目標	事業の表施結果 (目的・目標の達成
(最大2つまで)	廃棄ごみ	廃棄ごみ量の減量目標	状況など)
対応するモニター指標	ı		
対応施策:大	施策 1	2Rを推進するためのしくみづくり	
施策:中	1 — 1	ごみ発生・排出抑制のための行動の実践	
施策:小	(2)	事業者と連携した簡易包装等の推進	
他の施策(番号のみ)	1		

【新スリム計画との関わり】

<u>~</u>	(各年度における具体的な取組内容とその実績)	3取組内容とその実績】 数値で示せるものは数値も記載すること	事業の評価・課題
R S	3		
	事業費	・「さっぽろエコメンバー」登録事業所数:1,936件。 ・取組実施項目「廃棄物の排出抑制」または「廃棄物の分別・リサイクルの実施」を選択	
	全 4,497 千円	した登録事業所数:1,120件。	
	内 (153) 千円		
ď	4		
	事業費	・「さっほろエコメンバー」登録事業所数:2,0/4件。 ・取組実施項目「廃棄物の排出抑制」または「廃棄物の分別・リサイクルの実施」を選択	型
	全 4,529 千円	した登録事業所数:1,412件。	(課題への対応や事業目標の設置)
_	内 (206) 千円		
ŭ	5		
	事業費	・「さっほろエコメンバー」登録事業所数:2,019件。 ・取組実施項目「廃棄物の排出抑制」または「廃棄物の分別・リサイクルの実施」を選択	
	3,936 千円	した登録事業所数:1,360件。	【懇話会の意見等】 湯
	内 (200) 千円		
ŭ	9		
	事業費	・「さっぽろエコメンバー」登録事業所数:2,001件。 死命もかなら「存弃がらせいにね」・ナイン「存弃がらべい」・コント・の合称・ナミむ	意見・提案等
	全 64,974 千円	・収档表施項目「廃業物の採口抑制」または「廃業物の分別・リケイクルの美施」を送択した登録事業所数:1,324件。	
	内 (112) 千円		

小事業内に関係のない予算がある場合、違う数値となる 下段:実際の事業費 ※事業費 上段:小事業全体

懇話会で意見があった場合のみ記載する 会の意見等】 提案等

さっぽろエコメンバーには3年間の登録有効期限がある中、近年の登録事業所数は2,000件程度を維持しており、環境配慮に係る取組が一定程度継続して実施されている。

事業を継続し、未登録事業者への周知・PR方法の改善を検討していくことで、環境に配慮した事業者の取組の輪をさらに広げていく。

(自己評価) ※R3~R6を通して 定量的評価(数値あり) 定性的評価(数値なし)	スリム目標への貢献度	達成状況 ③ (◎ : 達成 O : 75%以上 ▲ : 50%以上 × : 50%未満 - : 他	事業の実施結果 「札幌市グリーン購入ガイドライン」対象品目、判断基準等の見直しを毎年度実施し、 (目的・目標の達成 取組を推進した。 状況など) 各局区は、物品および役務の調達時の仕様書に「札幌市グリーン購入ガイドライン」の	記載を入れることで、グリーン物品の調達を実施している。		 事業の評価・課題 今後も継続して取組に努める。		今後の事業方針 (課題への対応や事業目 第の設置) 第の設置)	 懇話会の意見等] 懇話会の意見等] 懇話会で意見があった場合のみ記載する	·提案等
市有施設の省工ネ等推進費 本市が率先して環境負荷の低減に資する物品及び役務の優先的な調達を推進するため「札 幅市ガリーン課3 ガブドラブン、な中か、 布年年目前 と かって 1.2	一部の対象品目について、EMS規定に基づき前年度の調達率の実績を収集する。 ち針に「環境負荷の少ない製品やサービスを利用」することを掲げ、本市における物よび役務の調達において、グリーン購入を推進する	一 目標 一 環境エネルギー課 関係課 一		一 施策1 2Rを推進するためのしくみづくり 1-1 ごみ発生・排出抑制のための行動の実践	(4) 環境配慮型製品購入などの促進に向けた取組 -	な取組内容とその実績】 数値で示せるものは数値も記載すること	国が定める環境物品等の調達の推進に関する基本方針の改定内容を参考に、「札幌市グリーン購入ガイドライン」対象品目、判断基準等の見直しを実施した。 EMS規定に基づく調達率の集計は、新型コロナウィルス感染症に伴う業務縮小の一環として中止した。	国が定める環境物品等の調達の推進に関する基本方針の改定内容を参考に、「札幌市グリーン購入ガイドライン」対象品目、判断基準等の見直しを実施した。 EMS規定に基づく調達率の集計は、新型コロナウィルス感染症に伴う業務縮小の一環と して中止した。	国が定める環境物品等の調達の推進に関する基本方針の改定内容を参考に、「札幌市グリーン購入ガイドライン」対象品目、判断基準等の見直しを実施した。 EMS規定に基づく調達率の集計は、新型コロナウィルス感染症に伴う業務縮小の一環として中止した。	国が定める環境物品等の調達の推進に関する基本方針の改定内容を参考に、「札幌市グリーン購入ガイドライン」対象品目、判断基準等の見直しを実施した。 一部の対象品目について、EMS規定に基づき前年度の調達率を集計した。 (前年度(2023年度)調達率集計値:94.6%)

【新スリム計画との関わり】

対応するスリム目標

(最大2つまで)

指標.

事業の指

回補

名

事業の目

指標2

所管課 輔

事業内容 (取組内容)

[事業の概要]

事業名

小事業内に関係のない予算がある場合、違う数値となる 下段:実際の事業費 ※事業費 上段:小事業全体

出田

17, 939

₩

事業費

出田

9

出田

158

1,

₩

事業費

十田

9

€ 9

出田 出田

738

4,

₩

9

图

事業費

【各年度における具体的な取組内容とその実績】

十田 十田

, 818

4

₩

9

€

事業費

施策:中

一指

対応するモニタ-

対応施策:大

施策:小

(番号のみ

他の施策

枝・葉・草リサイクル事業(定山渓地域)				(の全型係)型はいまで	定性的評価(数値なし)
定山渓パイオマスタウン構想に基づき、主に定山渓地域から排出された枝域内で堆肥として資源化し、パイオマスの地域内循環を図る。	出された枝・	葉・草を同地	井上・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	搬入された技・薬・草は推肥となり適切にリサイクルされており、廃棄ごみの減量に貢献している。 128家庭系 2416.94 等業系 969.61 178家庭系 1536.94 毒業系 22.94 179家庭系 1575.54 毒業系 118.14	
市域内一般家庭から発生する枝・葉・草を原料として、たい肥を製造ることにより循環型リサイクルを推進する。	を製造し、市	域内に還元す	人 7 ム目標への 貝歌度	1,490.44 事業 1,468.54 事業 1,502.44 事業	
枝・葉・草搬入量	目標	3,000t		1,658.9t 事業 1,602.0t 事業	
	日標	ı		達成状況 ▲ (◎:達成 ○:75	75%以上 ▲:50%以上 ×:50%未満 一:他
循環型社会推進課 関係課 施設管理課					
廃棄ごみ量の減量目標			事業の実施結果 (目的・目標の達成	搬入された枝・葉・草はリサイクルされている。 恠部の加亜能力は DODH/作がなり そのうち 空口派 パイナジスタウン繊細に其づく 抹・	る。で引躍ぶイヤワムなもと、蕃竜「其」へな・
家庭から出る廃棄ごみ量の減量目標			状況など)	施政シルユボン185,000/十〜50~、〜50~ 東・草の処理量が3,000t/年であるが、悪臭・ エリーニー・1950	アイガン・スペイン(すがにつかった)なの対応のため、計画期間の搬入量は半分組
リサイクル率				度に留まっている。	
施策3 事業ごみの減量・リサイクルの取組促進					
3-1 事業者による自主的な取組の促進					
(5) 定山渓地区における地域内循環の取組促進					
				枝葉草としての排出は廃棄ごみ量の減量に貢献	献していることに加え、リサイクルされた堆
な取組内容とその実績】 数値で示せるものは数値も記載すること			事業の評価・課題	肥は札幌市内外の農家等に出荷されており、/業条生ごみの減量にも寄与している。加二島については、 谷本・姉後機が柱華台の	ا ر ا د
・枝・葉・草搬入量 家庭系 1,468.5t 事業系 11.7t ・事業系生ごみ搬入量 3,362.0t ・堆肥生産量 765㎡				が生まって、は、水イ、水水、水水・水水・水水・水水・ルッズをにつく、ないなどり不見を軽により悪臭が発生し、以降対応策として手作業での破めに計画量が処理できない状況である。	%% さいしてデルニーン・ドー・アンスョン・ボメカに策として手作業での破袋を行っているた
・枝・葉・草搬入量 家庭系 1,502.4t 事業系 11.8t ・事業系生ごみ搬入量 3,311.0t ・堆肥生産量 1,373㎡			今後の事業方針 (課題への対応や事業目 練の設置)	引き続き定期的に施設を視察、処理業者にヒアリングを行 応を検討する。 また、断続的に発生している悪臭問題に対して、処理業者	アリングを行うことで搬入量増加に向けた対 て、処理業者と連携の上、対策を検討する。
・枝・葉・草搬入量 家庭系 1,658.9t 事業系 6.0t					
			【懇話会の意見等】	懇話会で意見があった場合のみ記載する	
・枝・葉・草搬入量 家庭系 1,602.0t 事業系 25.5t ・事業系生ごみ搬入量 3,083.6t ・堆肥生産量 1,287㎡			意見·提案等		

※事業費 上段:小事業全体 下段:実際の事業費 小事業内に関係のない予算がある場合、違う数値となる

十田

(35, 243)

232,060 千円

₩

事業費

他の施策(番号のみ)

施策:小

施策:中

【各年度における具体的な取組内容とその実績】

対応するモニター指標

対応施策:大

(最大2つまで)

【新スリム計画との関わり】

対応するスリム目標

 \mathbb{H}

180, 480 (32, 307)

₩ 图

事業費

出田

出

199, 376

₩

事業費

 \mathbb{H}

(33, 052)

€

213, 927

₩

事業費

 \mathbb{H}

(36, 496)

图

指標 1 指標2

事業の指

輔

回補

事業の目的・

事業内容 (取組内容)

[事業の概要]

事業名

所管課

建提對兩費 (夫利田咨询の法田・巛室処理・広崎処理の接對)	[自己評価]	※R3~R6を通して ・ 定量的証価(数値表U)	No.49 完性的証価(数値だし)
(大きな) (大きな	スコ人日種への言献		くことでは、文庫のグータングを使じ、大田のグータングを使じ、大田の河町につたが、大部では登留を出
・廃棄物の新たな資源化により、廃棄ごみ量の減量に繋げる ・災害廃棄物の処理を適正、迅速に行えるよう計画を策定する ・広域処理の検討	(A)		たまでのかまていな。 されても女師には法の導入には至らなかった。
未利用の資源の活用について			
野田		達成状況 — (◎:達成 ○:	: 75%以上 ▲: 50%以上 ×: 50%未満 一: 他
循環型社会推進課 関係課 -			
廃棄ごみ量の減量目標			・災害廃棄物処理計画の見直しを行っている・令和4年4月から施行される「ブラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」
家庭から出る廃棄ごみ量の減量目標	状況など)		足進されているが、不確定要素もあることか「艶物昝頂化等に向けた調香・研究)
リサイクル率		・可燃ごみの広域処理へ向けて、調整を行う	として というこう マング
施策5 持続可能な収集・処理体制の確立			
5-3 未利用資源の活用の検討			
(1) 廃棄物の資源化等に向けた調査・研究			
5-3-(2), 5-3-(3), 6-3-(1), 6-4-(1)			
な取組内容とその実績】 数値で示せるものは数値も記載すること	事業の評価・課題	スリム計画の目標値に近づいていないことから、	いら、新たな廃棄物の資源化の検討も必要。
より実効性を持たせるため、災害廃棄物処理計画の見直しを行う(計画の改訂) 令和4年4月から施行される「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」に伴 い、製品プラスチックのリサイクルが促進されているが、不確定要素もあることから、国 の新台をロディスターので変称を認定ないでは、正常、正常、	ー、つ 新聞		
を兄しいる(①発来物質源化寺に 17に調査・			
より実効性を持たせるため、災害廃棄物処理計画の見直しを行う(計画の改訂) 令和4年4月から施行された「ブラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」に伴 い、製品プラスチックのリサイクルが促進されているが、不確定要素もあることから、国 の動向を見ている(①廃棄物資源化等に向けた調査・研究) 石狩市・当別町との可燃ごみの広域処理について、受入れについて今後協議していく趣旨	」に伴 ら、国 (課題への対応や事業方針 標の設置) (趣旨	廃棄物の資源化等や廃棄物の活用について調査	査・研究を継続する。
り実効性を持たせるため、災害廃棄物処理計画の見直しを行和4年4月に「プラスチックに係る資源循環の促進等に関す	たこと		
い、製品プラスチックのリサイクルが促進されているが、不確定要国の動向を見ている(①廃棄物資源化等に向けた調査・研究) 市・当別町との可燃ごみの広域処理について、受入れについての依	とか【懇話会の意見等】	懇話会で意見があった場合のみ記載する	
より実効性を持たせるため、災害廃棄物処理計画の見直しを行う(計画の改訂) 令和4年4月に「ブラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」が施行されたこと に伴い、製品ブラスチックのリサイクルが促進されているが、不確定要素もあることか ら、国の動向を見ている(①廃棄物資源化等に向けた調査・研究) 石狩市・当別町との可燃ごみの広域処理について、受入れについての協議を実施	たこと意見・提案等とか		
※ 女人 は、 下段・ 生物 の 直 类 恵 、 小 重 类 内 7 間 反 の かい え 管 が ま 2 担 人 き ご 券 店 し か ス			

所管課

回補

名

事業の目

指標 指標

事業の指

輔

事業の概要】

事業名

b業内容 (取組内容)

小事業内に関係のない予算がある場合、違う数値となる 下段:実際の事業費 上段:小事業全体 ※事業費

出田

899

25,

₩

事業費

9

图

における具体的な取組内容とその実績】

[各年度]

(番号のみ)

他の施策

÷

施策

0

施策: **K**

対応施策

一一

【新スリム計画との関わり】

対応するスリム目標

(最大2つまで 対応するモニタ 出田

978

29,

₩

事業費

9

图

出田

426

24,

₩

事業費

9

尺 м 8 十

155

24,

₩

事業費

9

 \mathbb{E}

札幌市一般廃棄物処理基本計画

新スリムシティさっぽろ計画 年次報告書

≪令和6年度版≫



令和7年(2025年)10月

編集·発行:札幌市環境局環境事業部循環型社会推進課 〒060-8611 札幌市中央区北1条西2丁目 関係部局保存期間:1年

【年次報告書はホームページでもご覧いただけます】 http://www.city.sapporo.jp/seiso/keikaku/newslim_report/

SAPP_RO



さっぽろ市 01-J01-25-2165 R7-1-134

表紙・本文ともに再生紙を使用しています。